

323

583



始



323

583

Comments
on
The newages words



323
583



現代語解說

卷 下

文化之日本社

發行

大正

14. 2. 21

內交



現代語解説索引 〔下〕

〔ス〕

水戸運動	四二九	スピノーザ	四四一	スカート	四四五
スエズ運河	四二九	スペンサー	四四一	スキー	四四五
スコラ哲学	四三〇	スマイス	四四二	スクラップ・ブック	四四五
ストア學派	四三一	睡遊病	四四三	スクリュー	四四五
スツールム・ウインド・ドラング	四三二	スターリング爲替	四四三	スケーテング	四四五
スバルタカス團	四三三	推定遺産相続人	四四四	スケート	四四五
西班牙の反動運動	四三三	推定家督相続人	四四四	スケール	四四五
スマス學派	四三四	スイート・ハート	四四四	スケッチ	四四五
スワラジ運動	四三六	スイート・ホーム	四四四	スケッチ・ブック	四四五
ズーダマン	四三七	スイッチ	四四四	スケプチック	四四五
スコット	四三七	數理學派	四四四	スコア	四四五
スチンネス	四三八	數子均分主義	四四四	スコラテイシズム	四四六
スチルネル	四三九	スリーブ	四四四	スコッチ	四四六
ストリンドベルグ	四三九	スカーフ	四四四	スター	四四六

スタート……………四四六
 スタイル……………四四六
 スタディオ……………四四六
 スタンダード……………四四六
 スタンブ……………四四六
 スチューデント……………四四六
 スチュウ……………四四六
 ステージ……………四四六
 ステージ・マネージャー……………四四六
 ステート……………四四六
 ソーシヤリズム……………四四六
 ステインド・グラス……………四四六
 ステリオ・タイプ……………四四七
 ステアリン蠟燭……………四四七
 ストライキ……………四四七
 ストライキ・ブレイカー……………四四七
 ストラツグル・ホープ……………四四七
 エキジステンス……………四四七
 ストロベリー……………四四七
 スパイ……………四四七
 スピリチュアリズム……………四四七
 スフィングス……………四四七
 スムード……………四四八
 スペクトラム……………四四八
 スペイン感冒……………四四八
 スポーツマン……………四四八
 スポーツマン・シップ……………四四八
 スラヴ……………四四八
 スラツプ……………四四九
 スリツパー……………四四九
 スリー・ベース・ヒット……………四四九
 スワン……………四四九

性悪説……………四五〇
 性教育……………四五〇
 精神分析學……………四五二
 生物測定學……………四五三
 生命人造説……………四五四
 西南獨逸派……………四五五
 世紀末……………四五五
 青踏派……………四五六
 星董派……………四五七
 セーブル條約……………四五七
 世界主義……………四五八
 剎那主義……………四六〇
 ゼノア會議……………四六〇
 前成説……………四六一
 千年説……………四六一
 船舶禁酒法……………四六二
 ゼームス……………四六二
 ゼザンヌ……………四六三

制海權……………四六四
 制空權……………四六四
 請願權……………四六四
 政務官……………四六四
 政務次官……………四六四
 青年獨逸……………四六五
 精神科學……………四六五
 正統派……………四六五
 正統經濟學派……………四六五
 西方教會……………四六五
 清教徒……………四六五
 星雲説……………四六五
 性格描寫……………四六五
 靜劇……………四六五
 性格悲劇……………四六六
 靜物畫……………四六六
 生物化學……………四六六
 青銅器時代……………四六六
 セヴン・バンク……………四六六
 セーフ・テイ・ファースト……………四六六
 セーフ・テイ・ゾーン……………四六六
 セーフ……………四六六
 セーフ・イン……………四六七
 セーフ・ヒット……………四六七
 セオリー……………四六七
 セカンド……………四六七
 セカンド・バンド……………四六七
 セメンテーション……………四六七
 世界感冒……………四六七
 世界苦……………四六七
 責任支出……………四六七
 赤化……………四六七
 赤化防止團……………四六八
 赤衛軍……………四六八
 是非々々主義……………四六八
 セセツション……………四六八
 セツクス……………四六九
 絶食同盟……………四六九
 ゼネラル……………四六九
 ゼビア……………四六九
 ゼラチン……………四六九
 セルブ・ヘルプ……………四六九
 セレナード……………四六九
 セロ……………四七〇
 潜在意識……………四七〇
 選定家督相續人……………四七〇
 戦時利得税……………四七〇
 全院委員會……………四七〇
 染色體……………四七〇
 センシブル……………四七〇
 センシユアリズム……………四七〇
 センス……………四七一
 センチメンタリズム……………四七一
 センチメンタル……………四七一

ゼントルマン	四七一	ゼントルマン・シップ	四七一	戦争赤ん坊	四七一
相互扶助論	四七二	掃海	四八二	外割引	四八四
相對性原理	四七四	造形藝術	四八三	ソドミー	四八四
早教育	四七五	綜合藝術	四八三	ソナタ	四八四
象牙の塔	四七六	創作	四八三	ゾナム・ソルヴェル	四八四
ソウエート會議	四七六	ソヴィエット	四八三	ソネット	四八五
屬地主義	四七七	ソーセイジ	四八三	ソフト・ハット	四八五
屬地主義	四七七	素描	四八三	ソブラノ	四八五
ソシアニズム	四七八	屬性	四八三	ソマトーゼ	四八五
ソリダリチイ	四七八	即興詩	四八三	ソムナンブリスト	四八五
孫文派	四八〇	即追ひ	四八四	ゾライズム	四八五
ソクラテス	四八〇	底荷	四八四	ソルヂヤ	四八五
ゾラ	四八一	ソサイエツタイ	四八四	ソロアスター教	四八五
孫文	四八二	ソシヤイアリズム	四八四	損害保險	四八五
相續税	四八二	ソシヤイアリスト	四八四	權組折衝	四八五
總同盟罷業	四八二	ソツプア	四八四		

【タ】

第三帝國	四八六	タゴール	五〇〇	體得	五〇六
大學植民と大學擴張	四八七	ダンテ	五〇二	大衆運動	五〇六
ダイナマチズム	四八九	ダンヌンチオ	五〇三	鹽調味	五〇六
對支四國借款團	四八九	段祺瑞	五〇四	タイタニツク	五〇七
大選區制	四八九	耽美主義	五〇五	ダイナモ	五〇七
太陽中心説	四九〇	ダーヴィニズム	五〇五	タイプライター	五〇七
太陽黒點説	四九一	ダーク・エージ	五〇五	タイピスト	五〇七
多元論	四九二	ターブル・ドウト	五〇五	タイム・イズ・マナー	五〇七
多神教	四九三	ダイアグラム	五〇五	タイムス	五〇七
多數代表制	四九三	ダイアモンド	五〇五	タイム・スピリット	五〇七
タマニ	四九三	ダーク・サイド	五〇五	タイラント	五〇八
ダムピング	四九四	ダーク・チェインジ	五〇五	タクシー	五〇八
ダルトン教育案	四九五	ターニング・ホイント	五〇五	大正スケート	五〇八
男性本位説	四九六	タービン	五〇六	高砂舎	五〇八
單子論	四九七	第一印象	五〇六	托兒所	五〇八
單一神教	四九八	第三黨	五〇六	田尻式	五〇八
ダーヴィン	四九八	第四階級	五〇六	立會	五〇八
ターレス	五〇〇	體験	五〇六	タツチ	五〇八

ダブル	五〇九	タンク	五〇九	ダウンング街	五一〇
ダブルット	五〇九	タングステン	五〇九	短期手形	五一〇
ダムダム弾	五〇九	タレント	五一〇	タンゴ踊り	五一〇

【チ】

治安警察法	五一一	中歐同盟	五二二	チーズ	五三四
治安警察法第十六條	五一一	仲裁制度	五二三	ちいばい	五三四
重農主義	五一四	直覺説	五二四	重譯	五三四
重商主義	五一五	直接行動	五二五	チエコレイト	五三四
チエツク・スロバキア	五一五	直隸派	五二五	チエツク	五三四
デオニス	五一六	超弩級艦	五二六	チエリー	五三四
智識階級	五一七	超自然論	五二七	デオラマ	五三四
チタ政府	五一八	超絶論	五二七	治外法權	五三四
智德合一論	五一八	資金基金説	五二八	デギタリス	五三五
地球説	五一九	朝鮮獨立運動	五二九	チキン	五三五
チャーチスト運動	五一九	女子國有論	五三一	蓄聲電話	五三五
中央執行委員會	五二〇	チエホフ	五三二	地産漸減の法則	五三五
重力の法則	五二一	チチエリン	五三三	ダストマ	五三五
中央集權	五二一	張作霖	五三三	チツケット	五三五

チツブ	五三五	抽象、抽象的	五三六	超人	五三八
チビカル	五三五	中産階級	五三六	長期手形	五三八
地方分權	五三六	中間内閣	五三六	鳥瞰	五三八
地方官會議	五三六	チユーイング・ガム	五三七	超然内閣	五三八
地方色	五三六	チユーリツブ	五三七	超特別大興行	五三八
チャンピオン	五三六	直覺	五三七	デレツタンチズム	五三八
チャーター	五三六	直覺の哲學	五三七	ダレンマ	五三九
チャーミング	五三六	長子相續主義	五三七	賃銀鐵則	五三九
チャーム	五三六	徴兵保險	五三七	賃銀奴隸	五三九
チャンス	五三六	直接税	五三七	珍品	五三九

【ツ】

ツアラトウストラ	五四〇	ツルゲネーフ	五四一	ツエツペリン	五四三
通貨膨脹	五四〇	ツアー	五四二		
通商條約	五四〇	通性	五四二		

【テ】

帝國主義	五四四	帝王主權説	五四四	デカタニズム	五四四
------	-----	-------	-----	--------	-----

鐵血政策	五四六	帝王主權說	五六〇	テーブル・スピーチ	五六二
徹底自然主義	五四七	帝王神權說	五六〇	テーマ	五六二
デモクラシー	五四七	締盟國	五六〇	デー	五六二
テロリズム	五五〇	アイメンション	五六〇	テーブ	五六二
天賦人權說	五五一	アイアタルミー	五六〇	デカグラム	五六二
天才主義	五五一	アイヴエルテイスマーン	五六〇	デカメートル	五六二
天才教育	五五二	アイクトグラフ	五六〇	デカリットル	五六二
傳統主義	五五四	アイスクリージョン	五六〇	タキスト	五六二
天變地異說	五五五	アインナー	五六〇	タキスト・ブック	五六三
田園都市運動	五五五	低徊趣味	五六〇	適者生存	五六三
テニソン	五五六	定期	五六一	デキストリン	五六三
ドイツケンス	五五六	抵抗療法	五六一	敵本主義	五六三
デカルト	五五七	低氣壓	五六一	テクニツクス	五六三
デ・ヴァレラ	五五八	帝都訪問飛行	五六一	デコラティーヴ・アート	五六三
デエメル	五五九	ていのろト	五六一	デコルター	五六三
デーヌ	五五九	デウス	五六一	デコレーション	五六三
デュー井	五五九	デーリー・ニュース	五六二	デコレーション・デイ	五六三
定命論、定道論	五六〇			デザート	五六三

デザート・コース	五六四	デツキ	五六五	天動說	五六七
デザイア	五六四	デツサン	五六六	天啓	五六七
デザイン	五六四	テナメント・ハウス	五六六	天然生活	五六八
デシメートル	五六四	テニス・コート	五六六	傳奇小説	五六八
テスト	五六四	デパートメント・ストア	五六六	ランデンシー	五六八
デゼネレーション	五六四	デビュー	五六六	ランパー	五六八
デヂケート	五六四	でぶ	五六七	ランペラ	五六八
哲學復古	五六四	デマゴク	五六七	ランペラメント	五六八
鐵器時代	五六四	デモクラット	五六七	テンホ	五六八
哲人主義	五六五	デモクラテイツク	五六七	電子說	五六八
鐵道電化	五六五	デモンストレーション	五六七	點字	五六八
鐵道砲	五六五	テラ・コツト	五六七	天主敎	五六九
デッド・マスク	五六五	デユイテイ	五六七	展望車	五六九
デップス・ボム	五六五	デリカシー	五六七	電話便	五六九
デテイル	五六五	デリケート	五六七	傳家の寶刀	五六九

【ト】

獨逸賠償金問題	五七〇	東洋モンロー主義	五七一	同盟罷業	五七三
同類意識說	五七一	ドーズ案	五七二	動機論	五七五

同性神教	五七六	トイレット・ルーム	五八八	毒瓦斯	五九〇
トリーリ黨	五七六	統覺	五八八	毒瓦斯彈	五九〇
統一黨	五七七	投下彈	五八八	毒瓦斯除マスク	五九〇
統一労働學校	五七七	淘宮術	五八八	獨創	五九〇
獨斷論	五七八	動物劇	五八九	特別會計	五九〇
督軍	五七八	同仁教會	五八九	特別稅	五九一
土地國有論	五七九	トウリニツタイ	五八九	特別任用	五九一
土地單稅論	五八〇	トウルイス	五八九	獨身稅	五九一
ドラゴ主義	五八一	トウワイライト	五八九	解合	五九一
トラスト	五八一	トウ・ダンス	五八九	突然變異說	五九一
トラピスト	五八二	ドキュメント	五八九	ドツク	五九一
ドレツドノート	五八三	ドクター	五八九	凸版	五九一
トルストイ	五八四	獨立労働黨	五八九	トビツク	五九一
トロツキー	五八五	讀會省略	五八九	ドメステイツク・ヘルバー	五九一
ドストエフスキー	五八七	ドクトル・オヴ	五八九	フラマ	五九二
ドア	五八八	ファイロソヒイ	五八九	トランク	五九二
ドイツ西南學派	五八八	ドクトル・オブ・アーツ	五九〇	トランプ	五九二
ドイツ經濟學派	五八八	ドグマ	五九〇	フライ	五九二

トラジエテイ	五九二	トレード・マーク	五九二	フロロツ	五九二
ドリーマー	五九二	トレッド・ユニオン	五九二	トロール船	五九二
トルソ	五九二	フロイン・ウォーク	五九二		

【ナ】

内地延長主義	五九三	ナシヨナリスト	五九五	ナフタリン	五九五
南北統一問題	五九三	ナシヨナリズム	五九五	成貧	五九五
ナーヴアス	五九四	ナシヨナリツチイ	五九五	南歐情調	五九五
ナイーヴ	五九四	ナシヨナル	五九五	南米航路	五九五
ナイト	五九四	ナチユラリズム	五九五	南進乎北進乎	五九六
内の生活	五九四	ナチユラル	五九五	ナンバー	五九六
内面描寫	五九四	ナプキン	五九五		

【ニ】

二元論	五九七	日露交渉問題	六〇〇	ニイチエ	六〇四
尼港事件	五九八	認識論	六〇二	ニエートン	六〇六
二十一ヶ條問題	五九九	認識主義	六〇三	二院制	六〇六
日英同盟廢棄	六〇〇	人間本位說	六〇三	二科會	六〇六

荷爲替……………六〇六
 ニグロ……………六〇六
 二十四吋半砲……………六〇六
 二重人格……………六〇七
 二重生活……………六〇七
 日銀見返擔保……………六〇七
 日本アルプス……………六〇七
 ニツクネーム……………六〇七
 ニヒリスト……………六〇七
 ニヒリズム……………六〇七
 二部教授……………六〇七
 ニュー……………六〇七
 ニューズ……………六〇八
 ニューズ・ペーパー……………六〇八
 ニルヴァーナ……………六〇八
 任意徴兵制……………六〇八
 人形の家……………六〇八
 人間性……………六〇八
 人間不平等原因説……………六〇八
 ニフ……………六〇八

【又】

ヌーボー式……………六〇九

【ネ】

ネオ・ロウマンチズム……………六一〇
 ネオクラシズム……………六一三
 念寫……………六一三
 ネーバリズム……………六一三
 ネーム……………六一四
 ネーム・カード……………六一四
 ネオ……………六一四
 ネセチツタイ……………六一四
 涅槃……………六一四

【ノ】

ノーベル賞金……………六一五
 ノーヴァーリス……………六一五
 能率……………六一六

乃木宗……………六一六
 能動的……………六一六
 農民藝術……………六一六
 能因法師と極む……………六一六
 ノートル・ダム……………六一六
 ノース・モーキング……………六一七
 ノーティス……………六一七
 ノート・ブック……………六一七
 ノーブル……………六一七
 ノーマル……………六一七
 ノヴェル……………六一七
 ノヴェレット……………六一七
 ノクターン……………六一七
 ノスタルジア……………六一七
 ノツク……………六一七
 ノット……………六一七
 ノミナリズム……………六一七
 ノンセンス……………六一七

【ハ】

パーラメンタリズム……………六一八
 賠償委員会……………六一八
 賠償主義……………六一九
 陪審制度……………六一九
 破産管財人……………六二一
 パスカルの原理……………六二一
 派生需要……………六二一
 八八艦隊……………六二二
 白禍論……………六二二
 發生的心理學……………六二三
 パナマ運河……………六二三
 バルチザン……………六二四
 マブラスト派……………六二四
 八時間労働制……………六二五
 汎愛主義……………六二五
 汎亞細亞主義……………六二六
 汎イスラミズム……………六二七
 萬有引力……………六二八
 ハンガー・ストライキ……………六二八
 汎ケルマン主義……………六二九
 萬國労働同盟……………六三〇
 汎神論……………六三一
 汎心論……………六三二
 半獸主義……………六三二
 パンスラヴ主義……………六三三
 範疇……………六三四
 反動政策……………六三五
 販賣組合……………六三五
 反報手段……………六三六
 汎理論……………六三六
 汎靈論……………六三八
 パインズ……………六三八
 ハイネ……………六三九

パイロン	六三九	白兵戦	六四四	ハムレット	六四六
ハウプトマン	六四〇	バザール	六四四	バラック	六四七
バクウニン	六四一	走物	六四四	バラツツ	六四七
バルザック	六四二	パステル	六四四	バラドッククス	六四七
ハーモニー	六四二	パス	六四四	バランス	六四七
ハート	六四二	派生律	六四五	バラブル	六四七
バガボン	六四二	馬政局	六四五	ハラミツ	六四七
バー	六四二	マセテイツク	六四五	馬力	六四七
バーゲン・デー	六四三	發行餘力	六四五	バリシヤン	六四七
バーツナリチイ	六四三	把住	六四五	バルコニー	六四七
バーツ・アイ・ウエー	六四三	パチエロー	六四五	ハルシネーション	六四七
バーバリズム	六四三	バツク	六四五	バルナツシヤン	六四八
バイ	六四三	バツシヴ	六四五	ハレー彗星	六四八
拜火教	六四三	バツシヨネット	六四五	バレット	六四八
排水量	六四三	パトロン	六四六	パロメーター	六四八
陪席列事	六四三	パノラマ	六四六	半意識	六四八
配當落、配當付	六四三	パプテズマ	六四六	半旗	六四八
背任罪	六四三	パベルの塔	六四六	反響	六四八

パンク	六四九	パンテオン	六四九	パンフレット	六五〇
パンク	六四九	パントマイム	六四九	ハンマー	六五〇
伴奏	六四九	バンド	六四九	パン	六五〇
ハンデイキヤツプ	六四九	バンドラ	六四九		

【七】

美意識	六五一	非社會性	六五八	日付後定期拂	六六五
比較法制史	六五一	非常呼集	六五八	批判哲學	六六五
ピカテリ	六五二	非常上告	六五九	非裏債主義	六六八
光の學說	六五二	非常準備金	六五九	秘密結社	六六八
比較法學派	六五三	非常教運動	六五九	秘密主義	六七〇
美學上の感覺說	六五四	批准	六六〇	秘密出版	六七〇
美學	六五四	非戰副員	六六一	秘密教	六七〇
引取猶豫金	六五六	必然、必然性	六六一	秘密選舉	六七一
百科全書派	六五六	美的觀想	六六二	非矛盾律	六七二
悲觀說	六五七	美的生活	六六二	非暴力主義	六七二
非教育的教授	六五七	非天變地異說	六六二	ヒューマニズム	六七三
ビザンチン式建築	六五八	避妊問題	六六三	ヒューリタン派	六七三
非堂線	六五八	否認權	六六四	表現主義	六七四

比例代表制度	六七七	ヒーロー	六八三	ビラミット	六八四
ビロン主義	六七八	ヒボコンテリ	六八三	ブリケン	六八四
品質本位	六七九	ビクニツク	六八三	非立憲	六八四
ビアズレー	六七九	ビストン	六八三	ビル・プロカー	六八四
ビスマルク	六八〇	ビツチ	六八四	ヒロイツク	六八四
ヒューム	六八一	ビツチンダ	六八四	ヒロイン	六八四
ビタゴラス	六八二	一幕物	六八四	敏感	六八四
ビョルンソン	六八二	ビユーア	六八四	ヒント	六八四
跛行本位制	六八三	ヒューマニチイ	六八四		

【7】

フアイシスチ運動	六八五	福音ルーテル教會	六九〇	普遍論	六九六
富國論	六八五	不敬罪	六九〇	フエーチユアリズム	六九六
フェミニズム	六八六	婦人問題	六九一	フエーメ占領	六九七
不換紙幣	六八八	プチ・ブルジョア	六九二	ブラトニツク・ラヴ	六九八
物質不可入性	六八九	普通選舉制度	六九三	ブラグマテイズム	六九九
複本位制	六八九	物價調節	六九四	ブルジョア	七〇〇
不可知論	六八九	物活論	六九五	フレツチエリズム	七〇一
福音教會	六九〇	不動心	六九五	フロイドの性慾説	七〇二

プロレタリア	七〇二	ブイ	七一五	物々交換	七一七
プロテスタント	七〇三	風壓	七一五	舞踏病	七一七
プロレットカルト	七〇三	フース・ヒー	七一五	不常利得	七一七
文化	七〇四	封鎖	七一五	船積指圖書	七一七
文化生活	七〇六	ブル	七一五	船荷證券	七一七
文藝復興	七〇七	フィル・スピド	七一五	物自體	七一七
分析法學派	七〇八	婦人問題	七一五	ブラツク・リスト	七一七
分量的快樂説	七〇九	風致林	七一五	ブラツク・ハンド	七一八
フイヒテ	七〇九	フェテイシズム	七一六	ブラーマ	七一八
フリーエー	七一〇	フォノグラフ	七一六	ブライド	七一八
ブーシユキン	七一〇	不可抗力	七一六	ブラウド	七一八
フランス	七一一	復活祭	七一六	フレツシユ	七一八
ブランデス	七一二	複選舉	七一六	フレツシユリ・スクール	七一八
プラトーン	七二三	副作用	七一六	プロバガンダ	七一八
ブルードン	七二三	復々線	七一六	プロースチチュート	七一八
フローベル	七二四	復辟	七一六	プロークン	七一八
フアース	七二五	伏魔殿	七一六	プログラム	七一九
フアウンテン・ペン	七二五	副甲狀線	七一六	プロゼーイツク	七一九

プロセス……………七一九
 プロット……………七一九
 プロフェサー……………七一九
 プロフェツショナル……………七一九
 プロペラー……………七一九
 ブロンド……………七一九
 ブローカー……………七一九
 不渡……………七一九
 文化村……………七一九

【ク】

平價募集法……………七二〇
 米券倉庫……………七二〇
 平民主義……………七二〇
 平民食堂……………七二一
 平和運動……………七二一
 海牙萬國平和會議……………七二三
 ヘーゲル學派……………七二四
 別荘行……………七二五
 ヘゲストリアニズム……………七二五
 表示主義……………七二五
 標準生活費……………七二六
 ヘラギウス説……………七二六
 ベルグソンの哲學……………七二七
 ヘレニズム……………七二九
 辯證法……………七二九
 變聲期……………七三〇
 ヘーゲル……………七三一
 ベートーフェン……………七三二
 ベルグソン……………七三二
 ベルンシュタイン……………七三三
 ベンタム……………七三三
 兵站……………七三四
 表決權……………七三四
 標準時……………七三四
 ヘーガニズム……………七三四
 ヘーア・ピン……………七三四
 ヘーヴメント……………七三四
 ヘーリエント……………七三四
 ヘシミズム……………七三五
 ベスト……………七三五
 ベター・ハーフ……………七三五
 ヘダンテイク……………七三五

【ホ】

保安條例……………七三六
 ホイコット……………七三六
 包含哲學……………七三七

法權主義……………七三八
 封建制度……………七三八
 奉直戰爭……………七三九
 法定準備金……………七四〇
 報酬漸増の法則……………七四〇
 泡沫會社……………七四一
 放浪生活主義……………七四一
 忘我……………七四二
 暴利取締令……………七四二
 ホーム・ブリュー……………七四三
 ホーイ・スカウツ……………七四四
 保護干渉主義……………七四四
 保護税……………七四五
 ホスト……………七四五
 インプレツションニスト……………七四五
 保稅倉庫……………七四六
 母性保護論……………七四六
 没利害的動作……………七四七
 ボヘミアニズム……………七四七
 ボランタリズム……………七四八
 ボルタイシズム……………七四八
 ボルシェビズム……………七四九
 ホワイトハウス……………七四九
 本體論……………七四九
 本能的道德……………七五〇
 本能充足主義……………七五〇
 ホアンカレ……………七五一
 ホイツトマン……………七五一
 ホー……………七五二
 ホールドウ井ン……………七五三
 ホツプス……………七五三
 ボツカチオ……………七五三
 保安林……………七五四
 保安委員……………七五四
 ボイラー……………七五四
 ホインツマン……………七五四
 ホイント……………七五五
 法系……………七五五
 法貨……………七五五
 法人……………七五五
 放牧式……………七五五
 法定利息……………七五五
 法益……………七五五
 法律的應報主義……………七五五
 貿易風……………七五五
 ホーナス……………七五六
 ホーム・イン……………七五六
 ホーム・シツク……………七五六
 ホーム・ベイス……………七五六
 ホーエツト……………七五六
 朴素的……………七五六
 ホケツト・マネー……………七五六
 保佐人……………七五六
 補佐人……………七五六

保釋……………七五六
 補助貨……………七五六
 歩哨線……………七五六
 ホス……………七五六
 ホスター……………七五七
 保全處分……………七五七
 補箋……………七五七
 ホネー・ムーン……………七五七
 ホビユーラー……………七五七
 ホリシー……………七五七
 ホリチカル……………七五七
 本位貨幣……………七五七
 ホリース……………七五七

【マ】

馬克相場……………七五八
 マキヤウエリズム……………七五八
 マヅキズム……………七五九
 末梢神經……………七六〇
 マンチエスター派……………七六〇
 マラソン競争……………七六〇
 マルキシズム……………七六一
 マアテルリンク……………七六二
 マクドナルド……………七六三
 マルクス……………七六四
 マイナス……………七六六
 マイル……………七六六
 マーカンテイリズム……………七六六
 マーキユリー……………七六六
 マーク……………七六六
 マーチ……………七六六
 マーブル……………七六六
 マキシマム……………七六六
 マキシマリスト……………七六六
 マザー・アース……………七六六
 マジヨリカ……………七六六
 マスク……………七六六
 マスター……………七六六
 マスター・オヴ・アーツ……………七六七
 マスト……………七六七
 マストドン……………七六七
 マダム……………七六七
 マチネー……………七六七
 マツチ……………七六七
 マドウモアゼール……………七六七
 マドロス……………七六七
 マドンナ……………七六七
 マニア……………七六七
 マネー……………七六七
 マネージャー……………七六七
 マンガン……………七六八

マンドリン……………七六八

マンネリズム……………七六八

マンモス……………七六八

【ミ】

ミゼラブル……………七六九
 未來派……………七六九
 ミリタリズム……………七七〇
 ミューズ……………七七一
 民衆藝術……………七七一
 民主黨……………七七一
 民族自決主義……………七七二
 民族的民意說……………七七三
 民約說……………七七三
 民主主義と民本主義……………七七五
 ミユツセ……………七七六
 ミル……………七七六
 ミルトン……………七七六
 民衆文化……………七七七
 民主主義……………七七七
 ミサンスロビー……………七七七
 ミサンスロピスト……………七七七
 ミス……………七七七
 ミスター……………七七七
 ミステーク……………七七七
 ミセス……………七七七
 ミソロジー……………七七七
 ミツシヨウ……………七七七
 ミニアチュール……………七七七
 ミニマム……………七七七
 ミュージック・ドラマ……………七七八
 ミューチユール・エイド……………七七八
 ミラクル……………七七八
 ミリウ……………七七八
 ミリオネーア……………七七八
 ミリタリズム……………七七八
 ミルク・ホール……………七七八

【ム】

無抵抗主義……………七七九

無賠償主義……………七八一

無慾的快感說……………七八一

【メ】

名目論	七八三	免訴	七九〇	メタフィジックス	七九一
メートル法	七八三	メンバー	七九〇	メダル	七九一
メー・デー	七八五	メンシエヴ井キ	七九〇	メツザ	七九一
メソヂスト	七八六	メーゾン	七九〇	メニエー	七九一
メンタル・テスト	七八七	メートル	七九〇	メモランダム	七九一
メレジエコフスキー	七八九	メールヘン	七九〇	メランコリー	七九一
メンデルスゾーン	七八九	メシア	七九一	メリー・ゴー・ラウンド	七九一
メリメ	七八九	メス	七九一	メロデー	七九二
茗溪派	七九〇	メスメリズム	七九一	メロ・ドロマ	七九二
名譽領事	七九〇	メツツド	七九一	メロン	七九二

【モ】

目的論	七九三	モーリス	七九九	モーション	八〇一
模倣説	七九三	モルトケ	八〇〇	モーター・カー	八〇一
モナコ公國	七九四	モンテスキュー	八〇〇	モーター・ボート	八〇一
モルモン宗	七九五	モンテレーヌ	八〇〇	モーター・サイクル	八〇一
モロツコ事件	七九六	門戸開放主義	八〇一	モーチヴ	八〇一
モンロー主義	七九六	モンスタ	八〇一	モーニング・コート	八〇一
モウパッサン	七九八	問題劇	八〇一	モーメンタリズム	八〇二

モ式	八〇二	モデル	八〇二	モノポリ	八〇三
モダーニズム	八〇二	戻税	八〇二	モノマニア	八〇三
モダーン	八〇二	モハメット教	八〇二	モノログ	八〇三
モットー	八〇二	モニユイメント	八〇二	モモタリズム	八〇三
モツプ	八〇二	モノグラム	八〇二	モルヒネ	八〇三
モディファイ	八〇二	モノトーン	八〇二		

【ヤ】

野外劇	八〇四	ヤンガー・ゼネレーション	八〇四	約款	八〇四
ヤード	八〇四	ヤンキー	八〇四	山の手式	八〇四

【エ】

唯心論と唯物論	八〇五	エーゴ	八〇八	有機體	八一〇
遊戯的快感説	八〇六	唯名論	八一〇	遊興税	八一〇
遊離的快感説	八〇六	エーゼニツクス	八一〇	優先株	八一〇
ユグノー	八〇六	エートピア	八一〇	優先權	八一〇
有神論	八〇七	エーモア	八一〇	ユナイリツタイ	八一〇
ユニヴァサリスト	八〇七	エーモラス	八一〇	ユニーク	八一〇
エーゴ	八〇八	エーモリス	八一〇	ユニヴァーシツタイ	八一〇

ユニオン……………八一
ユニテイル……………八一
 ユニテイル・オヴ……………八一
 ヴァライエテイル……………八一

【E】

養老保険……………八一
洋服細民……………八一
傭兵制度……………八一
搖籃……………八一
 ヨイグールド……………八一
 豫覺……………八一
 豫算先議權……………八一
 餘剩價值……………八一
 ヨタリスト……………八一
 ヨット……………八一
 與黨……………八一
 寄附……………八一

【ラ】

ラインハルトの舞台組織……………八一
樂天主義……………八一
ラツセルの社會改造論……………八一
ラマーキズム……………八一
ラフアエル前派……………八一
喇嘛教……………八一
ラングトン事件……………八一
ライブニツク……………八一
ラシューマ……………八一
 ラスキン……………八一
 ラツサール……………八一
 ラブラス……………八一
 ラムボオ……………八一
 ラーヂ……………八一
 雷鳥……………八一
 ライデン瓶……………八一
 ライマン海流……………八一
 ライブ・ホース……………八一
 ライブラリー……………八一
 ライン……………八一
 ラヴ……………八一
 ラシヨナル……………八一
 ラシヨナリズム……………八一
 落選畫展覽會……………八一
 らしやめん……………八一
 蘭貢米……………八一
 ラヂオ……………八一

【リ】

ラヂカリズム……………八一
ラヂカリスト……………八一
ラヂエウム……………八一
ラティン……………八一
 リーディング……………八一
 リーベ……………八一
 リード……………八一
 李王職……………八一
 陸上ドレツドノート……………八一
 離魂病……………八一
 理財學……………八一
 リスト……………八一
 リズム……………八一
 リズムミカル……………八一
 理想選舉……………八一
 立體派……………八一
 立體美……………八一
 ランチ……………八一
 ランチ……………八一
 ランドセル……………八一
 ランニング……………八一
 立體描寫……………八一
 リテラチユア……………八一
 リパーテイ……………八一
 リパブリカン……………八一
 リベラリズム……………八一
 リベラル……………八一
 領海……………八一
 領事裁判權……………八一
 旅行災害保險……………八一
 リリカル……………八一
 林間學校……………八一
 倫理人……………八一
 リンチ……………八一

【ル】

類型説	八三八	ルツツ	八四一	ルイラー	八四二
ルール占領	八三八	ルーズ・リーフ式帳簿	八四二	ルール	八四二
ルクサンブルグ	八三九	ルーター電報	八四二	ルナ・パーク	八四二
ルーテル	八四〇	ルーズ	八四二	ルネツサンス	八四二
ルーデンドルフ將軍	八四〇	ループル	八四二	ルネツサンス式	八四二
靈魂創造説と靈魂生殖説	八四三	レーゾン・デイトル	八四九	レクチュア	八四九
靈魂不滅説	八四三	レーテスト・フアツション	八四九	レコード	八四九
歴史經濟學派	八四四	レーニズム	八四九	レザ	八五〇
レーニン	八四六	レーニングラード	八四九	レター	八五〇
レツシグ	八四七	レーベン	八四九	レツスン	八五〇
レルモントフ	八四八	レーン・コート	八四九	レツテル	八五〇
黎明	八四八	レヴェル	八四九	レデイ・キラ	八五〇
禮遇	八四九	レヴオリューション	八四九	レトリック	八五〇
連記法	八四九	レヴェュー	八四九	レフェレンダム	八五〇
レイス	八四九	レギユレーション・ボール	八四九	レンズ	八五〇

【レ】

レントゲン.....八五〇

【ロ】

ローサンヌ會議	八五一	ロベスピエール	八六三	ローラー	八六五
勞資協調主義	八五三	勞務者	八六三	ロール	八六五
勞働組合主義	八五四	勞兵會	八六四	ローレル	八六五
勞働黨	八五六	ロー	八六四	ロイン・テニス	八六五
勞働保險	八五七	ローカル・カラー	八六四	六〇六號	八六五
浪漫主義	八五七	ロース	八六四	ロゴス	八六五
羅馬法王	八六〇	ローズ	八六四	ロジカル	八六五
ロツク・アウト	八六一	ローマンズ	八六四	ロジック	八六五
ロウラン	八六二	ローマンチック	八六四	ロスト・ラブ	八六五
ロツク	八六二	ローヤリズム	八六五	ロツピング	八六五
ロングフェロー	八六三	ローヤリツテイ	八六五	露佛同盟	八六五
ワイズマニズム	八六六	ワイルド	八六八	ワー・ブレイン	八六九
若返り法	八六六	ワグネル	八六九	ワイアレス	八六九
ワルド派	八六七	ワシツプ	八六九	ワイシヤツ	八六九

【ワ】

ウイルス病	八六九	ワクチン療法	八七〇	割戻し	八七〇
ワイフ	八六九	ワシントン會議	八七〇	割れ	八七〇
ワイヤ	八六九	ワセダニアン	八七〇	ワンダー	八七〇
ワイルド	八六九	ワット	八七〇		
サイン	八七〇	割増し	八七〇		

【ス之部】

○水平運動

特殊部落民が從來不公平に扱はれて居るので、他階級と同じく水平たらしめたいと言ふ意味よりする特殊部落民の解放運動を、水平運動と言ふのである。これは社會主義思想、民本主義思想の普及と共に、屈辱に甘んじて居た部落民が蹶然立つに至つたその種の社會運動中でも最も新しい運動である。初めて運動の烽火を揚げたのは、大正十一年三月三日京都市に全國水平社大會が開會されたるに初まり、今では全國的に其結束益々堅きを加へて居る。水平社の主張の要項は(一)、特殊部落民は部落民自身に依つて絶對の解放を期す。(二)、特殊部落民は絶對に經濟の自由と職業の自由を社會に要求し、以つて其獲得を期す。(三)、吾人は人間性の原理に覺醒し、人類最高の完成に向つて突進す。と言ふのである。

○スエズ運河 Suez canal

歐阿の地狹を開鑿して竣工した世界航海の要路である。計劃者は佛人レセツブで、其

工費約貳億萬圓、一八五九年から約十年間に涉つて竣工した大工事である。此運河のな
い時は、航海者は非常な大迂回をしなければならぬのであつたが、此運河の爲世界の
航通はどれだけ救はれて居るか解らない。其延長九十哩、深さ三十一呎である。株式組
織で英人が經營して居り、通航料として船舶一噸につき九法五十仙フラン、旅客一名につき十法
を徴收して居る。

○スコラ哲學 Scholastics

西歷九世紀より十五世紀の間、即ち歐洲中世紀の基督敎哲學の主潮である。スコラ哲
學の前代を支配した主潮は敎父哲學であつたが、敎父哲學の根本目的は敎理の樹立で
あつて、スコラ哲學の根本目的は其樹立されたる敎理の證明にあつた。言を換へて言へ
ば敎父哲學は *What is God* (神とは何んぞや) の問題を解決したものであり、スコラ哲學は
Why that is God (何故そは神であるか) の問題を解決したものである。敎父哲學は原料を仕入
れた。それに商標を附して市場に出したのはスコラ哲學である。故にスコラ哲學の態度
は最初から與へられた問題を是認し、決してその眞偽を問はなかつたのである。哲學

と言ふものが眞理の探究を本務とするものであれば、スコラ哲學は哲學とは言ひ難く、
寧ろ神學と稱すべきものである。それでスコラ哲學の衰退期には敎義に對する懷疑的傾
向を生じ、當時斯學の權威者オツカムは、神學と哲學とを分離するに至つたのである。
スコラ哲學は煩瑣哲學と譯されるが、それは同派の哲學者が敎義を證明解説するに當つ
て、煩瑣極まりない例證や引證や辯證を試みただからである。それだけ又スコラ哲學は精
細を極めたものであつた。又此哲學は敎會の學校即ちスコラで専ら起されたがために、
スコラ哲學の名があるのである。此派の哲學者として特記すべき人は、發生時代に於て
はエリゲナ、アンセルムス、アベラルドゥス、全盛時代に於てはトーマス、スコートス
衰頽期に於ては唯名論者のオツカム等である。

○ストア學派 Stoic school

紀元前四世紀希臘の末期より羅馬時代にかけて希臘羅馬の一大主潮となつた倫理に重
きを置いた哲學の一派である。其創始者はツエーノーン (ゼノンとも言ふ) であつて、
クレアンテース、クリツシボスは其中堅である。『冥想録』を以つて名高いアウレンアス

皇帝も又此派の哲學を奉じた人である。ストアの名稱が附せられた所以はツエーノーンがストア・ポイレキ(彩色された堂の意)でその哲學を講じたからである。この派の所説の大體に曰く吾人の最高善は道徳である。道徳的行爲の満足は即ち幸福である。故に幸福とは情慾的快樂ではなく、平靜なる心の境地である。其境地に達するには理性に従ひ、徳に依らなければならぬ。それには情慾を抑へ、妄念を排する事が肝要である。理性に適ひ、徳に適ふものは總て善であつて、然らざるものは總て惡である——さうして此主張を實踐に移した所にあの極端な禁慾苦行が現はれたのである。(禁慾主義の項参照)

○スツールム・ウインド・ドラング Sturm und Drang

和譯して狂飈勃起の字を當て、居る。獨逸一八七〇年代文藝界を首めとして獨逸思想界を根底から覆した革命的現象を指して言ふのである。當時獨逸の文藝界は古典主義が獨占し旺盛の極に達して居たが、ゲーテ、シルレル、ハイネ等の浪漫派の大文人が出現するに及んで、恰も颱風の捲き起るが如く既成文壇が覆され、新興文藝の天下となつた。それ以來スツールム・ウインド・ドラングは因襲打破、偶像破壊の合言葉となつた。英語の

エボックメエキング(劃時代的) マーコノクラズム(偶像破壊) などと同じ性質の言葉であつて、一種血を湧き立たせるやうな響き強い言葉だ。

○スバルタカス團 Spartacus

露西亞に過激派があり、佛蘭西にサンヂカリズムがあり、米國にIWWがある。さうして獨逸にはスバルタカス團がある。共に社會主義の最左傾であつて、微温的な理屈は抜きにして、直に暴力に訴へて資本主義の天下を乗取らうと言ふ過激な急進團體である。其引率者はカルル・リーブクネヒト、ローザ・ルクセンブルグである。レーニンが革命を起すに當つては、リーブクネヒトに教へる所があつたと言ふ事である。スバルタカスは羅馬の奴隸解放の一揆の首謀となつた奴隸の名である。其スバルタカスを以つて任ずる所に此派の意中が窺はれるではないか。

○西班牙の反動運動

伊太利のファスシスチ團と對比する世界の反動運動は西班牙のデ・リヴェラ將軍の率ゐる國粹團であらう。ファスシスチ團が伊國政權を乗取つた如く、デ・リヴェラの國粹

團も一九一三年九月遂にアルヘフスマ侯の内閣を倒壊して、支配權を奪つた。其行方もフアスシヌチ團をつくりであつて、自國內のカタロニア人種の獨立運動を威力を以つて鎮壓し首府マドリッド及セルヴイルの軍隊と呼應じて武人執政を宣言するに至つた。大勢の赴く所、遂に皇帝及デ・リヴエラ將軍を懇ろに招致して政權を委ねた。デ・リヴエラ將軍が率ゐる國粹團はソマテンと呼ぶ國民衛隊で、其數四十五萬を算して居る。此の武人勢が現出するまでは西班牙は左傾運動激甚を極め、國民は反つてそれを憎むの風を生じ、其結果として斯の如き反動運動を成功せしめたのである。ソマテン團は反動運動通有の特徴として、極端なる帝國主義、極端なる反社會主義思想、徹底的な武力主義を發揮するものである。

○スミス學派 Smithian school

假令ばアダム・スミスと言ふ源に發してそれがダビットとなり、マルサスとなり、ミルとなり、マカロックとなり、セニオールとなり、ケアンズとなり、其處に形造られたものが個人主義經濟學であり、自由放任主義であり、自由競争主義である。そしてこれ

等の主義學説は産業革命以後の全社會の經濟界を支配した。それ等主義學説の上に築かれたものが、十九世紀より現在に至る資本主義經濟組織である。このスミスを首として其餘の諸學者を胴體とした個人主義經濟學者の體系が即ちスミス學派である。スミスは重農主義勃興の直後、産業革命の直前英國に盛名を馳せた近世經濟學の大祖である。其餘の學者も總てスミスの感化に培はれて英國に現はれた經濟學者、或は哲學者に外ならぬ、かれ等にイギリス學派の別名がある所以である。是等スミス學派の諸説の技葉に涉つて説明する事は餘りに煩鎖であるが、我々は同派の思想の基調となつて居るスミスの經濟説を闡明する事に依つて、其眞髓^{エッセンス}を把握し得るのであらう。スミスは個人主義經濟學の寶典とも言ふべき大著「富國論」に於て、彼の全思想を盡してゐる。「富國論の内容」人間は利己的な動物である。彼等は利害を中心として行動する。故に一國の産業を旺ならしめ、富を増大するためには、此人間の利己心を利用すれば好い、では如何にして利用するか。其最上の策は自由放任である。自由放任に彼等を置く時、勞働者は利益のために、最も賃銀高き職に就き、資本家は利益のために最も需用多き物を生産し、消

費者は其利益のために最も低廉にして、品質最も好きものを購ふに至るであらう。さすれば其結果として、必然的に生ずるものは、資本家同志の競争である。彼等は競争に打勝たんがため、自然的に至廉の良品を作るに至る。さうして國家の産業、國家の富は自ら向上し増大して行く。だから國家は絶対に民間の産業に干渉をしてはならぬ。自由のうちには放任し、自由のうちに競争せしむべきである。唯國家としての任務は、其自由の障礙となるものを防止し、制裁を加ふる事である。或は其自由競争を助成し保護するために、國防、保安、公益の進歩に任すべきである。又國家は貿易に於ても國家本位の保護干渉をなさずとも、自由競争に委ねて置けば、反つて貿易は發達し國家の致富をなすに至るであらう。(其後繼者)後繼者達のうち、ミルはスミスの説を解説敷衍してスミスの學説を大成し、マルサスは人口論に依つて更に力強い論證を與へ、リカードは地代論及勞働價值説に依つて更に深刻味を加へた。(産業革命、人口論、スミスの項参照)

○スワラジ運動 (スワデシ運動)

スワラジは印度語で自治と言ふ事、スワデシは自國製品主義と言ふ事であつて、

共に現代印度獨立運動の主義標榜であるが、後者は其主張に於て英貨を排斥し、經濟的に英國に反抗せんとするものであつて、最初印度の獨立運動は先づ是に依つて火蓋を切られたのである。次いで獨立運動益々熾となるに及んで、具體的な自治運動となつた。これがスワデシ運動であるが、現在では聖雄ガンディーの出現するあり、其引率の下にデシもワジも共に一丸となつて一大獨立運動となつて熾に狂奔して居る。

○ズーダマン (人名)

ズーデルマンとも言ふ。ハウプトマンと並び稱せられる近代獨逸の戯曲家兼小説家であるが、彼の作はハウプトマンに比し稍々通俗味を帯び、藝術的價值に於てはハウプトマンより幾分劣るとせられて居る。其點に於て一時代前のゲーテ、シルレルの對立を思はせる。併し彼の代表戯曲『マグダ』(故郷を改題して我國でも演ぜられた)は婦人の解放を叫んだ近代婦人思想に因縁淺からぬ作品である。彼は一八五七年に生れ、家庭教師、新聞記者を経て文壇に乗出した。

○スコット (人名)

ウォルター・スコットは我英學生の間に旺に愛誦される『湖上の美人』の作者である。バイロンと共に併稱された英國浪漫派の双壁である。前記『湖上の美人』を初め多数の小説、詩編の作がある。一七七一年に生れて、一八三三年に死んだ。

○スチンネス (人名)

フッゴー・スチンネスは大正十三年社會主義者の夢魔にうなされ乍ら、黄泉へ旅立つたと言ふ事であるが、併し彼が生前に於ける大権力はビスマルク以來であると言ふ事である。而も獨逸に於ける彼の大権力は、政權でもなければ教權でもない、唯黄金の力のみである。其黄金の前には宰相も政黨も人民も總て其自由に傾使されたと言ふ有様であつた。歐洲大戰後獨逸は混亂紛糾し、一步轉ずれば革命と化せんとする如き状態にあつたのであるが、其間彼は滔々たる社會主義化の如きは眼中になく、あらゆる獨逸の大産業を一手に掌握して、さながら資本主義の權化の如き觀を呈して居た。而も極度に窮迫した獨逸國民は彼の財の恩澤に依らなければ、糊口に窮すると言ふ有様であつた。それで社會主義者は彼の暴威を憎み、スチンネスもそれには非常な恐怖を感じて居たのであ

るといふ。

○スチルネル (人名)

マックス・スチルネルと言ふのは其雅號ペンネームであつて、本名はヨハン・カスバル・シユミットと言ふのである。一八〇六年獨逸バイロットに生れ、一八五六年に死んだ。彼は近代個人主義の先驅者であつて、其極端なる點に於ては、ニイチエやイブセンよりも優つて居る。併し個我を飽く迄絶對不可侵なりと極論した彼の説は稍々偏狭の嫌ひがないでもなかつた。

○ストリンドベルグ (人名)

人に依つてストリンドベルヒともストリンドベリーとも言はれ、其孰れが真正なりやと、我國の批評家達が激しく論争した事があるが、孰れにせよストリンドベルグと言ふものが一番多數である。名前までが問題にされる程、彼は近代文藝界、思想界の巨人であつて、其深刻なる點に於ては大詩人イブセンを凌ぎ、苦悶的な點に於ては大哲人トルストイよりも優ると言はれて居る。嘗て一訪客がイブセンを訪れた時、其居室の壁間に

ストリンドベルグの肖像が掲げられてあつたので、彼が其故を問ふと、『我より偉大なる人此處にあり』と言つて其肖像を指さしたと言ふ事である。かれは世界苦ウエルツシュメルツを一身に悩み、人類の苦悶を自らに體驗した。かれの幾多の名作はすべて靈魂の喘ぎ、死の恐怖、苦痛の地獄を描いたものである。——實に彼は人生の殘酷なる解剖家であつた。斯く人生を靈魂の地獄なりとするのが、人生觀であるが、同時に彼の思想の特徴は女性に對する痛烈なる呪咀であつた。(厭人主義の項参照)アウグスト・ストリンドベルグは一八四九年に生れ、一九一二年に死んだ。青年時代は圖書館の館員をして身過ぎをした、生涯のうち三度結婚して、家庭生活に非常に苦い經驗を嘗めた。彼の女性嫌惡の思想はそれに胚胎して居るのである。彼は劇作家であり、小説家であると共に、天文學や文明批評等に於ても天才的才能を發揮した。左に其重なる作品を列挙する。

戯曲——令嬢ユリス、僚友、父、死人の舞踏、死の前、

小説——痴人の懺悔、地獄、孤獨、異魂の發展、不和、赤い部屋、

(○印のあるものは特に社會的に喧傳されて居る作品である)

○スピノーザ (人名)

和蘭の世界的哲學者として、バルフ・スピノーザは哲學史の幾頁を占むる人物である。彼は一六三二年アムステルダムに猶太人として生れた。彼の深奥な研究は悉く獨學になつたものであつて、スペンサーと同じく彼も又生涯無妻で通し、専ら學術研究に身を捧げた。最初彼は極端な無神論的思想を把持して居たため、社會から様々な迫害を受けたが、晩年には非常に宗教的色彩を帯び、彼の聲價は漸く世を蔽はんとするに至つた。死去したのは一六七七年である。彼の哲學思想はデカルトに直屬し、一面ホッブスの影響も窺はれる。宇宙の本體は即ち神であり、神は萬象の内在的原因であると言ふのが其骨子である。併し彼は世界を物、心の二元とし、物的現象は機械的のもので無目的であるとした。其點に於て一面唯心論であると共に、他面理智的な唯物論を併せ有して居たものと言ふべきである。

○スペンサー (人名)

英國經驗學派の思想を繼承し、それにダーウィンの進化論を著しく加味して哲學化した

のがスベンサーの哲學である。吾人の認知し得るは現象界のみであつて、絶對者は不可知であると言ふ主知的論據の上に立ち、其現象界も何等の目的を藏せず機械的の進化を續けて居るものであり。其進化の根本の法則となるものは分化と統一であると言ふのが彼の哲學の大意である。ハーバート・スベンサーは一八二〇年英國ダービーに生れ、殆んど獨學で以つて修業し、生涯妻を娶らず、著作と研究に一身を捧げた。九十四歳の長壽を全うして一九〇三年に逝去した。彼が英國哲學史の第一流の學者である事は言ふまでもない。

○スミス (人名)

アダム・スミスは一七二三年英國蘇蘭カアカルディアに呱呱の聲を揚げた。修學はオックスフォード及グラスゴウの二大學に於てした。學者生活は母校グラスゴウ大學の哲學教授に推されたのに初る。擔任は論理學、倫理學であつたが、彼の學者としての使命は經濟學にあつた。スミスが出現するまで學界には未だ秩序立つた經濟學と言ふものがなかつた。經濟學と言ふ獨立せる學問を創めて樹立したのは彼スミスであつた。併も今日

經濟學は政治、哲學と並んで、最も重要な學問である。經濟學構成に志を立てたスミスは教授の職を辭して、斯學研究のため歐洲諸國を數年間遍歴した。故國に歸るや郷里カアカルディアに籠居して専ら「富國論」の著述に没頭し、起稿してより約十年遂に脱稿するに至つた。其「富國論」が近世經濟學の原論となつた大著述であり歐洲經濟界にスツルム・ウンド・ドラングを引起した歴史的な重要價値を有つた著述である事は遍く人の知る所である。晩年彼はエデンバラで税關の役人をして居たと傳へられて居る。死去したのは一七九〇年其エデンバラに於てであつた。スミスは其資性非常に温厚であつたが、一方に於て熱烈な愛國者であつた。「富國論」の執筆の動機は一面英國の富を増しむるが爲であつたのである。兎に角彼はマルクスと相對して現代文明の兩翼に相對峙する二大巨人である。さうして「富國論」が資本主義謳歌の經典であるならば、マルクスの「資本論」は資本主義呪咀の經典であらう。(産業革命、スミス學派の項参照)

○離遊病 夢遊病或は離魂病の別名。

○スターリング爲替 Sterling exchange 英國と他國との爲替關係。我國との關係では壹圓に對し英貨二シリング志幣

片十六分の九に相當する。

○推定遺産相續人 家督相續の場合、家督相續人は既に決定し居るも、未だ遺産相續人の決定を見ざる場合、法規上に於て當然其位置にあるものを保證されて居る者と言ふ。其順序は(一)直系卑屬、(二)配偶者、(三)直系尊屬、(四)戸主と言ふ事になつて居る。

○推定家督相續人 遺産相續の場合、遺産相續人は既に決定し、家督相續人未定なる時、法規上に依つて當然其位置にあるものと決定され居るものと言ふ。但し其相續人は被相續者の直系卑屬でなければならぬ。

○スイート・ハート Sweet-Heart 戀人、情人。

○スイート・ホーム Sweet-Home 春風に満ちた家庭。蓋し若夫婦の家庭が其最なるものであらう。往年内藤千代

子と言ふ閑秀作家が同名の書と著して、大いに洛陽の紙價を高からしめた事がある。

○スイツチ Switch ネチ 螺。主に電氣の明滅器と言ふ。

○數理學派 Mathematical School 數理を基本として經濟學を組織せんとする經濟學の一派。

○數子均分主義 佛蘭西に於て現に適用しつゝ、ある遺子の財産相續方法であつて、是に依れば遺子は幾人あつても遺産は平等均分に相續すべき事になつて居る。我國などは是に反して長子相續主義である。

○スープ Soup 西洋料理の吸物の事だ。牛肉或は卵と中實とする。

○スカーフ Scarf 肩掛、襟巻、結びネキタイ。

○スカート Skirt 婦人の西洋服の裳。

○スキー Skee 靴に敷尺の細い板とつけて、積雪の上と滑走する器具。雪靴でも譯すべき。

○スクラップ・ブック Scrap-book 切抜帳、即ち保存のため新聞雜誌の記事を貼り附ける帳簿である。

○スクリュー Screw 船の推進機。

○スケーティング Skating (スケート) 其項を見よと足にくつ附けて、氷雪の上と縦横に滑走する運動。我國でも諏訪湖上のスケーティングは頗る有名である。

○スケート Skate 氷雪と滑走する靴。

○スケール Scale 元來が秤皿の事なのであるが、精神的の意味に使つて、構想雄大な事や、人物の大きい事などを形容して言つて居る。例——「ドストエフスキーの小説はスケールが大きい」「彼奴はスケールが大きい」といふが如きである。

○スケツチ Sketch 寫生、走り描き、寫生的な文章。

○スケツチ・ブック Sketch-book 寫生帖の事。米の小説家アイヴ井ングの傑作に「スケツチ・ブック」と言ふのがあつて、英米文學の古典として有名である。

○スケプチック Sceptic 懐疑的な、懐疑論者。

○スコア Score 音樂では聯合樂譜の事。野球では得點の事。點數表はスコア・ブックと言ふ。

- スコラティシズム Scholasticism スコラ哲學の事。スコラ哲學と主義とする事(其項参照)
- スコツチ Sockh 硬い光澤のある毛糸及びその毛織物。
- スター Star 元來が星の事なのであるが、劇團に於ける一座の花形、社交團體の花形と言ふ意味に多く使はれてゐる。
- スタート Start 出發、門出、出發點。
- スタイル Style 風體、様子。
- スタディオ Studio 書齋、畫室。
- スタンダード Standard 模範、標準。
- スタンプ Stamp 消印、検印。又印紙、切手の事とも言ふ。
- ステューデント Student 學生。
- スチュー Stew 西洋料理の一種。肉と煮煮した料理である。
- ステージ Stage 階段の事とも言ふけれど、主に使用されて居るのは舞臺の事である。
- ステージ・マネージャー Stage-manager 舞臺監督(近代劇に詳し)
- ステート・ソーシヤリズム State-socialism 國家社會主義(其項に詳述)
- ステインド・グラス Stained-glass 染硝子と譯されて居る。硝子に繪畫を施しそれを焼附けたものであつて、技

巧に苦心する時は頗る藝術味の豊富なものである。裝飾美術として熱心に努力して居る者も尠くない。だが我國のカフェーや商店のウインドウにあるものは頗る俗っぽい。

- ステリオ・タイプ Stereo-type 俗にステロ版と言ふ。印刷に用ゐる鉛版の事である。
- ステアリン蠟燭 Stearin candle 西洋蠟燭の事。ステアリン酸を以つて製したるが故に此名がある。
- ストライキ Strike 同盟罷工其項に詳説同盟罷業、同盟休校。又野球の用語として投手が捕手に投げた真正なる投球と言ひ、打手がこれを打たなかつた時は、一點を失なふ規則になつて居る。
- ストライキ・ブレイカー Strike-breaker 俗に罷工破りと言ふ奴。同盟罷工の際、罷業職工の穴塞ぎに雇はれる職工の事であるが、罷業職工に取つては頗る不徳な振舞であるから、ブレイカー即ち破壊者と言ふのである。
- ストラッゲル・ホーア・エキジステンツ Struggle for existence 生存競争。ダーウィン進化論の標語とも目すべきもの。
- ストロベリー Strawberry 西洋莓、和蘭莓。
- スパイ Spy 間諜、探偵、大と同くそれ等を卑しめて言ふ場合に用ゐる。
- スピリチュアリズム Spiritualism 心靈主義、精神主義。
- スフィンクス Sphinx 「希臘神話」に傳つて、昔々スフィンクスと言ふ、人面獸身の素的な怪物が棲つて居たがこれは路上の岩上に踞して、行人を捉へて問ふに「初めは四足、次は二足、最後は三足となり、而かも足の多き

時程弱きものは何物なりや」と言ふ難問を發した。是即ちスフィンクスの謎であるが、行人悉く其答に窮した。するに怪物は立所に其者を啖つたが、最後に賢人エディオス出で「そは人なり」と明答を與へた。するに怪物は其瞬間に死んでしまつたと言ふ。埃及ピラミット附近には此スフィンクスの巨大な石像がある。——此傳説よりして一般非常な難問題をスフィンクスの謎と言ふのである。「此世は解き難きスフィンクスの謎だ」と言ふが如きは其例である。

○スピード Spade 鋤の事であるが、我々が多く使ふのは鋤型の模様を描いたトランプ札の事である。

○スペクトラム(或はスペクトル) Spectrum 分光景を譯す。プリズム其他分光器に依つて分解された多様の光線色帯。其色數、赤、紫、藍、青、綠、黃、橙黃の七色である。

○スペイン感冒 大正七年頃全世界を襲ふた悪性感冒の事であつて、一名世界感冒とも言ひ、スペイン感冒の名あるは、スペインが其病源地であるからだ。當時我國でも其犠牲となつて斃死したものの幾人なるを知らず、爲に國境の關が俄かに賑はつた事は人々の記憶に未だ新たなる所であらう。

○スポーツマン Sportsman 運動家。同名の運動雑誌が朝日新聞社から發行されて居る。

○スポーツマン・シップ Sportsman-ship 運動家魂。運動家精神。即ち勝負に於て卑劣な手段を弄さず、勝つて誇らず、負けて怒らざる運動家道徳と言ふ。

○スラヴ Slav 歐羅巴北部の大民族、露西亞人と第一にブルガリア人、波蘭人、セルヴィイ人等を總括した民族で

ある。スラヴ魂と言ふのは我大和魂と言ふが如く、民族精神を大いに誇つて言つた言葉だが、餘り感心した魂でもなさうである。

○スラツプ Slap 野球用語。投手の足標の事だ。

○スリツパー Slipper 爪革草履。

○スリー・ベース・ヒット Three base hit 野球用語。一打の大飛球に依つて、第三壘まで一撃に入壘する事と言ふ

○スワン Swan 白鳥。

○性惡説

人間の性情は生れながらにして悪であると言ふ説で性善説の反對である。其最も代表的なるは支那の荀子である。彼は荀子三十編中性惡なる一編を草し、それを具體的に論破して居る。中にも「人の性は惡にして、其美なるは偽なり、偽り積んで化す、是を聖人と云ふ」とあるは全體の要を盡した名句である。性は生れて利を好み、耳目の慾ありて聲色を好み、それあるがためにあらゆる罪惡が生じるものである。だから外部より禮儀を以てそれを抑壓し、聖人の道に入るべきである——と言ふのが荀子の思想の要旨である。西洋ではホッブスなどが性惡説の主唱者として有名だ。(社會契約説の項参照)

○性教育 Sexual training

性慾を云々する事は、最も人間の羞恥心を誘ふものである。禮にならざる野人は知らず、苟も教養あるものは斷じて之を口にするを憚かる。が性慾は人間を永世に導く大問題である。是が知識の涵養は、決して閑却し去るべきものではないのである。父母は

是を教へず、師父は黙して語らない、然らば年少子女は、將來必ず當面しなければならぬ、性問題の知識を如何にして獲得すべきか。性に對する知識なくして性に臨む、其結果は實に恐るべきものがある。花柳病や畸形兒の出産などは皆此性的知識の缺乏から來るのである。試に我々が獨逸のウエデキンドの戯曲「春の日醒め」を讀むの時、神秘の帳に閉された性慾に不思議な興味を感じるのあまり、僅に十歳ぐらゐの少年少女が性交して、遂に妊娠し、爲に少女がそれを恥ぢて自殺すると言ふ恐るべき性慾悲劇に接するのであるが、若し其少年少女にして性慾の何んたるかを教へられて居たならば、斯る悲劇は生じなかつたであらう。——斯る思想から、從來秘密の宮殿の奥深く秘められて居た性慾を、猥褻を避け、淫猥を避け、醫學的に生理的に年少の子女に教へる事が唱道され、歐米の如きは夙に遍く實施され、某女史の『坊やはどうして生れたの?』の如き性教育の好著が幾つもある。我國でも近年漸く其必要が一般に認められ、從來の『男女七歳にして席を同じうすべからず』の如き教育法を排し之に代るに、性教育を以つてするやうになり、幾多の女學校に於て講せられるやうになつた。唯留意すべきは、性教育

は一進轉すれば、良風美俗を害ふの惧れがあるので、教育當事者は最もデリケートな心づかひを要せねばならぬ。

○精神分析學 Psychological analysis

奧太利維納大學の精神病學教授シグムンド・フロイドが初て公にした心理學の新説であつて、フロイド自身はコベルニカスの地動説以來の新發見であると誇稱し、或評論家はダー井ンの進化論に匹敵すべき重要な發見であると言つた。それ程精神分析學は現代の學界に異常な影響を與へたものであるが、特に科學のみならず、教育、文藝等諸種の方面に深い感化を及ぼしたのである。そして其説の内容は非常に理想化して來た現代の思想界の反映とも言ふべき唯心的な神秘的なロウマンチックな傾向を帯びて居るのである。それで『フロイド式浪漫主義』と言ふ名稱さへ唱へられて居る。フロイドは人間の心理を意識、前意識、無意識の三態に區別した。意識と言ふのは普通現在感じて居る吾人の意識を言ふのであつて、無意識と言ふのは嘗て過去に於て經驗し、現在では記憶に上つて居ない隠れたる意識を言ふ。前意識とは意識と無意識とを距つる中間の意識で

あつて、無意識が表面に現はれ得ないのは、此前意識が遮つて居る作用の爲であるが。聯想、追想等に依つて、無意識を容易に記憶に持ち來し得るもの、是亦前意識の作用に依る。人間にヒステリーと言ふ疾病があるのは、無意識が前意識に抑壓されて居る苦痛から生じて居るものであるから、其抑壓を取除いて、自由に過去の苦痛なり悲哀なりを表白せしむれば、ヒステリーは立所に治療される。又吾人の夢の作用の如きは、睡眠中意識が鈍り、前意識の作用に依つて無意識が復活される爲である。又文藝作品や藝術創作の如きも、作家の潜在せる無意識が、藝術の形に於て表白されるものである。假令はグインチの不朽の傑作『モナ・リザの微笑』の如きは少年時代の母親の記憶が、繪畫の上に作用したものである。——これが有名な精神分析學の大體であるが、現在フロイドに共鳴して此種の説をなすものは頗る多く、佛蘭西ボルドオ大學教授レジイ、瑞西ツユリッヒ大學教授ユング、加奈陀トロント大學教授ジョオンズ等の一流學者は皆此説の把持者である。

○生物測定學 Biometry

英國の生物學者ガルトンが創唱した生物遺傳の一學說である。たとへば日本人の身長
の比率は五尺三寸六分であるが、或る一人の父の身長は六尺あるとする。其子の身長が
若し五尺九寸であれば、彼は父の遺傳に負ふ所多く、若し五尺四寸あれば一般性に類屬
するものである。前者の如く血統に近きものは「相關」と言ひ、後者の如く一般性に近
きものは「復歸」と言ふ。斯くの如く一般生物を身長の數學的關係に依つて、遺傳的進
化を説明せんとする方法が即ち生物測定學なのである。

○生命人造説

英の生理學の泰斗シェフアー教授は、大英、理學獎勵會に於て「生命を人造すべき豫
報」と題して講演したが、膠質化學の力によつて下等な有機體の如きは人造し得るやう
になるかも知れないと言ふ漠然たる意味の人造説を述べたのであるが、畢竟それは豫報
であつて、斷定ではない。併し當時教授の此講演は世界を激動せしめ、奇蹟の出現の如
く騒いだのである。だが神のみしろしめす生命をいかでか、人の力で拵へ得られやう。
とは言へ最近黄金が水銀から採取し得られる事が發見されたさうであるから、或は全然

假空の夢とのみ排斥し去る事が出来ないのかも知れない。

○西南獨逸派

リツケルト、ビンデルバルト等獨逸現代の哲學界の重鎮の一派が主張する歴史哲學の
一派である。其の説によれば人生の規範は人性の事實に超越する一の完全理想であつて
之に到達せんが爲に努力するのが價值の生活である。眞の文化は是に近づく事を以つて
理想としなければならぬ、と説くのが彼等の主張である。

○世紀末 Fin de siècle

佛蘭西語のファン・ド・シエクルの譯語である。世紀の終末紀の事であるが、普通世紀
末と言へば、前世紀（即ち十九世紀）の末葉を指示する。さうして其意味に於ける世紀
末は直に頹廢的、末梢神經的、懷疑的、憂鬱的と言ふ内容が含まれて居る。十九世紀科
學文明が最高調に達した結果、物質過重からくる疲弊と倦怠は、人間を驅つて憂鬱症的
にした。其結果世紀末に現はれた思想、藝術は暗い憂鬱な神經的なものであつて、個人
主義、頹廢主義、象徴主義、異常主義、耽美主義等の世紀末特有のものが發生したので

ある。或評論家は此現象を稱して「世紀の痼疾」であると言つた。此世紀末的特徴の著しい人物としては、反つて其當時に現はれたものよりも、三百年前シエクスピヤが描いた『ハムレット』が最も典型であると言はれて居る。又佛蘭西ロウマン派の作家ミユツセの作に『世紀病者の告白』と言ふのがあるが、世紀末の人間を描いた作品として有名である。又ゴオリキの作品に『世界苦』と言ふ小説がある。是などは近代作家の描いたさながらな世紀末心理の描寫である。其題名から『トスカ』と言ふ造語は、世紀末的思想の合言葉となるに至つた。

○青踏派 Blue stocking

我國の新しい女の一派である。英國に於て一七五〇年頃女流文學者、女流論客の一團があつて、彼等はいつも青い靴下、即ちブリュ・ストッキングを履いて居たので、青踏と綽名さるゝに至つた。でブリュ・ストッキングと言へば、新しい女の先驅者を以つて目され、我國の新しい女の元祖平塚明子一派がそれを模して雑誌「青踏」を發行し、旺に熱を吹いたものだ。(新しい女の項参照)

○星董派

我國明治年代與謝野晶子、與謝野鐵幹等の一派が據つて居た雑誌「明星」は一時詩壇を風靡し、大にロウマンチズム振りを發揮して居たものであるが、彼等は何かと言ふと星や董などを歌ひ、センチメンタルな美に憧れた。星董派の名稱が起つた所以だ。更に彼等が屢々悲戀を詩題とした所から、一般安價な美文家や失戀家などを星董派と言ふやうになつた。

○セーブル條約

歐州大戰に於て土耳其が獨逸に加擔したゝめ、聯合軍が膺懲の意味に於て、土耳其に締結を餘儀なくせしめた屈辱的條約であるが、現在では土耳其新政府の憤起に依り、それは既に廢棄せられ、新たにローザンヌ條約がそれに代るに至つた。其要領は斯うである。(一)、トルコは君府以外の歐洲に於ける全領土を失ふ事、スレースは希臘に割讓すべし、(二)、亞細亞土耳其に於ては小亞細亞は依然土耳其の有であるが、其他は或は獨立とし、或は自治國とし、或は委任統治とする事、(三)、土耳其の陸軍は五萬に限定する事

(四) 治外法權を繼續し、財政は聯合國に於て監督する事等である。

○世界主義 Cosmopolitanism

世界主義とは國家とか民族とか言ふ制限的な觀念に囚はれずに、直接に世界全體に同化し、人類全體に同化し、自由に無差別に生きる事である。其結果として、世界主義は排他的な觀念があつてはならない、四海同胞の觀念に依らなければならない、博愛的な人類愛に生きなければならない。其思想が具體的に現はれた結果としては、政治、教育、經濟等の諸施設は一視同仁であり、平等無差別でなければならぬ。端的に言へば全世界の人間が「俺」と言ふ考をかなぐり捨て、**「兄弟」**と言ふ暖かい考に生きなければならぬ。此世界主義は、大戰後特に著しく發達した現象であるが、歴史的に觀れば随分古くから存在し、先づ**「汝の隣人を愛せよ」****「汝の敵を愛せよ」**と言ふ教義を標語とする基督教の如きは、最も古くして最も著しい世界主義であつたと言はなければならぬ。さうして事實基督教は其布教に當つて世界の涯までも熱心な努力を試み、蒙昧な野蠻人にすら、深い愛を以つて臨んだ。更に古代希臘のキニーク學派、ストア學派等世界主義

的思想を抱懷した宗派、學派は隨所にある。併しながら世界主義に於て、最も新鮮な響きを以つて我々の耳朵を打つ思想家は、現存英國の思想家ハーバート・ジョージ・ウェルズと現存佛蘭西の思想家ロウマン・ロウランの二人物である。歐州大戰の結果、國家主義の害惡に苦しんだ世界は、今更に世界主義のいかに望ましいものであるかを痛感したのであるが、其大戰後の世界主義を思想的に代表する者は、實に此二人なのである。ウェルズに就ては其項に悉しく述べた。ロウランは人道主義、平和主義の高唱者トルストイの唯一の繼承者と目されて居る人物であるが、人道主義、平和主義は世界主義と密接な關係を結ばずしては成立し得るものではない。而もロウランは其人道主義、平和主義をあから様に世界主義に融和せしめたのである。大戰中彼が愛國主義者から、旺に批難されながらも、敢然として國家的鬭争の罪惡を痛論した事は有名な話柄であるが、其論集「争ひの上にあれ」に於て彼は言ふ。「各國民は多少なりとも其帝國主義を有して居る。其形が(中略)共和的なり、社會的なり色々であつても夫は歐羅巴の最良の血を吸ふ蝨である」と斯る主張から彼は眞向に人道主義的近世主義を振翳し、ラッセル、タゴ

ール等世界の一流思想家の結合よりなる「精神の獨立宣言」を實行し、精神的世界主義を實現したのである。(新英雄主義、ロウランの項参照) 尙インタINAシヨナル (其項参照) は労働者の世界主義と見做し得べきも國際聯名はウエルズも言つた如く、國家意識の上に成立されたものであるから、世界主義とは言ひ難く國際主義と言ふべきである。(インタINAシヨナルの項参照)

○刹那主義 Momentarism

瞬間の快樂の爲には一切を犠牲とするも厭はぬ主義である。「春宵一刻價千金」と言ひ、「宵越の金は持たぬ」と言ふも廣義の意味に於ける刹那主義であるが、普通思想上に言ふ所の刹那主義は世紀末デカダンや乃至は享樂主義者が、將來に對して何等の信仰を持たず、刹那々々の氣分に絶對の價値を感じ、それに陶醉せんとする思想行爲を言ふのである。其言や好し、併し其身の果てはポーの如くヴェルレーンの如く敗殘のうちに野たれ死をしなければならぬ。

○ゼノア會議

大正十一年四月十日伊太利ゼノアに於て開催されたヴェルサイユ條約と共に大戰後の國際的大會議である。會議の主要題目は歐洲の經濟的復興、獨逸賠償金問題で、參列國は我國も參加して二十八ヶ國、主催者はロイド・ジョージである。折角の大會議であつたが、肝腎の金方の米國が參加せず、英佛の對獨の意思が疏通しなかつた等のため、結局は、『大山鳴動して鼠一匹』の體たらくに終り、ロイド・ジョージはすっかり器量を下げた。

○前成説 Theory of preformation

十七世紀から十八世紀の前半の間に於て勢力のあつた生物發育説。新生説に對し、生物の自體組織は出産した時に既に完備して居て、段々其儘に生長して行くのであつて、途中に於て變化や異變が生じるのではないと言ふのが其大要である。此説のうちにも卵論者と精虫論者の二派があり、前者は身體組織は卵に於て既に存在すると説き、後者は精虫に於て存在すると主張する。併し其出發點に於て完成されて居ると言ふ點に於ては相等しい。

○千年説 Millenarianism

未來に於て基督再來の時、先づ死せる義人が復活し、基督は一千年間此世譚を理し、然る後死せる一般人が復活し、此處に最後の審判が開かれると言ふ新約全書中（第二十章四節以下）に書かれた基督教の信仰の一つである。

○船舶禁酒法

禁酒法を施行した米國が、外國船にまでも干渉し、米國領沿岸十二哩以内に於ては、斷然酒を積込む事ならぬと規定した法案であるが、そりやあんまり野暮じやないかと英佛から嚴重な抗議を持込んだが、米國では頑として受付けず、現在も峻烈に勵行して居るのである。

○ゼームス（人名）

二十世紀の福音であると言はれる新思想ブラグラマチズムの哲人ウヰリアム・ゼームスは獨り亞米利加のみならず、新世紀の誇りである。彼は一八四二年ヘンリー・ゼームスを父として紐育に生れたのだ。父が神學者として轉々した關係上、歐洲の諸々の大學

を轉々として不規則に教育を受けた。卒業後ローレンス科學校の心理、哲學の教授となつた。大思想『ブラグラマチズム』は一九四六年から七年に亘つて、ボストンのロウエル學會、紐育のコロンビヤ大學で講演されたものである。一九一〇年六十八歳を以つてニユーハンブシャイアに逝いた。時代は英雄を作ると言ふ、其意味に於て時代は思想家を作る、現代の理想主義的思想家は、互に相影響されて、時代精神を作るに至つたものであるが、ゼームスは彼の積極思想のベルグソンに負ふ所尠ならず、彼自身も『私よりも若い併し頗る獨創的な佛蘭西の著者』とベルグソンを推賞し、ベルグソンに教へられた事を告白して居るのである。（ブラグラマチズムの項参照）

○セザンヌ（人名）

現代の哲學が一度は總てカントに歸るやうに、現代の繪畫は一度は總てセザンヌに歸る。彼は過去の藝術と近代の藝術との分水嶺とも言ふべき巨人であつて、彼以後の美術上の諸運動は彼を出發點として發展したものである。併し彼は普通後期印象派の第一人者として知られて居り、印象主義、新印象主義等の不徹底な主觀傾向から、純粹な主觀

表現、透徹した感覺表現を試みたのは彼である。さうして彼の畫風は彼以後のあらゆる畫家に影響を及ぼし、所謂「セザンヌ張り」の露骨な彼の模倣者さへ随分現はれたのであつた。彼は十九世紀後半佛蘭西に活躍した畫家であつて、彼独自の自主觀傾向に達するまじは、彼も又クルーベールなどの寫實主義的傾向を帯びて居た。

○制海權 Sea power 海軍が或は國權に依つて、一定の海上と自國の支配下たらしむる權利である。

○制空權 Air power 制海權が海に於ける如く航空機を以て空中を執掌する權利である。制海權と言ひ 制空權と言ひ何等標識を設け得ない漠然とした境地を支配するのであるから、畢竟それは假定的のものたるを免れない。

○請願權 各人が國家に對して或る行爲を要求し得る權利である。我帝國憲法第三十條に「日本臣民は相當に敬禮を守り、別に定むる所の規定に従ひ請願となす事を得」と言ふのがそれである。

○政務官 Executive officer 政策の大本と樹て行政の樞機を司る官吏であつて、永久的な事務官とは反對に内閣の變更と共に進退する事になつて居る。國務大臣、内閣書記官長、法制局長官等皆それである。

○政務次官 Parliamentary secretary 事務次官と共に大臣を補佐するものであるが、議會に出席して議員の質問に應答したりなどして、議會と政府の交渉に當るのが其主な職務である。英國では以前から存在して居たが、

我國では大正十三年加藤憲政會内閣の時初めて設置された。

○青年團體 Jungentheil (獨逸) 獨逸に於て小學校卒業程度即ち十四歳以上凡そ二十歳頃までの青少年に國民的教養や、社會奉仕の觀念を養はしむる爲に組織された。謂はゞ我國の青年團に相當し、英米のボーイスカウトに相當するもの。

○精神科學 自然科學に對し心理學、史學、言語學、美學など、總て精神活動から直接生ずる現象を研究する學問と言ふ。獨逸語で Geisteswissenschaft

○正統派 オーストツクスの譯語、其項に詳説。

○正統經濟學派 スミス學派の別名、其項に詳説。

○西方教會 Western church ローマン・カトリック教會の別名、其項に詳し。

○清教徒 ビュリタニアンを見よ。

○星雲說 カント・ラプラス說に同じ、其項参照。

○性格描寫 小説、脚本等に於て人物の性格に意を注いで描寫する事。

○靜劇 Static drama 近代劇の權威マアテルリンクが創始した戯曲の形式。從來の科本位の劇作法を破つた大膽な様式であつて、外形的には動きに乏しいが、精神的に内在的に非常に躍動して居る手法である。一見した所舞臺は氣味悪い沈黙に支配されて居るが、内面的には觀客の胸に慄々迫つて來る何ものかがある。さうして斯

る手法はマアテルリンクの如き沈思の詩人にして初めて相應しい手法であらう。同人「ベリアスミカリサンド」

「内部」などは静劇の典型的なもの。我國の秋田雨雀氏なども是を試みたが、未だ附焼刃たるを免れない。

○性格悲劇 主人公の有つ性格が原因となつて、悲惨な境遇が生ずるに至る劇の事と言ふのであつて、運命悲劇が運命の力に左右されて悲劇に導かれるのきは反對である。そして後者は古代劇に多いが、前者は現實と尊ぶ近代劇に多い。シエクスピヤの「ハムレット」イブセンの「ボルクマン」ストリンドベルグの「令嬢ユリス」等は性格悲劇として有名である。

○静物画 Still life 人物畫、風景畫等に對して、果物、器具等の不動の物體を描いた繪と言ふ。林檎などを描いて静物の畫題を附し、西洋畫は屢々見受くる所である。

○生物化學 動物化學及植物化學の總合的名稱。即ち生物の生活現象を化學的に考究する學問。

○青銅器時代 Bronze age 原始時代、石器を使用した時代より稍々人智が發達した時代は生活具として重に銅器を使用した。其時代を青銅器時代或は單に銅器時代と言ふ。

○セヴン・バンク Seven bank 英語。辭典にはない和製英語であつて、質屋の事をもつて言つたもの。

○セーフティ・ファースト Safety first 安全第一。

○セーフティ・ゾーン Safety zone 電車の安全地帯。

○セーフ Safe 安全と言ふ事、野球用語として無事に入壘した事と言ふ。

○セーフ・イン Safe-in 野球用語、無事生還した事と言ふ。

○セーフ・ヒット Safe-hit 走壘者と安全に入壘せしむる大飛球。

○セオリー Theory 理論、學說。

○セカンド Second 時計の一秒時、一瞬間、又第二位の事とも言ひ、野球の第二壘の守手の意に使はれる。セコンドとも發音する。

○セカンド・ハンド Second hand 古物、古手、一邊水と潜つたもの、焼直し、再婚夫人。古本の事はセカンド・ハンド・ブックと言ふ。

○セメンテーション Cementation 鍛鐵を約一週間程木炭の中に埋め絶えず低熱を與へるに炭素は徐々に鐵の中に進入して鋼鐵になる。此鋼法が即ちセメンテーションである。

○世界感冒 スペイン感冒に同ト。

○世界苦 獨語ウエルツシユメルツ、露語トスカの譯語。其項を見よ。

○責任支出 當然議會の協賛を得べきものと、議會解散等の場合、政府が任意經費を支出し、爾後それに就いて何等かの問題發生したる場合は、政府は其全責任を負ふべきものであると言ふ意味に於て行はれる。議會政治に於て斯る處置とする時は、稍ともすれば違憲問題等を生ずる懼れがある。

○赤化 社會主義化する事、危險思想化する事、左傾する事。赤化運動と言ふのは宣傳、勸説等に依つて、社會を

赤化せしめんとする運動であつて、露西亞の過激派政府は、折角自國が社會主義組織になつたのに、他國がまだ資本主義組織であつては、自國の政策に不満の徒は他國に走る危険があると言ふので、可なり宣傳費を使つて各國に秘密に赤化運動を試みた。蓋し唯一の國家的の赤化運動である。赤と言ふのは、社會主義が過激熱烈なるを象徴した結果であつて、赤化せざるものは白と見たて、居る。それで赤大根などと言ふ熟語が出来て居るがそれは表面赤化を裝つて、内心赤化せざるものと嘲笑した言葉である。人參と言ふのは心から赤化した者を言ふんだらうな。

○赤化防止團 萬世一系金甌無缺の我帝國に赤化などとは怪しからぬと言ふので、我國に最近組織された極右派の結社である。

○赤衛軍 露國革命の際、クレンスキー内閣と居るべく武器を取つた勞働者と衛戍兵で組織された軍隊。革命政府樹立後は、政府軍に編入された。

○是々非々主義 文字通り是と是と非と非とする主義、即ち公平無私と標榜するものである。我國の政黨や上院の會派などがよく是と口にしたがる。殊に原内閣當時の研究會の是々非々主義は頗る有名である。だが我國のそれは妥協の臭味があるから、幾分鼻つまみだ。

○セツション Decoration 建築美術、工藝美術に於ける近代の主流の一つであつて形體及圖案に於て直線と主とし、簡素、輕快、瀟洒の趣と旨とする清新なる様式である。一時世界の造形美術は所謂セツション式の風靡す

る所となり、現在に於ても相當の勢力を有つて居る。其發生したのは一八一七年埃國の建築家ワグナーの創唱したるに初まる。我國に於ても蔣繪、洋家具、衣裳圖案等にセツション式の流行は相當著しいものがあつた。

○セツクス Sex 性——即ち男女の別、雌雄の別。

○絶食同盟 ハンガー・ストライキの譯語。其項詳し。

○ゼネラル General 將官、將軍の事。別に一般普通等の意味もある。

○セピア Sepia 黒褐色、黒褐色の繪具。烏賊の墨汁袋を乾かし、薬品を混じて製したもの。主として水彩畫用に使はれる。

○ゼラチン Gelatine 動物の皮、軟骨等を煮て製した膠を、更に精製した半透明の物質。石版印刷の黒色刷に特效がある。

○セルブ・ヘルプ Selbst-Helf 「天は自ら助くるものを助く」の其自助の事。明治年間中村正直の譯した「西國立志編」は非常に我國青年を發奮せしめ、大いに流布した書物であるが、其原著の題名は「セルブ・ヘルプ」と言ひ、著者はスマイルスである。

○セレナード Serenade 佛語。英語に訓じてセレネードとも言つて居る。邦譯語では小夜曲と言ふ。黄昏戶外に吹奏する曲の事で、頗るロウマンチックな詩趣に富んだものである。西班牙では戀する若人戀人の部屋の窓の下で是を吹奏して戀人の仇し心を誘ふの風習がある。

- セロ ヴイオリン・セロと見よ。
- 潜在意識 心理學の用語。普通表面的意識に現はれずして、意識下に潜み、睡眠中或は催眠術等に依つて現はれる意識の事である。精神分析學で云ふ前意識の事(其項参照)
- 選定家督相續人 推定或は指定家督相續人なき場合に、親族會議が選定する家督相續人である。被相續人の家族ある場合は其家族、なき場合は他人中より選定する事になつて居る。
- 戦時利得税 War profit tax 戦時に於て戦争の餘惠に依つて得たる利得に對する課税であつて、我國では歐洲大戰中成金續發當時即ち大正七年に新定實施された。それに依れば船舶、鑛業、砂鑛業に關する權利、其他或種の所得税に對して賦課し、其税率は法人にあつては利得金額の百分の二十、個人にあつては百分の十五と言ふ事になつて居る。英、獨、米、伊、埃、露、丁、瑞等の諸國も大戰中之を實施した。
- 全院委員會 上下兩院に於て各全院の議員と委員とする委員會議。委員長は令期毎に選出し、委員會は委員 分の一以上の出席あらざれば開會する事を得ない。
- 染色體 X染色體と見よ。
- センシブル Sensitive 感し易い、鋭敏な。
- センシユアリズム Sensualism 官能主義、情慾主義、センシユアリストは官能主義者、肉樂に醉ふ人。センシユアルは肉感的、感覺的。

- センス Sense 智識・理性。
- センチメンタリズム Sentimentalism 感傷主義の事(其項に詳述)
- センチメンタル Sentimental 感傷的な、多感的な。
- ゼントルマン Gentleman 紳士。
- ゼントルマン・シップ Gentleman-ship 紳士道。我國の武士道の如く、英國では是と非常に尙ぶ。
- 戦争赤ん坊 War baby 大戰後歐洲の辭典に新たに現はれた新語である。大戰中爛逸の交戦軍人が白、佛、露に於て其國の女性と辱しめた結果生れた私生兒。佛國婦人と英兵との間にもあると言ふ事。

【リ之部】

○相互扶助論 Mutualaid

無政府主義の巨頭ピーター・クロボトンの名著である。彼の無政府主義は人類の相互扶助の美德に基いて、樹立さるべき事を主唱したものであるが、彼が相互扶助論一卷を世に提供した事は、よしそれが無政府主義其物の宣傳ではなく、其直言的主張は反つて「パンの略取」等に於て知り得るとするも、無政府主義の安座すべき基礎を提示したものととして其價値は頗る重大なるものがある。且つや本著は人類界の大發見である點に於て、獨り主義者間の經典として隨喜さるゝに價するのみならず、一般人類の『平和の福音』として、博く推賞さるゝに價するものである。ダービンはその『進化論』に於て楯の表を見た、クロボトキンは相互扶助論に於て其閑却された裏を讀んだ。ダービンは生物は生存競争に依つて進化すると主張し、クロボトキンは相互扶助に依つて進化すると抗辯した。彼の説く所に據れば過去幾千年、過去幾萬年の生物の歴史に徴せよ。先づ盲目的利己心のほか何物もないと思はれる(一)動物の相互扶助は實に驚くべきものであつて

虎、獅子等の少數の非社交的動物を除くのほか、他の動物或は鳥類や狼の如き狩獵同盟に於て、或は鳥類の孵化同盟に於て、或は小鳥の如き相互保護に於て、蟻、蜜蜂の如き社會的生活に於て、彼等は何等かの形式に於て相互扶助を營み、相互扶助なき種屬は、他の種屬に壓倒されて、或は衰へ、或は亡びて居る。其反對に相互扶助の完全な種屬は、繁榮して居るのである。更に動物と幾何の徑程なしと思はれる(二)朦昧人及(三)野蠻人の生活に於て、驚くべく進歩した相互扶助の事例を隨所に發見する。彼等の多くの部落は嚴正な正義を守り、共同勞作を營み、獲物の如きは決して自儘に扱はず、共有の爲に提供するのである。食人、殺人等の蠻習は唯宗教的信念に據るのであつて、決してそれを妄にせないものである。クロボトキンは更に筆を進めて(四)中世都市の相互扶助に於ては中世社會制度の根本となつた同業組合の實例を挙げ、(五)近代社會の相互扶助に於ては、勞働者の組合、貧乏人の相互扶助等を詳説し個人主義の極度に於てすら尙且つ生物の根本性質の失なはれて居ない事を理解せしめ、斯くの如き生物の本來性を充分發揮した理想社會即ち無政府主義社會の決して一片の空想でないと言ふ事を暗示し

たのである。よしや彼の無政府主義には幾多の批難すべき點があるとするも、『相互扶助論』の人類學、生物學の大貢獻である事は、敵も味方も共に認める所であらう。因に該著は一八九一年より九六年に掛けて雑誌『十九世紀』誌上に分割掲載されたものである。

○相対性原理 Theory of relativity

二十世紀科學界の大發見は何であるか。それはアインスタイン博士の『相対性原理』である。それはニュートン以來の確信であつた時間、空間、物體の絶對と言ふ事が根底から覆へされたためである。宇宙の大法則であつたニュートンの引力説や、光學説が根底から動搖を來したためである。此新なる發見のために全世界の學童の物理學教科書は新たに書き替へねばならなくなるであらう。でアインスタインの相対性原理と言ふのは、どう言ふ内容であるかと言ふと、現在、世界の學界で之を會得して居るものは、十二人に過ぎない程斯く難解である——と言ふのは些か脅かし氣味であるが、要するに彼のアインシュタインは宇宙の諸現象を計る尺度を總べて『相對』を以つてした。地球は動くと言ふ——併、それは他の天體から見るとの觀察であつて、地球の殻の上に立つて居てはピ

リツとも動いちや居ない、これ運動の相對率である。又時間は疾走して居る汽車中で計つた時間の方が、静止して居る時に計つた方よりも長い。其理屈を以つてすれば、公轉自轉の關係からして、他の天體から計る時間と地球の時間とは相違する。かるが故に時間にも絶對と言ふ者が無い。だから時間空間の絶對静止と言ふ事を假定として樹てられたニュートンの力學は、全然無根據である。更にアインスタインは此理法を光學に推進し、光線は太陽の重力に依つて屈折し、又エーテルの如きも静止するものではないと言ふ異論を樹てた。斯くの如き破壊的異説が果して眞理であるか否かは一時學壇を擧げて騒然となつたが、英國天文學會などの北ブラジルやブランシブに於ける實地試験は、それが眞理であると言ふ事を立證した。

○早教育

米國で最近流行して居る教育法の一つ、學齡に達せない以前から、兒童に教育を施し、早ければ早いだけそれだけ兒童が教育的に發達するものであると言ふ主旨を履行したものである。一面に於て身心發達せざる幼兒の成長を害する恐れありとして、相當に

批難もある。

○象牙の塔 Ivory tower

牛乳のやうに眞白な美しい象牙の塔が、五彩の雲の彼方に隠見して姿を想像して見給へ、思ふてもそれはロウマンチックであり、詩的である。若し其様な塔の中に住ふやうな人があるとすれば、それは花に憧れ、月に夢みる浪漫派の詩人でなければならぬ。浪漫派中の殊に浪漫的作家であり、其點に於てはユーゴーよりも優ると言はれた佛蘭西十九世紀の作家ギニーを評して、『彼は象牙の塔に立籠る』と言つた同國の文藝批評家サント・ブウヴが言つた言葉は、全く至言である。象牙の塔なる言葉は、此ブウヴの使つたのに初まり、俗世の悲苦醜惡を厭ふて夢幻的な詩美な空想に逃れんとする詩人作家の態度を言つたもので、其様なものが實在して居た譯ではないのである。唯美派、浪漫派象徴派の藝術至上主義の作家は總て象牙の塔に濁世を避けるものと見て好い。

○ソウエート會議 (ソウエート會議)

勞農露西亞には市には市ソウエート會議、縣には縣ソウエート會議があり、國家とし

ては全露ソウエート大會がある。立憲國の代議制度に代はるものであるが、總て勞農階級から選出せられる點や、其他其内容に於て非常の相違がある。全露ソウエート大會は市縣會議員から選出された委員を以つて當て、勞農主權の最高會議であるが、平常は同大會の選出にかゝる中央執行委員會が主權を執行して居る。全露大會はウクライナ、白露、コーカサスの三共和國(全露聯盟)の参加に依つて完成されて居る。

○屬人主義 Nationalitats, Subjektionsprinzip (獨逸語)

刑法學上の主義、古代刑法は概ね是に準據するものである。屬地主義と相對する。自國の國民は假令外國に住ふとも、自國の法律を適用し、それと共に外國人は假令自國に住ふとも自國の法律を適用しないと云ふ人間本位の法律で、土地に重きを置かないものである。其法律を屬人法と言ひ、現在では斯界の新派を以て鳴る伊太利學派(其項參照)が之を首唱し、他國は其國の公安を害せざる限り、其國に居住する外國人に對し其本國の法律の適用を許すべきであると説いて居る。

○屬地主義 Territorialprinzip (獨逸語)

前項屬人主義に反し、領土至上或は領土保全の觀念より、自國領土本位に法律を適用せんとするものであつて、是に依れば自國內の外國人と雖も自國の法律を適用する代りに、自國人と雖も外國に居住するものは、居住國の法律の支配を承認する事になる現在世界の各國は大抵是を實施して居る。

○ソシアニズム Socialism

ソツチ派の事である、ユニテリアン教の先驅をなし、伊の神學者ソツチニに依つて創立された。キリストは神にあらす神の啓示を受けて傳道し、復活して天國に擧げられたと言ふのが其根本思想であつて、ユニテリアン教と共に反三位一體思想を把持するものである。

○ソリダリティ Solidarity

和譯すると單に『連帶』或は『共同』と言ふ事になるのであるが、普通今日思想界で言つて居るのは現佛蘭西の社會改造論者レオン・ブルジョアが首唱するところの『社會連帶主義』を目して言ふのだ。そして此社會連帶主義たるや、社會主義の如き矯激味を

帯びず、社會改良主義とも言ふべきものであるがため、責任的地位にある政治家(殊にホアカーレなど著しい)や教育家にも觀迎され、現佛蘭西に於て最もポピュラスな思想であつて、正に『御用主義』の如き觀を呈して居るのである。却説、該主義の主張に曰く「ダービンなどの生物學に徴すると、生物の個體の組織には、二つの成因がある。一つは自然淘汰であり、他は各機關の綜合である。(進化論の項參照)自然淘汰は生存競争の結果から來るものであるが、機關の綜合は調和融合から來るものである。生物個體の各機關が其居るべき所に居る、其當然の状態を營まない時、即ち機關の一部分假令ば心臟などが不自然に發達したり、或は退歩したりすると、其生物を死に導くものである。此生物の生存に於ける調和の必要は社會生活の上にも現はれ、各個人が其分を守り、互に其共同の義務と責任を盡す時は、社會全體は圓滿なる發達を遂げ、一部のものが不當に利己的發展を計る時は、社會は衰退し或は滅亡する。假令ば何等勤勞なくして父祖より資産を繼承するが如き、資本家が何等勞するなく、安逸を貪るが如きは、社會連帶の責務を盡さざるものであつて、當然我等はそれ等に對し損害の賠償即ち社會奉仕を要求し得る

権利がある。汝が社會の一員たる事を忘るな、汝が其一員たる事實は、社會連帶の一因子たる事を證するものである。其思想に於てはクロボトキンの相互扶助思想と通ふものがあるが、その如く革命を豫想せず、飽迄も公德心の上に立據するものである。

○孫文派

現下支那政界の孫文の率ゐる國民黨の事を言ひ、南方派で最有力の政黨である。又別の意味で胡漢民、汪兆銘、李烈鈞等孫文直系の政客を總稱し孫文派とも言つて居る。

○ソクラテス (人名)

釋迦、孔子、基督と共に世界四聖の一人に數へられる人物。紀元前四六九年希臘の亞典府に生れた。父は彫刻家、母は産婆。彼の智徳合一の倫理説は、希臘時代を支配した最も勢力のあつた道徳思想であつた。一代の道徳家として、其道徳學を國人に鼓吹したが、國家の神々を否定したところから、爲政者の怒を買ひ、死刑を宣せられ、從容として自ら毒を仰いで死んだ。時に紀元前三九七年。其門からはプラトーン首め幾多の有名な學者を出した。(キレーネ學派、キニツク學派、詭辯派、智徳合一説の項参照)

○ゾラ (人名)

エミール・ゾラは兎に角容積の大きい人物だつた。十九世紀の怪物自然主義を擔ぎあげた彼の苦闘振りには正に讚嘆に値する。彼は一八四〇年、佛都巴里で生れた。少青年時代彼は他の偉人の生ひ立ちに見るが如き資性聰明の方ではなく、不器用な鈍重な男であつて、中學では落第するし、大學の入學試験には滑ると言ふ爲體であつたで學校の方は斷念して、或は税關の小役人となり、或は出版屋の發送係りとなり、或はフイロ新聞の記者となり、其當時より徐々に文壇に乗り出して行つたのである。試に我々が彼の著作の目録を閲して見るならば『ルウゴン・マツカール叢書』二十卷、『三都物語』三卷、『四福音書』四卷等、實に龐大なる大著の連發に驚くのであるが、是はゾラのゾラたる所以であつて、所謂運根鈍者流に遅々として浩漭なる大作を幾つも現はしたのである。其自然主義を主張するに當つても、まるで政黨の政綱のやうな宣言を發表し、四股を踏んで乗り出したのである。藝術家らしからぬ藝術家！才よりも力！機智よりも根氣！だがあの十九世紀の全世界を風靡した自然主義を生み出すには、偉大なる鈍物ゾラでなくして

誰がなし得やう。一九〇二年彼は過失から暖爐の瓦斯に窒息して死んだ。ゾラらしい最期ではないか！(自然主義の項参照)

○孫文 (人名)

孫逸仙とも言ふ。支那の君主政體を覆して、今日の共和國たらしめた革命家は孫文である事は餘りに多く世に知られた事實である。其經歷位置を歴史上に求むれば、恰もワシントンや我西郷隆盛などに匹敵すべき人物であつて、現代支那第一の恩人であるが、彼は遂に理想家であつて、實際家ではなく、それが爲革命後に於ても迂餘曲折、未だに失意の状態にある。今彼は廣東を根據として其理想を實現せんとして居るのであるが、齡既に六十有餘、鬚髮に霜を置く身で、果して其黄金時代が来るや否やは頗る懸念に耐けない。彼は元醫者出身、革命に身を投じてから既に四十年を經過した。

○相續税 相續を開始する際、日本國內に存在する相續財産に賦課する租税と言ふ。家督相續貳千圓未満、遺産相續五百圓未満には課税せず。家督相續財産額參千圓以下は壹千圓、五千圓以下は五百圓を控除して課税する。

○總同盟罷業 General strike 同盟罷業に詳説す。

○掃海 掃海船等に依つて、敷設水雷、潜航艇などの海中に敷設されたる危険物を除去して航海を安全ならしめる

事と言ふ。

○造形藝術 繪畫、彫刻、建築等の如く眼に見ゆる形に表はした藝術、即ち美術工藝の事である。

○綜合藝術 各種の藝術を綜合して、それが更に一つの藝術を構成するもの、謂ひであつて、それに該當するものは音樂、繪畫、美術、舞踊、演技、文學の綜合からなる演劇のほかに殆んどない。つまり演劇の別名である。

○創作 廣義に解すれば、詩歌、戯曲、小説等の文藝作品に對して言ふのであるが、狹義に解すれば小説の事と言ふのである。小説でも通俗小説、家庭小説、講談小説等から區別し、作家の純真なる創意に依つて作られた純文藝の小説と言ふのである。

○ソヴィエツト Soviet 露語ソウキートと英語に訓したるもの。本來は委員會、委員制度と言ふ意味になるんだが、今日では反つてそれでは通ぜず、露國の勞農政體と言ふ事になつて居る。(過激主義、ソウキート會議の項参照)

○ソーセージ Sausage 西洋料理の名、腸詰の事。

○素描 英語のデッサンの事、其項を見よ。

○屬性 Attribute 本來其事物に屬して居る性質。換言すれば事物の一般通用性である。假令ば思考力は人間の屬性であり、水泳は魚類の屬性である。

○卽興詩 偶然思ひついた感興を卽座に歌つた詩の事である。

- 卸追ひ 取引所用語。本場と後場との相場が、本證據金の半額以上騰貴又は下落したる時、即日納むべき追證據金の事と言ふ。
- 底荷 船底と深くするため、船底に積込む砂、石、石炭等の重量物と言ふ。
- ソサイエティー Society 社會、交際場程。
- ソシヤイアリズム Socialism 社會主義。佛蘭西の思想家ピエール・ルルーの造語に、る。ソシヤリズムとも言ふ。
- ソシヤイアリスト Socialist 社會主義者、社會黨々員。ソシヤリストとも言ふ。
- ソツファ Sofa 長椅子、寢椅子。
- 外割引 商業上の用語、眞割引とも言ふ。手形面金額に對する利子と手取金との合計が手形面の金額となるやうに計算して割引する事と言ふ。
- ソドミー Sodomy 男色、鷓鴣の事。大昔死海のある所にソドムと言ふ都會があつて、ソドムの市民が此鷓鴣と行ふの風があつた爲、斯くの如き名詞に作られたのである。ソドム人は斯く不倫な人間の集ひであつたため、神の怒りを買ひ焼き盡されたと言ふ風に、聖書には出て居る。
- ソナタ Sonata 獨奏樂の曲の事、各種の相異なつた調子より成るもの。
- ソナム・ソルヴェル Zonum salvare 拉典語で「處女の帯とゆるめる」と言ふ事。ソドミーと言ひ此語と言ひ斯く變

張味を帯びた事と、斯く外國語に依るのはそれに依つて其露骨を蔽はんとするものであらう。

- ソネット Sonnet 短詩、短曲。詳しく言へば十四行に制限された抒情詩形。
- ソフト・ハット Soft hat 中折帽子、特に柔かいものと言ふ。
- ソプラノ Soprano 音樂階音の高調子、最高音。
- ソマトーゼ Somatose 人體營養品の一種、肉類より製した黄色粉末の藥劑。
- ソムナンプリスト Somnambulist 離魂病者、夢遊病者。ソムナンプリズムは其病氣の事。
- ソライズム Volaism 自然主義は殆んどソラ(其項参照)に依つて築かれたものであるため、自然主義の別名としてソライズムと言ふ。又ソラは非常に露骨な性慾描寫としたため、さうした自然主義的性慾病者ともソライズムと言ふ。又我國の小説家小杉天外、永井荷風の如く直接的にソラの主張様式を模する事も又ソライズムである。要するにソラ式自然主義を譯するのが最も妥當であらう。
- ソルジャー Soldier 軍人、兵士。
- ソロアスター教 拜火教に同ト。(其項参照)
- 損害保險 火災保險、運送保險、海上保險等突發事變の損害に備ふる保險と言ふ。
- 樽組折衝 幾度も談判を重ねる事と言ふ。殊に國交上の談判に多く言ふ。晏子春秋に「樽組の間に出でずして、千里の外に折衝す」の語から出たものだ。

【タ之部】

○第三帝國 Third Empire

第三帝國、畢竟それは吾人人類の夢ではあるが、而も古來幾多の思想家、理想家の夢みて止まぬ「理想の樂土」である。殊に近代に至つて文豪イブセンが其戯曲「皇帝とガラリヤ人」に於て、此第三帝國實現の理想を高らかに掲げてからは、殊に吾々に深い親しみを覺わさせられる所のものである。更に露國現存の文豪メレジュコフスキーも其有名なる三部作「死の神々」(其他)に於て、ジュリアン皇帝、ダ・ヴィンチ等の靈肉葛藤の苦患と闘つた人物を描き、第三帝國實現を豫言した事も、思想人には感銘深き所である。然り第三帝國と言ふは靈肉葛藤を絶ち靈魂の理想と肉體とが渾然と融和した見えない魂の王國の事を言ふのである。肉體は恒に物慾に憧れ、靈魂はそれを否定し、兩者は恒に相反して居るものであつて、吾々人間が日常斯く苦しみつゝあるのは、此靈肉兩者の相争ふがためである。此吾々人間に一貫した煩惱の焦苦争闘を代表的に體驗したるは人道主義の巨星、文豪トルストイである。彼の青年時代は賭博、女色等の放恣な生活に溺

れたのであるが、遂には深刻な靈的慾求によりて偉大なる方向轉換をなしたのである。彼の思想は實に徹底せる禁慾と無抵抗の唱道——最も著しい第三帝國の唱道となつたのである。斯く第三帝國理想を口を極めて力説して止まなかつた彼自身も靈肉葛藤の苦しみに耐へ兼ね、郷里ヤスナヤ・ポリヤナを抜け出でて、目標のない漂泊の旅に出で、一寒村で遂に身を果てたのがトルストイの最期であつた。大なる靈肉葛藤のシンボル！さうして最も偉大なる第三帝國の唱道者——第三帝國と靈肉の間に横たはる裂目は此近代の大思想家にすら免れなかつた。否此大思想家が最も代表的な大矛盾其ものであつたのである。

○大學植民と大學擴張 University settlement and University extention

大學が最高學府として民衆から超然として九重の雲深く隠れて居るのは、時勢の趨勢に矛盾した貴族主義である。元來教育は專有せらるべきものではないのであるが、現在の社會制度に於ては如何ともし難い。故に時間と物質の點に於て庶民階級が其門に入る事を阻まれて居る大學の如きは、自ら積極的に民衆の最中へ投じて行つて、教育の自由

を興へるべきではあるまいか——大體恣ふした主旨の許に英國牛津、劍橋の兩大學が中心となり、十九世紀初頭頃より「大學植民」及「大學擴張」なる事業が旺に實行されるやうになつた。大學擴張は講義録を發行し、或は講演會を開催する事等に依つて、學問研究の社會的浸潤を期して居るのであるが、「大學植民」に至つては、純然たる社會政策或は社會事業であつて、机上の空論を事とし、實社會に沒交渉なる學者連に此舉のあるは、流石自由主義を誇る英國である事を思はせ、且つは民本主義の旺盛な現代社會の影響を偲ばせるものがある。大學植民と言ふは倫敦の諸所の貧民窟にトンビー館なる教育館を設立し、前記大學の卒業生、在學生及び牧師が夜間に大學課程の教授をなし、或はトンビー館員が館所在地の福利増進のために政治的奔走をなし、或は勞働者や婦女子のための講演會、社交俱樂部等を開催するのである。トンビー館は現在倫敦各所に散在し二十五ヶ所に達し、其建築物は大學の建物を模寫し、且つ大學からの後援支持の許に經營されて居るのである。大學植民の元祖とも言ふべきは牛津大學卒業生デニソン氏であつて、牧師バーネットの如きは其創始に力を盡した人物である。トンビー館が初め

て設立されたのは一八八五年である。

○ダイナマチスム Dynamatism

譯して爆彈主義と言ふ。即ち結社徒黨などが爆裂彈を投じて目的を遂げやうと言ふ最も險呑な主義であつて、不逞鮮人、虛無黨、急進社會主義者などの劣等なる一部は誤つてダイナマチスム(爆彈主義者)となる。

○對支四國借款團

無節制な支那に金を貸しつける事は、反つて支那の紊亂を助成せしむるものであると言ふ見地から、米國が主唱者となり、日、英、佛、米の四ヶ國は大正九年一月「對支四國借款團」なるものを組織し、爾今支那に對する一切の借款は四國協調の許に同一歩調を取る事とし、一時借款の中止を聲明したるものである。

該借款團は四ヶ國とも其在支代表銀行が其當事者となり、我國では正金銀行がそれに任じられて居る。

○大選區區制 出来るだけ大區域を選舉區とする制度であつて、我國では明治三十三年

以來一府縣全體を一選舉區とする大選舉區制に依て居たのであるが、大正八年から小選舉區制に變更された。小選舉區制に比し、大人物を選出し、黨派別の比例通り選出し得られ、情實を尠からしむると言ふ特長がある。とせられて居るが、實際に於ては穴勝其理屈通りに行かず、反つて弊害の多い場合もある。現今世界で之を施行する國は白耳義、ルクセンブルグ、瑞西、希臘、瑞典、プロシヤの小國のみである。それは斯る小國が小選舉區制に依る時は、狭きが上に狭くなり、弊害百出するためである。

○太陽中心説

Helioentrism

人間は全宇宙に於ける最高の生物であり、神の後裔である。従つて人間の棲息する地球は宇宙の中心である、他の太陽を首め諸天體は此地球のために存在し、常に地球の周圍を廻つて居るものである。と往古に於ては是を萬古不易の説と信じ、殊に當時の宗教に取りてはそれが最も都合の好い思想であつた爲め、それに反するやうな説が現はれる事を非常に恐れてゐたのである。然るに一五四三年コペルニクス(其項参照)が俄然其著「天體の回轉」を公けにするに及んで、全世界の其不文律は一朝にして覆さるゝに至つたの

である。今日にては三尺の童兒と雖もこの理法を辨へざるはなきに至つてゐる。即ち地球を初め他の惑星等宇宙間の天體はすべて各々自轉しつゝ太陽の周圍を公轉してゐると言ふ説である。惟ふに此説の發表された當時にあつては實に大膽不敵な説であつたに違いない。此説は一名コペルニクス説とも言はれて居る。コペルニクスの後、ケプレル、ガリレオ、ニュートン(各項参照)出で、愈々此説を確乎ならしめたのである。然し此説はコペルニクス以前に決してなかつたものではなく、ギリシヤのピタゴラス派、古代エジプトの傳説、殊に『古代のコペルニクス』と言はれるアリスタークス等に依つて、それ〴〵それに似たものが唱へられては居たのであるが、甚だ幼稚にして漠然たるものであつた爲め、太陽中心説の主唱者の功績はコペルニクスの占むる所となつたのである。

○太陽黒點説

Sun spot theory

太陽の黒點は十年毎に著しく増大し、其都度太陽の光熱は著しく減少し、爲に地上の農作物に悪影響を及ぼし、凶作を現するに至る。然るに人間の生命を養ふ本源は大半食料品に擔ふところである故に、其點より考ふれば、凶作は吾人社會の最大困事であるの

である。故に經濟界の恐慌は十年目毎に循環し來るものである、——と言ふ説は英國のジエボンス及ミルが主として唱道した信用循環説である。是は偶々當時、十九世紀此方常に十年間毎に經濟恐慌が現出した、め、それを證據づけるために唱へられたのであるが。併し其後事實は十年説を裏切り端數の循環期を現出したので、其説は餘り有力ではなくなつてしまつたのである。

○多元論 Pluralism

哲學上に於て、宇宙の本體を貳種或は多數より成立すと主張する説であつて、一元論の反對説である。多元論にも種々ありて、物質的多元より成立すると説く物質的多元論(地水火風の四大元素より成立すと説いた古代印度及希臘の哲學の如き、デモクリトスの如く多數の元子より成ることを説いた元子論の如き)、精神的多元より成立すると説く精神的多元論(精神的の多數の單子より成ることを説いた、ライブニッツの單子論の如き)、一元と多元とを調和せしめんとする一元的多元論(其項參照)等が其主なるものである。而して物質的多元論を主張するものは唯物論者に屬するものが多く、精神的多元論を主張するものは唯心論者に屬するものが多い。

○多神教 Polytheism

一神教の神と我の一致を主張する一神論に對し、神と我の存在を二元的に見て對立に考ふ多神論を宗是とする宗教を言ふのである。即ち一宗教中に多數の神を有し、それを自由に信仰せしむる宗教を言ふ。

○多數代表制 Majority representative system

普通多く行はれて居る過半数以上或は最多數者を當選者とする選舉制度である。即ち選舉人中の多數の投票を得たる者を以つて當選者とするのである。(比例代表制、少數代表制の項參照)

○タマニー

惡漢をジゴマと言ふが如く、市會惡議員團に對して附けた舶來の綽名をタマニーと言ふのである。謂はゞタマニーは彼等市政紊亂者の先輩である。一九一〇年に米國紐育の市會に根を張つた惡議員の私黨本位の政派が発生したのである。彼等は其の惡辣な魔手を伸べて、擅に市政を攪亂し以つて紐育市政をして腐敗の極に達せしめたのである。然

るに一九一〇年果斷に富める傑士ケーナーが市長となるに及んで、辛辣の敏腕鮮かに廓清のメスを振つて、悪議員の殲滅を期し、改革の實を擧ぐるに至つたのである。斯る悪風潮の模倣には由來頗る敏捷なる我國では各府縣の市政の隨所に私製タマニー派か出現し、或は東京市の疑獄、或は京都市の疑獄等となつて、旺に新聞紙面を賑はした。そして東京市疑獄の張本三多摩派をもちると恰かも『多摩阿兄』となるので、思はず苦笑せずには居られない。尙タマニー派はタマニー・ホールと言ふ會館を根據として居たのでタマニー派に代ふるにタマニー・ホールを以つてする場合も多い。

○ダムピング Dumping

虎穴に入らずんば、虎兒を獲ず、と熾烈なる商業競争に於て他を制せんと欲するならば、晏如手を空しうして居ては勝利者たる事は望み難い。其處で目先の利いた商人はダムピング即ち和譯して投賣なるものを行ふのである。勿論其時は目前の利益などは犠牲にして掛るのであつて、それに依つて他商人を市場より放逐し、自己の營業地盤を築かんとするものである。此ダムピングは通商貿易に當つて特に使用さるゝ新語であつて、

戦前獨逸があゝの急速な貿易上の發展をなしたのは、此ダムピングに依つて他國商品を市場から驅逐した結果である。將來もダムピングは一の商略手段として各國に於ても通商上大いに用ゐられるであらう。

○ダルトン教育案

米國女流教育家バークスト嬢が一九二〇年北米マサチューセツト州ダルトン町の中學校に於て初めて試み、英國のバゼット嬢がそれを本國に傳へ、今や各國の教育界に旺に論議せらるゝやうになつた最新の教育法であつて、正しく從來の詰込主義、劃一主義に對する反動の一つと見るべきものである。一言にして盡せば自由教育とも言ふべく、學校内の教室を研究室に化し、其處に學生が學修に必要なあらゆる教材を用意し、生徒をして自由に其意の欲する儘に學修せしめ、教師は強制的な教授をせず、生徒の學修を扶掖し、指導し、肝要なる注意を與へたり、質疑に應じたりする任に當るのである。この教育法の特點は生徒は其長所、其嗜好に隨つて研究するため、彼の個性や特異點を可及的に發揚し得、其天分發揮の上に非常な効果を齎す譯である。又時間的にも束縛し

ないと言ふ主義であるから、生徒は勉強に倦めば休憩し、頭惱の明晰な時を選んで學修する結果、學修の能率が非常にあがる譯である——以上がダルトン教育案の長所ではあるが、新しい試みの教育法であるだけ、それだけ未だ研究の餘地が残されて居る譯である。大正十三年四月偶々本案の第一人者パーカスト嬢の我國に來朝して、諸所に其講演を試みるありて、我教育界に多大の刺戟を與へた。聽て其感化は我國にも實現することであらうと思はれる。

○男性本位説 Androcentric theory

生物學上から言へば、生理的に男性或は雄は女性或は雌よりも優越なる組織を有ち、従つて生存の目的、子孫の増殖のためには女性よりも必要であり價值がある、女性或は雌は其男性或は雄の生存の目的、子孫増殖のための一機關であつて、従つて其位置は從屬的でなければならぬと言ふ説である。然るに此説が一般的思想となる時は『男尊女卑』の状態となり、男子專制の社會となるのである。そして有史以後に於ては肉體的に男子が女子よりも強者であつた、め政治組織を初め、男女間の道德に至るまで總て男子の專

横に依つて、男子に有利なるやうに構成されて來たのである、其説の是非は措いて事實現代に於ても尙且つ男性中心の社會が現出されて居るのである。シエックスピヤをして『弱き者よ、』と同情せしめた所以は此處にあるのであらう。最近に至つて、婦人問題の旺に起るに至つたのは、其餘りに偏頗なる男性中心的社會に對する反動と見做すべきであらう。

○單子論 Monadism

是は獨逸近世の哲學者ライブニッツの哲學説の根本となるものである。實證論者や唯物論者が實在の根底を物質的の原子にありと主唱したのに對し、精神的の單子モノイドにありとするのが、ライブニッツの持論の要點である。それを稍々詳しく説明すれば物質を解剖すると、微細なる分子に分たれ、更に分子を解剖すると數個の原子に分たれる。故に物質を分析した極微のものは原子である。併しながら其原子は宇宙の諸實在の根底であると言ふのは當らない。何故ならあらゆる實在は總て活動せんとする力を有つて居る。斯る活動力はそれ自體に於て靜的なる原子のなし能ふ所ではなく、それは眼に見えない精

神的な原子即ち單子が各實體の背後に潜んで居るからである。——と言ふ結論になるのである。斯く多數の單子を認めた點に於て單子論は同時に多元論となる譯である。

○單一神教 Henotheism

原始宗教に於ては、多神の存在を認めるけれども、其内最も位高き神、即ち神々の神を特に崇拜し、他の神を排するものを言ふのである。ユダヤ教の如きもエホバを以つて眞の神としたが、他民族の信仰する神のある事を認め、而もエホバ以外の神を排した點に於て、之に屬するものである。單一神教の名は英の言語學者マックス・ミュラーが初めて創めた名である。

○ダーウイン(人名)

『進化論』一卷に依つて全世界の思想に大變動を與へたチャールス・ロバート・ダーウインはいかなる意味に於ても重視するべき人物である。彼は一八〇九年二月英國シュルーズベリ市に生れ、彼の祖父エラズマス・ダーウインは進化論に第一聲を揚げた人であるが、其孫に當れる彼が進化論の大偉業を成就したと言ふのも、決して偶然ではないの

である。彼のエデンバラ大學在學當時は父の意思に依つて醫學を修せしめられたのであるが、彼は其本業を他處にして博物學の研究にひそかに浮身をやつして居たのである。彼の博物學に對する嗜好は幼少の時に既にその萌芽を發して居たのである。彼が二十二歳の時、英國政府は南米大陸、太平洋諸島の沿岸の時刻測定の爲汽船ビーグル號を派遣する事になり、其船長は博物學者の同乗を必要とするところから、人を介してダーウインに交渉したのである、ダーウインは自分の研究の好機會至れりとなし、不服を唱へた父に嘆願して長途の旅に上つたのである。此航海こそ彼の『進化論』に巨多の材料を供給し彼をして自然淘汰の新説を發表せしむる機運を促進したのである。彼は航海より歸るや直ちに幾年の星霜を費し孜々として『進化論』の執筆に従事したのである。一八五九年十一月二十四日大著『進化論』は初めて上梓せられ、賣出さるゝに至つたのであるが忽ちにして十數版を重ねると言ふ大好評を買ひ、學界をして沸騰せしめたのである。彼の晩年は全く名譽と光輝に満ちた多幸なる境遇であつたと言つてよい、當時文明國の諸學會にありては彼を其名譽委員とせざるはないと言ふ有様であつた。一八八二年四月十

九日遂に不歸の客となつたのである。「進化論」執筆中には種々面白い挿話^{エピソード}が残されてゐるが、就中、マルサスの「人口論」が非常な助けとなつた事や、博物學者ヲレスが頗る不完全なるものではあつたが、殆んどダーウインと同意見の論文をダーウインの許に送り來りし事によつて一時ダーウインが進化論の功をヲレスに譲らうとした事などは特に記憶すべき事柄であらう。(進化論の項参照)

○ターレス(人名)

希臘哲學の開祖として記憶さるべき人にして、紀元前六四〇年より五四六年にかけて生存していたと言はれて居る。萬物の本體は悉く水なりと唱へた哲學者であつて、彼がミレイトスに生れた關係上、其學派をミレイトス學派と稱へて居る。

○タゴール(人名)

ラビドナント・タゴールは一八六一年印度ベンガルの豪家に生れ、其父及數名の兄弟は孰れも印度著名の宗教家、或は學者であつて、タゴール家の血統には天才の遺傳が傳はつて居ると言はれて居る。二十五歳頃より彼は幾多の文藝作品を續々公にし、哲學的

論著「生の實現」を發表するに及んで、彼の名聲は忽ち全世界に轟き、東洋人にして初めてノーベル賞金(其項参照)の授賞者となつた。彼は目下印度の地に森林學校を設立し、彼獨特の自然的な教育をなし、且つ大學設立の計劃あるやに傳へられる。(著作)前述「生の實現」は二十世紀新理想主義の福音として、現代東方思想の結晶として、世界的の名著である。詩集には「ギタンチャリ」「園丁」「新月」等があり、其純朴にして宗教味豊かな詩情は誦する者の心を淨化する。戯曲には「暗室の王」「郵便局」「チトラ」等があり、又彼の宗教的傾向を窺はせるものがある。小説には無邪氣な善良な青年と少女の戀を描いた「難船」其他がある。(思想)十九世紀の自然主義的消極思想を打開して、人生觀に新しい光明と希望をもたらしたのは、ベルグソン、オイケン、ゼームス、ロウラ等歐米の哲人であるが、獨り東洋にあつて其新思想の合唱^{ゴロウ}の響きを高からしめたのはタゴールである。タゴールの哲學乃至思想は「生^{ライフ}」の「實^{リアリゼーション}」の中に具さに盡されて居る。其要旨を摘記すると——西歐の文明は古代希臘の煉瓦と泥灰^{モルタル}の中に生れたが、印度の文明は森林と原野の中に生れた。即ち西歐の文明は城壁を設くる個人主義の文明であ

るが、印度のそれは人間の自然の交感に基調を置く。人生の窮極は印度の古聖典「ウパニシャット」の眞髓梵たる宇宙の靈に人間の靈を調和せしめ、宇宙の靈を吾人の靈に和せしむる所にある。即ち人間を宇宙の中に實現し、宇宙を吾人の中に實現するのである。これ『生の實現』であるが、此の生の實現を行ふのは唯愛の力あるのみである。神は詩人の詩作に於ける如く、愛と歡びに依つて此人生を創造した。故に吾人は神の愛の分離であるから、其分離されたる愛を其本體に即ち宇宙乃至神の愛に合體せしむる事に依つて、人生の最奧義に達し得るのである。——と言ふのである。

○ダンテ(人名)

苟くも文學を語るものにして『神曲』を知らぬものはあるまい。「神曲」は古今を通じて、世界文學不朽の古典であると共に、其作者ダンテはシエツクスピア、ゲーテ、ホイマーと肩を伍して、世界四大詩聖に數へられる文學上の偉人である、彼は一二六五年伊太利フロレンスの上流に生れ、長じて最高の教育を受け、フロレンスの一長官として政治的にも樞要な位置を占めた。彼の歐洲思想史に大きな波紋を投じた文藝復興にはベト

ラルカやボツカシオと共に其先驅をなし、文藝復興に於ては、最も重要な役割を務めたのである。永眠したのは一三二一年である。作品としては前記「神曲」のほかに、「新生」「饗宴」等がある。代表作「神曲」は「地獄」「煉獄」「天堂」の三部作であつて、古代希臘の詩人ギリウスに作者が導かれて、地獄、天國を遍歴すると言ふ筋に托して罪却の苦難、其贖罪、天國の榮光等基督教の眞精神を語つたもので、就中編中美少女ビアトリチエ・ボルチナリーに對するダンテの切なる戀情を叙し、天國に於て神の玉座にビアトリチエと會合するあたりは、作者の詩興が最高調に達したかの觀がある。此ビアトリチエに對する戀はダンテの生涯に於ける悲しい挿話であつて、彼は十六歳の時初めてビアトリチエと相見で、彼女を戀するに至つたのであるが、其戀は遂げられず、ビアトリチエは他家に嫁し、程なく天逝した。此失戀の悲哀は永くダンテの魂に巢くひ、「神曲」をものする動機の一つになつたのであると言ふ。

○ダンヌンチオ(人名)

往時の伊太利文學を代表するものはダンテであり、現代伊太利文壇を背負つて立つも

のはガブリエル・ダンヌンツィオである。彼は一八六三年に生れ、小説「快樂兒」を其處女作として華々しく文壇に乗出し、其後公にした『死の勝利』『巖の處女』『犠牲』等の傑作小説は孰れも世界的に愛讀せらるゝものであるが、就中『死の勝利』は近代文學屈指の逸品である。戯曲では「フランチェスカとパウロ」が一番有名である。總體に彼の思想は近代享樂主義の傾向を帯び、其描寫はエロチックな感覺描寫に秀でて居る。其生活経路は實に奔放を極め、或は名女優デューゼとの戀、大戦中の飛行機に依れる活動フューメ占領等總て一世を驚倒せしむるやうな行動に満ちて居る。其伊太利國民の人氣は實に素張らしいものであつて、伊太利皇帝の寵遇も頗る厚いものがあつたと言ふ事である。(唯美主義の項参照)

○段祺瑞(人名)

支那の山縣有朋を以つて擬せられ、袁世凱の四天王の一人と呼ばれる支那官僚派の巨頭である。久しく中華民國の總理として時めいたが、安直戦争に敗れて以來は、天津に埋れて此に年久しいものがある。

○耽美主義

美の情調及氣分に心酔感溺する詩人文人等の思想感情であつて、例へば永井荷風が江戸情調に心酔するが如し。(快樂説の項参照)

○ダーヴィニズム Darwinism ダーヴィン主義、即ち自然淘汰説を中心とした進化論(其項参照)ダーヴィンと同時に進化の理法を發見し競争者の位置にあつたチレンスが、自ら謙遜して自説をダーヴィニズムと冠したのに初まる。

○ダーク・エージ Dark-age 暗黒時代。西曆四七六年西羅馬帝國滅亡後十一世紀までの間が暗黒時代中でも最も有名である。

○テーブル・ドウト Table d'hôte 旅館の共同食事及其定食の事。(佛語)

○ダイアグラム Diagram 圖式、圖表、圖解及豫定表。略してダイヤと言ふ。

○ダイヤモンド Diamond 普通金剛石の事であるが、トランプの菱形模様のある札、最小型に次いで小さい歐文活字をと言ふ。

○ダーク・サイド Dark side 暗黒面、社會の裏面。

○ダーク・チェンジ Dark change 芝居の暗轉。場面の暗轉。場面の轉換と眞暗にして行ふ事と言ふ。

○ターニング・ポイント Turning point 轉換の箇所の事と言ふのであるが、生涯の生活の分岐點の事を主に言つて居る。即ち轉機の事。

- タービン Turbin 回轉式發動機、主に旅客運搬船の發動機として用ゐられる。
- 第一印象 First impression 初めて相接した時に受けた印象。此第一印象は最も純粹であつて、後日と通つての印象よりも誤りがないと言ふ者もある。故に文藝創作などでは此第一印象を非常に尙ぶ。
- 第三黨 第三者の政黨と言ふ意味。即ち從來のどの政黨にも屬さない中間的政黨の事である。又議員の頭數が政黨分野に於て第三位にある政黨と言ふ場合もある。
- 第四階級 Proletarian class 上流、中流、下流の更に下位にある一般貧民を總稱して言ふ。(プロレタリアの項参照)
- 體驗 Embodimental experience 身自ら經驗する事、即ち肉體を以つて經驗する事と言ふ。假令は勞働生活の如き、學者はそれを觀察に依つて知るのであるが、若し彼が身自ら勞働者の中に投じて、勞働生活と研究したならば正しくそれは體驗の一つである。故に普通の經驗と言ふよりも一層力強い感がある。
- 體得 身に沁みて會得する事。身體を以つて直接に痛感するやうな意味を含んで居る。會得と言ふよりも強度の感がある。
- 大衆運動 局部的でなく全局的に全國民或は多數の民衆が動き出してそれが一つの運動となつた場合と言ふ。假令は過般憲政擁護運動の如き、特權内閣打破の如きがそれである。
- 醍醐味 元佛教の専門語であつて、大涅槃、法悅無我的の境の人間心情の頂點にある感と言ふのであつて、それ

より一般物事の最も深奥な悦びや其直髓に觸れた感と言ふ。

- タイタニック Titanic 巨大なる、強大なるの意。舊時米國最大の汽船にタイタニック號なるものあり、大氷山と衝突して沈没し、新聞面と賑はした事があるが、第二次タイタニック號は大正六年歐洲大戦中獨逸潛航艇のため撃沈され、搭乗して居た幾多の名士も共にあわなく溺死した。其爲米國は遂に聯合國側に加盟して戦争に参加するに至つたのである。獨逸の敗北と早からしめた原因は一に此撃沈事件に胚胎すると言はれて居る。世にタイタニック號事件として有名なるは是である。
- ダイナモ Dynamo 電磁氣の感應を利用して電流を生ぜしむる發電機。
- タイプライター Type-writer 印字器。一通りの文字盤と装置し、指頭で押して印刷的に文章を綴る新式の器械であつて、速力も頗る早い。英文和文兩様の種類がある。
- タイピスト Typist 前項タイプライターを打つ事と職業とする技手。月給頗るよく若い婦人の新職業として、最もハイカラなものである。
- タイム・イズ・マネー Time is money 「時は金なり」といふ意。
- タイムス Times タイム即ち時間の複數。我國の時報と言ふ意味に相當し、歐米の新聞名には是を附するものが多い。殊に「倫敦タイムス」は世界新聞の最高權威である。
- タイム・スピリット Time spirit 時代精神(其項参照)

- タイラント Tyrant 暴君、暴王、壓制者。
- タクシー Taxi 辻待自動車、乗合自動車、タキシードも發音する。丁寧^{ていねい}に言へばタクシー・キャブと言ふべきである。
- 大正スケート 近頃子供等が街上で弄んで居るL字形の地上滑走玩具。新式の戶外運動具の一つ。
- 高砂舎 結婚媒介所の代名詞。最初我國では是を開業したものが、それを冠した所から、一般の代名詞となつたのである。高砂の尉と姥の階老同穴の目出度さを現はしたものであらう。そして結婚媒介所なるものは現代の結婚離れを緩和せしめんがために現はれた新職業の一つである。
- 托兒所 下級労働者が出勤中其幼児の處置に困る所から、公共機關が設備を設けて、それ等の幼児を勤務中だけ預けてしりとする所。最近の社會政策事業の一つである。
- 田尻式 前東京市長故子爵田尻稻次郎は有名なる質素儉約の實行者であつたが、洋服の如きも息子のお下りと着込んで濟ましたものであつた。斯くの如き狂的に近い粗服家や、腰辨然たる質相な役人と形容するに「田尻式」なる新造語が生れたのである。
- 立會 取引所用語。仲買人が參會して賣買取引を開始する事。前場、後場、寄附、大引などは孰れも立會のうちである。
- タッチ Touch 觸れる。又玉突で兩球が觸れ合った場合。

- ダブル Double 二倍、二重。殊に歐文字の同字の重なる場合と言ふ。假令ば Double (カラー) の二はダブル・セルと言ふが如きである。其カラーにダブルを冠してダブル・カラーと言ふのは二重になつた折襟洋服用のカラーの事である。
- タブレット Tablet 標札、汽車の車掌の通札、單線列車の衝突豫防に用ゐられる電機應用の機械。
- 拿捕 Booby 敵船又は戦時禁制品の輸送と差押へる事。拿はつかむ、さらへるなどの意である。
- ダムダム弾 Dum-dum bullet 小銃用彈丸の一種。普通の彈丸の如く前端が尖つて居ず、圓大形となして居る爲にそれの中した時は痛苦激甚なるものあり、爲に萬國平和會議では人道に其使用を禁止すべき事と、各國間で申合せて居たのであるが、歐洲大戰中獨逸は委細關係せず之を使用して、聯合國の怒を買つたのである。
- タンク Tank 装甲車或は装甲自動車。歐洲大戰中英軍が初めて使用した怪物のやうに巨大な武器である。装甲を以つて防備し、砲塔に數門の大砲を備へて敵陣を蹴破る物凄さは恰かも陸上の超弩級艦の如き觀がある。それがため陸上弩級艦の別名もある。タンクの名は無敵軌條を發明したパーレルの俗稱を借用して、名附けられたものである。
- タンゲステン Tungsten 硬くして溶け難い鋼様の金屬。又タンゲステン燈を略してタンゲステンと言つて居るがそれは炭素線に代ふるに此タンゲステンの細線と以つてしたもので、電力の量は炭素線に比して三分の一しか要しないといふ。

○タレント Talent 才能、技倆。

○ダウンング街 Down Street 倫敦の一市街にして英國首相の官邸のある所。總てそれは英國政治の發源地たる事と意味し、更に世界政治と隱秘の間に支配するものと言つて好い。我國の外務省を嘲つてダウンング街の出張所だなどと言ふのは這般の消息と傳へるものと言ふべきである。

○短期手形 Short bill 一覽拂手形の如く振出し後十日以内に支拂はるべき支拂期間の短い手形。

○タンゴ踊り Tango 南米土人の舞踊を基として按排された挑發的な踊り。歐米では旺に流行して居る。

【チ之部】

○治安警察法

明治三十三年三月法律第三十六號を以つて公布せられた集會、結社、政談等人民の政治的、社會的行動を取締る爲に制定せられた法律である。近代個人主義及民主主義の發達は斯る精神的問題に官憲の干渉するは、時代錯誤であると言ふ見地から殊に批難の多い法律である。就中言論の自由を標榜する近代人の思想からは、最も擯斥せられて居るそれかあらぬが同法中婦人の政談傍聽禁止の如きは最近削除せらるゝに至つた。最も喧しい労働運動干渉の批難に就いては『治安警察法第十六條の項』参照。

○治安警察法第十六條

(本文)先づ左に其全文を掲げやう。

左ノ各號ノ目的ヲ以テ他人ニ對シ暴行脅迫シ若クハ公然誹毀シ又ハ第二號ノ目的ヲ以テ他人ヲ誘惑若クハ煽動スル事ヲ得ス

一、勞務ノ條件又ハ報酬ニ關シ行動ヲ爲スヘキ團結ニ加入セシメ、又ハ加入ヲ妨クル

コト

二、同盟解雇若クハ同盟罷業ヲ遂行スルカ爲メ使用者ヲシテ勞務者ヲ解雇セシメ若クハ勞務ニ従事スルノ申込ヲ拒絶セシメ又ハ勞務者ヲシテ勞務ヲ停廢セシメ若クハ勞務者トシテ勞務スルノ申込ヲ拒絶セシムルコト

三、勞務ノ條件又ハ報酬ニ關シ相手方ノ承諾ヲ強ユルコト

右の違反者に對する罰則としては、同法第三十條に左の如く規定されて居る。

第十七條ニ違背シタル者ハ一月以上六ヶ月以下ノ重禁錮ニ處シ參圓以上參拾圓ノ罰金ヲ附加ス使用者ノ同盟解雇又ハ勞務者ノ同盟罷業ニ加盟セサル者ニ對シテ暴行脅迫シ若クハ公然誹毀スル者又同シ

(經過)然るに本法制定當時、我國の勞働運動は未だ幼稚であり、同盟罷業の勃發するが如きは頗る僅少であつて、一般世人も又同盟罷業の如きは危險思想的の行爲なりとして恠しまなかつたのである。然るに近年殊に歐州戰爭當時より社會運動、勞働運動は社會の趨勢となり、同盟罷業數の如きも枚舉に遑ない程頻繁に起るに至つた。其時初めて勞

働者及世の識者は我國勞働運動の一大暗礁が彼等の前に横たはつて居るのに卒然として氣附いたのである。是即ち治安警察法第十七條であつて、それあるが爲資本家は官憲に依つて有利なる保護を蒙り、勞働者は自己の目的の達成に對して不當なる官憲の干渉を蒙るの止むなきにあるのであつた。茲に於てか、近年有識者及勞働者間に同法に對する批難攻撃は敢然として湧出すに至つてゐる。又一方保守論者は其社會公安の爲なりと稱して、其存置論を主張し、今や其甲論乙駁は最も世論を賑はしつゝある所である。其廢止論を公然發表せる人に堀江歸一博士、慶大教授三邊金藏氏等がある。堀江博士の説の要領を摘記すると(堀江博士の廢止論)一、同法に依れば、勞働組合、職工組合の團結行爲を否認する事になるが、組合的團結に依つてこそ勞働者は整然たる秩序の許に運動し得るが、それなき時は反つて資本主或は仲間に對し非行、暴行を敢てする惧れがある。二、勞働者が各自に勞働條件の改善を欲する意思を胸中に藏して居ても、誰か中心になつて斡旋、或は説得するものがなければ、それを具體化する事が出來ず、空しく不滿のうち過ぎなければならぬ。然るに同法は誘惑煽動を禁止して居るから、中心になつ

て斡旋の勞を執らんとするものは、當然繩附きたる事を覺悟しなければならない。全く残酷なる惡法であると言はなければならぬ。(存置論)一方存置論を紹介すると一、同法廢止は我國の生産能率を著しく減少せしむ。二、同法は必ずしも同盟罷業權を拒否するものではなく、勞働者が自發的になす場合までも處罰せんとするものではない。三、勞働組合設置の目的が誘惑煽動でない限りは、又同じ目的で暴行脅迫を加ふるに在らざる限りは同法は何等其設置を禁止するものではないといふのである。

○重農主義 Physiocratism

重農主義(其項參照)の保護干渉が、其餘弊を生じ、遂には惡害を及ぼすに至つた結果、殊にそれが甚しかつた佛蘭西に於て、それに對する反動として先づフランソア・ケネーが、此重農主義を叫び、チュルゴー、ミラボー、グルネー等の諸學者が之に和した。社會は常に自然的でなければならぬ。自然的なのが最も正當である。故に人間自然の法則に反する干渉的の重農主義は、人類本來の觀念に反するものである。故に我々は自然に従ひ個人の自由と權利とを尊重し、先づ自然の生産物である農業を重んじ、農業を國本

の第一位とすべきだ。工業の如きは此自然的産物を加工するものであり、商業はそれを需要地に運ぶものであるから、其根基たる農業を發達せしむれば、勢ひ發達するものである。そして商工業も自由に放任すべきであると主張するのが、重農主義の思想である。さうして此思想は、當時佛蘭西に擡頭しつゝあつた自由民權思想や、個人主義思想に影響されたものである。

○重商主義 Mercantile system

産業革命以前まで歐洲諸國の對外經濟政策は大抵此重農主義に據つた。重農主義は、邦貨の流出を極力防止し、外國貨幣を自國に流入せしめ、以て自國の貨幣増加を計る方針であつて、貨幣の増加は國富増進の最上策であると言ふ觀念に基くものである。故に根本政策とする所は關稅政策等に依つて、常に輸出超過を計り、外國貨幣の吸収に力め一方鑛山採掘に依つて、貨幣鑄造を旺ならしむる事にある。

○チエツク・スロバキア(チエツク救援) Czech slovak

大戰後奧洪國崩壊と共に建設された舊奧洪國內の新興國にして、政體は共和政體であ

る。チエツク民及スロバキア民の合併せるもので、孰れもスラヴ系統である。獨立を宣言せるは一九一八年十月十八日で、最初の大統領はトーマス・マサリック博士であつたが、翌年巴里會議に於て列國より其の獨立を公認せられた。歐洲大戰中此チエツク・スロバキア軍は聯合國のために働いたが、獨洪及過激派に依つて西伯利亞に封せられ、大いに困窮したため、聯合國は是が救援の兵を派した。我國軍隊の西伯利亞派遣は是が動機となつたのであつて、聯合軍の指揮權を握つて大に威力を發揮したが、大戰後も荏苒同地に駐屯したため、尼港事件等の不祥事を惹起し、且つ夥しい軍費が増へたので、我國識者に旺に批難されて居た。

○チオニソス Dionysos

希臘神話の酒の神にして、葡萄を栽培し、人間の苦惱を攘ひ、快樂を與へると言ふ傳説の陽性の神である。ゼウスとゼメレの子で羅馬ではバカスと言つて居る。チオニソスの名が單に神話としてよりも、更に近代人に印象の深い所以のものは彼の哲人ニイチエが「悲劇の出生」に於てアポロとチオニソスなる比較を用ひたが爲である。即ちニイチ

エは總ての藝術はアポロ的とチオニソスの二大傾向に區別する事が出来、アポロは太陽を象徴せる神であり、アポロ的藝術は恒に理想的、客觀的の藝術であり、チオニソス的とは主情的、陶酔的の藝術である。造形美術の如き端麗と格調とを旨とする藝術は前者に屬し、舞踊、音樂の如き奔放なる情熱を現はす藝術は後者に屬する。他の方面から言へば、北歐文學は前者のそれであり、南歐文學は後者のそれである。總て此區別はあらゆる主義思潮に當はまる事が出来るであらう。——此ニイチエの區別は其後批評家が好んで用ゐる所となつたのである。

○智識階級 Intellectual class

教養あり素養豊かな階級。標準は普通教育程度より以上の學力ある者。然るに知識階級を洋語で言ふ場合には、露西亞のインテリゲンチヤと言ふ言葉を旺に用ゐる。蓋し近世露西亞に於ては知識階級の發生最も著しきものあり、露西亞文化に重大な關係を持つておるニヒリズム、アナキズムは彼等の思想から生れたのである。露西亞インテリゲンチヤの特徴は頭ばかり發達し、口先では政治文藝を縦横に論議するけれども、實際生

活には殆んど無能であつた。そして餘暇の多い爲、倦怠アンニユイに苦しめられ、世紀末的な思想に驅られたのである。ツルゲネーフやトルストイの小説は殆んど此インテリゲンチヤを題材としたものであつた。此露西亞インテリゲンチヤの特徴は纏て全知識階級の特徴であつて、吾々が普通インテリゲンチヤと言へば、其意味を含まして言ふのである。知識階級にも有産知識階級、無産知識階級、有閑知識階級等がある。(各項参照)

○チタ政府

勞農露西亞設立後、極東露領を統治するためシベリアのチタに設立された舊極東共和國政府の事であつて、白軍のオムスク政府と區別するため我國が勝手にチタ政府なる呼名を附したのである。勞農政府の系統に屬して居たのであるが、一時は其無關係を表明して、優に一獨立國の觀を呈して居た大正十年末極東共和國が露西亞の一聯邦となるに及んで、同政府は廢止さるゝに至つた。

○智徳合一論

大聖ソクラテスの倫理思想は智徳合一論の名を冠せられて居る。道德上の善惡を辨へ

ないのは、善惡の何たるかを知らないからであつて、善惡に對する正しい理解即ち知識があれば、善を行ひ、惡を避けるやうになる。故に智と徳とは一致すべきものであると言ふのがソクラテスの思想の大意である。

○地球説

コペルニクスの創唱したるものでコペルニクス説とも太陽中心説とも言ふ。地球は恒星にして動かす太陽及其他の天體は地球を巡つて廻つていると言ふ古來の不文律を、コペルニクス出でて一蹴し、新に太陽のみ恒星であつて地球及其他の天體は太陽を中心として廻轉してゐると説をなしたのである。これ地動説として天文學上一大區劃を作つたものである(太陽中心説の項に詳述す)。

○チャーチスト運動

凡そ革命は政治革命と、社會革命との二種類に區別し得らるゝのであるが、政治革命は爲政者を覆滅せしむる事に重きを置くものであり、社會革命は社會制度の根本的改革——即ち共產社會或は勞働者專制の社會を建造せんとするために企てられるものである

そして是は最近或は將來の現象であると考へられて居るのであるが、事實は然らず、今から約百年前成功はしなかつたけれど、既に堂々と行はれたのであつた。一八三八年から一八四八年に掛けて行はれた英國のチャーチスト運動及次いで起つた佛蘭西の二月革命がそれである。それまで政治革命は度々行はれたが、社會革命は實に此チャーチスト運動が嚆矢であつた。チャーチストは「自由の特許」を意味する。産業革命(其項参照)は一面生産界の福音であつたが、幾何もなくして其短所を曝露するに至り、労働の商品化と言ふ罪惡を醸生するに至り、労働者の不平の凝る所、遂に此チャーチスト運動となつた。彼等は政治的に普選を主張し、社會的には財産私有に反抗し、彼のキングスレー等を闘將として、暴動又暴動其目的の貫徹に努めたのであつたが、社會思想の發達した今日に於てすら至難な其運動の遂げられる筈はなく、官憲及資本家の壓迫はさすが久しき間の運動も遂に水泡に歸するの止むなきに至つたのであつた。

○中央執行委員會

勞農露西亞の事實的の主權執行機關は此中央執行委員會であつて、露西亞の國民議會

たるソヴイェート大會の開會中の代理機關である。ソヴイェート大會選出に掛る委員三百七十一名よりなり、毎年三回召集せられて居る。同委員會は委員中より更に十九名の幹部を選任し、同委員會の休會中は其幹部會が執權して居るのである。煎じ詰むれば勞農露西亞の執權は幹部會にエツキスされて居る譯である。

○重力の法則

一六六六年大物理學者ニュートンはリンコシャアの庭園の靜寂を破つて、林檎の落ちる音を耳にして、忽然として、自然界の法則を悟つた。引力の法則、或は重力の法則が即ちそれである。ニュートンが其説に曰く、一つの物體が他の物體に對して持つ不思議な牽引力を重力と言ひ、任意の二箇物體間の引力はそれ等の質量に比例し、それ等の相互間の距離に逆比例する。空中のものが地上に落つるのは、地球に引力があるからであり、又太陽と地球とは互に引力に依つて其位置を保つて居るのであると。

○中央集權 Centralization of power

政治の中心を一箇所——即ち中央政府に集中し、地方行政を統帥する組織が術語上の

中央集権であるが、これのみならず、文教、實業其他の文物制度の總てを一地點に集中せしめ、各地がそれに依つて運行して居る状態を目して、一般の中央集権制度なりとせられて居る。假令ば我國の如く東京に政治、教育、文藝、商工業等の中心勢力を集中せしめ、地方的の獨立の實現して居ないのは、可なり極端な中央集権制度と言ふべく、それが爲彼の大震災の時には、全國の目標が失はれ、國民は一時多大の狼狽に陥つたと言ふ面白からぬ現象を生じた。故に中央集権は統一上には便利であるけれども、其集権地に動搖を生じた時には、全局的に影響を來すの弊がかなり大きくあるのである。英國の如きは商工は倫敦、マンチエスターに、教育は牛津、劍橋、政治は倫敦と言ふ具合に夫々地方に分權して居て、中央集権の弊害の尠きを期して居る。

○中歐同盟 Central European economic alliance

獨逸を中心として墺、洪、土、勃の四國が經濟的に同盟し、同盟國同志は關稅を撤廢し自餘の外國には統一せる關稅を徵收せんとする經濟的利益のために策せられたもの。詳しく言へば中歐經濟同盟。又獨、墺以外の歐洲中央の諸小國が同盟して行ふ民族獨立

運動も同じく中歐同盟と言つて居る。

○仲裁制度 Justice for labor contest

勞働爭議に於て、勞資兩者間の紛争が解決せない場合、第三者の力に依つて兩者の要求の是非を判決し、其判決を實行せしめる事に依つて問題を解決せんとする方法である。其第三者とは私人的の勢力ある者或は團體たる場合もあるが、多くは國家、自治體等の行政機關たるものである。仲裁方法の内には、單に調停和解を目的とし、好意的に解決をなさんとする和解制度と言ふのがある。此場合には仲裁條件を強制する權能なき故に時とすると不得要領に終ると言ふ缺點がある理である。次に任意仲裁々判は當事者の任意申請に待たなければ、仲裁を行ふ事能はざるが故に、勞働爭議の總てに涉つて行政者の意思に依つて左右し得られないと言ふ缺點がある。併しこれは干渉の弊は尠い理である。最後に強制仲裁々判は任意仲裁々判と同じく行政の主權者が一の裁判機關を設けて行ふものではあるが、其領域内に起つて勞働爭議にした事態險惡のものとはどしどし強制的に裁判するのであるから、勞働爭議の醸す惡弊を一掃せんには最も徹底した遣口で

はあるが、其執行宜しきを得ない時は、當事者の不平を益々昂からしむるに至るのである。

此強制裁判の裁判長は高等法院判事の資格を有するものを裁判長とし、勞資兩者より各一名の審判員を採用するのが普通である。是を初めて執行したのは一八九四年佛蘭西であり、英國も戰時中軍需品法は是に依つた。我國では借家爭議、小作爭議調停機關の政府に依つて實行せらるの機運に立至り、勞働爭議調停案も昨今漸く議會の問題たるに至つて居るから、早晩是が實現を見る事であらう。

○直覺說(直覺主義) Intuitionism

人生の是非善惡や宇宙の諸現象は難しい理論や推定に依らずとも、其刹那の感應(即ち直覺)に依て、其真諦を覺り得ると言ふ說或は主義を言ふのである。其種類は種々分たれてゐる。一、英國のカドルウス及クラーク、獨逸のカント等の主張である理性を本位として總てを直覺し得べしとする理性的直覺說、二、シャッフペリー及ハッチンソンが主に主張する上記理性に代ふるに感性を以つてせんとする感性的直覺說、三、動機及感情

の特殊なるものに依つて直覺し得べしとする知覺的直覺說、四、正義、仁愛、眞實等の道德上の行爲に限つて直覺し得べしとする獨斷的直覺說等があるが、更に哲學的直覺說は最も有力なる說であつて、理性的直覺主義者たるカントは同時に是の代表者であり、英國のシデューヰックも又大にそれを高調した。即ち彼等は總ての道德を支配する最高の律、カントの所謂無上命法を定め、それを以つて總ての是非善惡を辨別すべしとしたのであるが、其最高率が吾人の直覺の基調であるとする所に彼等の直覺說があるのである。

○直接行動 Direct action

言論、運動、宣傳等の生温い方法に依らず、サボタージュ、同盟罷工等自分達の實行し得る範圍の最も端的な行動に依つて、自己の目的を貫徹せんとする勞働者或は社會主義者の手段を言ふのである。元佛蘭西サンヂカリズムの標榜する所である。怠業、同盟罷工が惡化すれば、暴行となる點よりして、一般暴行的行爲の意味に使はれて居るけれど、それは稍々正鵠を逸して居る。

○直隸派

今支那の天下を壟斷して居るのは正しく此直隸派である。殆んど支那全土を風靡しつゝある有様は、往年の我國長州閩の如く、往年の舊政友會の如き觀がある。併し支那には元來組織的な政黨と言ふものがあるのではなく、此直隸派の如きも、軍閥、私黨に類したものである。同派を初めて固めたものは袁世凱四天王の一人馮國璋であつて、袁在世當時から段祺瑞等の安徽閥と對し、袁の没するや兩派の抗爭は益々激しく、大正八年遂に彼の安直戰爭となり、直隸派は見事に安徽派を蹴破つて、北京の天下を一手に掌握した。間もなく頭目馮の逝去するあり、其乾分格の曹錕が其後を繼承したが、奉天の張作霖が同派に反抗したため、奉直戰爭なるものが演ぜられ、是又直隸派の勝利に歸した。斯くて直隸派は曹錕を大總統に就任せしめ、天下を我物顔に振舞つて居るのであるが、其後内亂相繼いで起り、一進一退底止する所を知らざる状態で、其の結果如何になるべきか計り知るべからざる所である。

○超弩級艦 Superdreadnaught

弩級艦即ちドレッドノート以上の戦闘力を有する巨艦で十二吋以上の巨砲を据つけた

ものを呼んで居る。我國の此超弩級艦として知られて居るのは彼の伊勢及長門であるが伊勢は其排水量三萬一千二百六十噸、速力二十三哩、十二吋砲十二門であつて、長門は排水量三萬二千八百噸、速力二十三哩、十六吋砲八門である。以つて其如何に巨艦であるかを知り得やう。(弩級艦の項参照)

○超自然論 Supernaturalism

主として宗教上の主張或は主義を言ふのであつて、宗教の教義、思想を理性に訴へて解釋説明せんとする合理説或は自然論に對して、宗教の奧義は理智や理性に依つて律すべからずとして、神秘的な直觀や純眞な信仰に依つて其本義を解釋し得るものであるとする説である。別に非合理説とも言つて居る。又哲學上では唯物論、機械論、自然論に對し、神秘的な存在或は自然から超越した精神界の存在を認め、且つ其原理を許すものを超自然論と言つて居る。

○超絶論 Transcendentalism

コンコードの哲人マアソンを筆頭とし、其下に集まつた超絶派の唱へた思想が即ちそ

れであつて、就中『森林生活』(其項参照)として名高いソロウの如きは其代表的な主唱者^{プロバガンダ}であつた。彼等は總て理智的なもの、經驗的なもの、唯理的なものを排しプラトーン及獨逸唯心論者の思想を受入れて、直觀的、神秘的、心靈的な感情の尊ぶべき事を主唱し常に幽玄神秘なるものに憧れた。謂はゞ心靈主義が彼等の根本の傾向であつたのである。

○賃金基金説 *Wages-fund theory*

一定の場所及時に於て労働者に支拂ふ賃金額は、資本主が豫めこれと限定し置き、それ以上の増減をなさず、其範圍内に於て、労働者に支拂ふべきであると言ふ説である。解り易く言へば、或る工場に於ける或資本家は、毎日労働者に支拂ふべき給料を壹萬圓と決定し置き、労働者がいかにそれ以上の必要を生じても、其決定額の範圍に於て支拂ふべきだと言ふ説であつて、是に依る時は資本家は、限定基金に應じて安價に労働者を雇傭し得、賃銀支拂の膨脹に依る痛痒を感ずるが如き事はない。されば此説は資本家に有利なる説であつて、例に依つてスミス、マルサス、リカード、ミル等の資本主義經濟學者に依つて唱へられたものである。そしてヘルマン・ソートン等は労働者の賃銀を土

臺として、それに準じて後に基金を定むべきで、賃銀が増加すれば基金もそれに應じて増加するべきだと言ふのである。斯くこの説には近時反對論者續出し、公平なる説として反對論の方が勝利を占めて居る。

○朝鮮獨立運動

英國には愛蘭の惱みがあり、我國には朝鮮の惱みがある。民族的居候は各強國共に手古摺つて居る難問題である。けれども我國の如く併合後日尙淺く、既に此問題を惹起するに至つたのは、自決を希望する民族本能と云ふものが、いかに宿命^{フエグ}的なものであるかと言ふ事が解るのである。抑朝鮮の獨立運動は併合と同時に起つたものと見做すべく、我國は朝鮮の領土を贏ち得たが、同時に朝鮮人の敵對感情と言ふものを覺悟しなければならなくなつた。其敵對感情は先づハルビンに於ける伊藤公暗殺に爆發し、其後頻々として彼等の不穩行動は絶えなかつたのであるが、大正八年大規模なる獨立革命團の陰謀の曝露となり、當時總督府は全力を擧げて大がかりな首謀者の檢擧を行ひ、其恐るべき陰謀計劃を未然に防ぐを得たりと雖も當時内地人の神經を戰慄せしめたものである。而

して朝鮮獨立運動の根據地否巢窟とも見做するものは上海であつて、彼等は朝鮮獨立政府なるものを設立し、今日と雖も益々擗猛なる計劃を企てんとして居るのである。右の上海陰謀團の他に國境鴨綠江附近に荐りに不逞鮮人出沒し善良なる住民に熾に危害を加へつゝあることは新聞紙の傳へるところである。併し鴨綠江のそれは別に具體的な政治的目的に依つて行動して居るものではなく、本國に對する盲目的な反抗を企て、居るに過ぎないのである。然し上海のそれは同じく對内地運動のうちでも最も左傾派に屬してゐて、純粹に朝鮮の獨立を企圖して居るものである。此の中には露國過激派と聯絡して共產主義、無政府主義などを奉ずる極端に急進な一派もあると言ふ事である。此他に内地參政を畫するもの、自治を畫する者等の團體があつて、相當具體的に運動されて居るが、其主張には内地人の是非共考慮を拂ふべきものがある。最近——大正十三年に於ける齋藤總督狙撃事件も又彼等不逞鮮人一味の暴行として我等の記憶に新しい所である。惟ふに彼等は弱小民族とは言へ、人間として民族としての自意識は到底抑ゆる事が出来ないであらうし、同時に民族自決主義、階級撤廢思想の旺なる現代に於ては免るべから

ざるの大勢であらうから、内地人たるもの徒らに彼等を壓抑する事なく、いかに此問題に善處すべきかを、篤と眞面目に考究するの必要があるであらう。

○女子國有論

共產主義者の極端なるものに往々女子共有を唱ふるものがある。現に或蠻人社會ではそれを實行して居るものもあり、北米オナイダ河畔にノイエスが建設した共產會社の如きも妻女の共有を實行して居ると言ふ事である。併し國有の名に價する制度を實現したのは露西亞で、普通女子國有と言へば直ぐにそれが連想される。何事でも奇抜な露西亞では獨逸の側面結婚と言ふ事の向ふを張つた譯ではあるまいが、歐州大戰中女子の國有を斷行し結婚を強制したが、批難の聲が餘り高かつたので、自由戀愛簿と言ふ嚴しい國家に似合はぬ粹いさなものを作り、其申出に依つて結婚せしむる事とした。そして國家が男子に有利であると認むれば、女子の承諾の如何に關はらず結婚の希望を聽許する事になつて居た。蓋し結婚や戀愛を商品扱ひにするなどは、大戰の生んだ悲喜劇の一つであらう。

○チエホフ(人名)

アントン・チエホフは露西亞の文壇に一區劃を描いた近代——と言ふよりも現代露文學の代表的人物であつて、ゴリキイ、アンドレーフを凌ぐの人氣を持つて居る。彼の傾向は現實主義の上に基調を置いて居たが、其作風には獨自な特色があつた。そして其特色を端的に語るものは彼の Humor (諧謔、滑稽味、面白味)であつた、併し彼のユーモアはマーク・トゥエーンやジエローム等英米の階級家に見る如き單なるお道化、お可笑味ではなく、所謂「涙を藏した笑ひ」であつて、微笑を誘ふやうな筆調のうちに、彼は人生の悲惨や憂愁を深刻に暗示し、深く讀み至る時は寧ろ暗鬱な氣分に壓せられるのである。然るに彼に其ユーモアのあるのは、彼がストリンドベルグの如く厭人家でなく、ゴリキイの如く人生の呪咀家でなく、人間に對して沁々とした愛憐の情を抱懷せるがためである。人道主義者のトルストイは破壊的なゴリキイを嫌つて、悲しき愛憐の詩人チエホフを愛したと言ふ事である。又チエホフは當時の露西亞の知識階級の虛無思想や固疾的憂鬱を最も深刻に描いた作家であつて、近代劇に深甚なる關係を持つ名戯曲『櫻の園』

『叔父ワーニヤ』は其知識階級の悲劇を主題としたものである。チエホフは短篇小説家であつた、渾然珠の如き幾つかの名短篇はモウパッサンと共に彼をして近代文學の名短篇小説家の二大双壁たらしむるものである。其短篇中では「九號室」が最も名高い。彼は一八六〇年に生れ、モスコの醫科大學を卒業し、醫者を本業とする傍ら創作に従事したのである。一九〇四年遂に胸患に罹り不歸の客となつた。

○チチエリン(人名)

勞農露西亞の大立物の一人。目下其位置は外務大臣である。嘗てゼノア會議に於ては縦横の手腕を發揮して其名聲を揚げた。

○張作霖(人名)

群雄割據の現代支那に於て孫文、曹錕と共に支那の三大巨頭と言はれる人物であつて奉天を地盤とし、時々痛快な活躍をやり、滿洲の霸權を握つて立つて居る一方の覇者である。彼は元馬賊の頭目たりし事あり、清朝に依つて起用せられ、東三省馬賊鎮撫の任に着いたのである。奉直戰爭では直隸派の爲に一敗地に塗れたとは言ひ條、依然として

其本據は他派の觸れ得ぬ所である。此怪將軍時々北京の空を睨んで天下取りの思ひを馳せると言ふ。其内又面白い一幕を演じて呉れるであらう。

○チーズ Cheese 乾酪。
○ちーはー 支那博奕の一種。

○重譯 他國語に譯されたものと、更に又外の他國語に譯した翻譯と言ふ。假令ば露文と英文に譯し、其英文と更に日本文に譯する如きもの。

○チエコレート Chocolate ココアの樹の實から搾へたビスケット形の菓子。湯に溶かして飲む。チエコレート・キヤラメルはチエコレートの味と含ませたキヤラメル菓子。

○チエツク Check 訛つてチエツキ、チツキとも言ふ。小荷物一時預り證、荷物引換券、割符、小切手。
○チエリー Cherry 櫻。チェリー・カントリーは櫻の國の事で、西洋人が稱する我國の代名詞。チェリー・ダンスは都踊りの事。

○チオラマ Diorama 彼方に麻布に描いた繪を設置し、其此方に暗室としつらへ、其中から其繪を望むと、恰かも實物を觀るが如き觀と起さしむるものである。これをチオラマと言ふ。西曆一八二二年ダグエル及ボウトンが考案したもので博覽會などで用ゐられて居る。

○治外法權 Exterritoriality 互惠條約國相互の元首、使臣、軍艦等は國際普通公法に依つて、相手國に滞在し相手

國の法律の適用を蒙らない。又東洋の領事裁判制度と餘儀なくさせられて居る無勢力な國に於ける普通の外國臣民も居留國の法律の圈外にある。此兩者の場合に孰れも治外法權である。それよりある勢力に犯される憂ひのない事と一般に治外法權と言つて居る。假令ば「彼奴は社長の親戚だから治外法權だ。」などと言ふのがそれである。

○チギタリス Digitalis 玄參科。二年生草本にして夏季美しき花を開き、鑑賞用に適する。(獨逸語)
○チキン Chicken 鶏の事、正しくはチツクンと發音すべきである。チキン・カツレツ、チキン・スープ、チキン・ライス皆共に鶏と以つてした西洋料理。

○蓄聲電話 Tele-scribe 電話機の側に蓄音機の蓄聲装置となし置き、相手方から通話があつた時、それに蓄聲し、後刻に於て其蓄音機が通話通り發聲すると言ふ仕掛。留守の多い人などは使へば非常に便利と言ふ譯である。例の米國エヂソンの發明に於けるものである。

○地産漸滅の法則(効用漸滅説) 收穫漸滅の法則に同じ。其項を見よ。
○チストマ Distoma 扁形動物。扁虫類中吸虫類の一種。人間、家畜と斃す恐るべき寄生虫である。肝臓チストマ肺臓チストマの二種がある。

○チツケツト Ticket 切符。
○チツプ Tip 祝儀、心附け。To inau promptness 即ち「早くさせる」の頭字と綴り合はせたものである。
○チピカル Typical 典型的、代表的。

○地方分権 Dividing of power 中央集権の反対。行政制度などに於て、地方官廳にも獨立せる行政權にも言ひ、一般的には地方に於て中心勢力の影響を蒙らずに、獨立せる組織を持つ事と言ふ。

○地方官會議 帝國議會閉會後に全國の地方長官と政府所在地に召集して行はるゝ所の會議である。明治七年五月初めて開催された。年中行事の如くなつて居る。

○地方色 ローカル・カラーと見よ。

○チャンピオン Champion 勇士、戰士、優勝者、選手。

○チャーター Charter 船舶の貸借、免許狀。

○チャームイング Charming 魅力のあるなどの意。

○チャーム Charm 魅力。魅惑力。惹きつける力。

○チャンス Chance 好機、機會。

○抽象、抽象的 Abstraction 抽象とは一つの事或は物から其共通な點だけを擧げ來つて精細な點や實際的な點を顧みぬ事である。議論とするに當つても、難しい原理的な事と言ふのは抽象的であつて、假令「法律は國家組織に缺くべからざるものなり」と言つた論法。故に抽象的と言へば多く其迂屈を冷笑するやうな意味を含ませて用ゐる。

○中産階級 富裕階級と下層階級の間に位する商工階級、小資本家。

○中間内閣 中樞内閣とも言ふ。完全なる内閣を組織するまで一時間に合はせに造られた内閣と言ふ。又超然内閣

(其項参照)を目して新言ふ場合もある。歐米には餘りなく、我國の特産と言ふべきもの。

○チューイング・ガム Chewing-gum チューイングは噛む、ガムは護謨でチューイング・ガムは口中に噛み味はふ煙草代用の芳香に富む薄片の菓子。薄荷及砂糖と原料として作られたもの。

○チューリップ Tulip 最近旺に愛用される西洋草花。百合科屬で五六月の頃美しき花開く。

○直覺 Intuition 我々は思索や推理の力に依らずに、先天的意識とも言ふべき神秘的な心の動きに依つて、物事を悟る事が出来る。是が即ち直觀であつて、俗に虫の知らせと言ふのなごも其一種である。殊に現代ネオ・ロウマンチズムの哲學や思想には此直覺と言ふ事が非常に重大な關係を持つて居り、マアテルリンクやベルグソンの思想の鍵となして居るものは此直覺である。直觀と言ふも同じ。

○直覺の哲學 Philosophy of intuition 一般直覺の哲學に於ては直覺説の項に於て説いて置いたが、現在單に直覺の哲學と言へば、特にヘルグソンの哲學の事と言ふのである。

○長子相続主義 長男だけが家督財産と相続し、次男以下は其權利なき我國の如き家族制度と言ふ。

○徴兵保險 Military service insurance 壯丁が入營に際し、残つた家族の生活に困らないやう、自身退營後の生活に困らないやうに其用意に掛けて置く保險。我國でも相當發展して居る。

○直接税 Direct taxes 所得税、營業税、地租の如く課税者(即ち國家、自治團體等)が直接被課税者(即ち法人商工業者)より徴收する租税。

○超人 英語でシュペーマン(Super-man)。超人主義の哲學者として有名なニイチエの國語即ち獨逸語を以つてすれば、ユーベルメンシイ(Ubermensch)。人間にして人間の如き繊弱なる感情を有せず、人間心理を超越して、大膽に自己の所信慾望と遂行する是超人である。此超人を窮極の理想としてニイチエの哲學は樹立されたのである。(ニイチエの項、個人主義の項参照)

○長期手形 Long bill 振出しの日附より十日以後に支拂はれる長期手形。

○鳥瞰 字義を解説すれば鳥類が下界を俯瞰した觀察、或は光景と言ふ事になり、それより鳥の如く全體をひつくるめて觀察する事を鳥瞰すると言ふのである。英語のバーツ・アイを即ち鳥の眼と其僞譯したもの。

○超然内閣 立憲政體に於ては、内閣は民意を代表した政黨に依つて組織されるのが、其實に適へるものとされて居るが、我國では時々否多く政黨に無關係な官僚出身者に依つて組織される。其内閣を嘲つて超然内閣と言ふのである。一名變態内閣とも言ふ。

○超特別大興行 由來廣告は誇大と特色とするが、殊に際物の活動寫眞では其風甚しく特別興行や、大興行では藥が利かぬと言ふ所から超特別大興行なんて言ふ大袈裟な廣告とする。何事かと言へば、特別以上の特別と言ふ事なんださうである。

○チレットタンチズム Diletantisme 道樂趣味、末技趣味。もの、本位を愛せずして總て其特異な點や些末な點のみを愛好する傾向を言ひ、主に藝術上に使はれる。さうした趣味癖を有つた人とチレットメント(Diletante)と言ふ。兩

方とも佛語である。

○チレンマ Dilemma 窮境、板挟み、矛盾、古風な例だが「君に忠ならん」とすれば親に孝ならず、親に孝ならん」とすれば君に忠ならず」と言ふのなどは我國民獨特のチレンマと言ふべきだらう。

○賃銀鐵則 アイアン・ロウの譯語、其項と見よ。

○賃銀奴隸 現代は平等自由の時代であると言ふけれど、事實は労働者が賃銀に依つて資本家に身を買はれて居る奴隸状態たる點に於ては、封建時代の奴隸と幾等の差ありや——是社會主義者が好んで口にせんとする所であるが、其意味より現在の労働者に對して賃銀奴隸なる代名詞が發生したのである。マルクスの剩餘價值説(其項参照)に依れば一層其意味が適切に解る。

○珍品 賄賂の意。大正九年五月政友會代議士廣岡宇一郎は議會に於て、憲政會總裁加藤高明が神戸の富豪内田信也より互惠的條件の許に黨費として五萬圓の寄贈を受けたと言ふ秘聞を摘發したが、其時彼が讀上げた加藤總裁の禮狀の文言に「珍品五正ニ拜受……」とあつた所から、流行し出したもの。右の珍品問題は當時大いに京童の茶話の種になつた。

○ツアラトウストラ Zarathustra

超人主義の哲人ニーチェの名著『ツアラトウストラは斯く語る』の主人公の名稱。同書はニーチェの個人主義哲學を物語風に宣傳した散文詩的大著である。

○通貨膨脹 Expansion of currency

一國に於ける流通貨幣が平常よりも著しく増加せる經濟現象を言ふのである。通貨の膨脹が物質の騰貴を來し、其騰貴は更に通貨の膨脹を喚ぶと言ふのは經濟界の動かすべからざる原則であつて、兩者の關係は正しく唇齒輔車の如きものである。而し斯る現象は常に財界の好況に依つて促進せらるゝものである。我國に於て此通貨膨脹が最も甚だしかつたのは、歐洲大戰當時であつて、大戰中大正八年の如きは二十億八千六百餘萬圓に達し、財界の記録を破つた。

○通商條約 Commercial treaties

國家と國家の相互に於て商業、交通等に關し、相互の便宜利福の爲に取結ばれる國際

條約である。其種類には通商航海條約、修好交通條約、關稅條約等がある。

○ツルゲネーフ(人名)

ドストエフスキイ、トルストイと並んで露西亞近代の三大文豪とも言ふべきは、イワン・ツルゲネーフである。前二者の態度が『人生の爲の藝術』の觀があつたのに對し、後者の態度は『藝術の爲の藝術』の觀があつた。故にツルゲネーフは前二者に比し、宗教家、思想家としての意氣に於て劣るものがあるけれど、藝術家としては前二者に超ゆるの風がある。彼が此二文豪との性格の相違は、同時代の作家でありながら、其交遊に於て、ツルゲネーフと二文豪とを犬猿の如き間柄たらしむるに至らしめた。併し大體人生派的特色の豊かである、露西亞の作家である彼は、同じく藝術派的傾向の作家でありながら、他の國の藝術派の作家に比すれば、非常に人生派的の傾向を宿し、其長編作の如きは大抵虛無主義者、無政府主義者、社會主義者を主人公とし、專制露西亞の現狀破壊を叫ぶかの如き作意が瞭々と讀まれるのであつた。殊に虛無主義はツルゲネーフに依つて初めて世に現はるゝに至つた思想であつて、彼は實に虛無主義の元祖であり、第一

人者である。又處女作「獵人日記」は田園的詩趣の豊かな作品であると共に、專制露西亞の特色であつた農奴の悲惨なる生活を描き、遂に農奴を其桎梏下から解放せしむる誘因となつた作品である。それに依つてもツルゲネーフの社會的不正に對する革命家的精神は充分窺ふ事が出来るのである。彼の作品總てを通じての特色は一脈の哀調を帯びた詩情の溢れて居る事である。「散文詩」の如きは、彼の詩人的特色を最も豊富に發揮した作品である。彼ツルゲネーフは一八一〇年露西亞の貴族の家の子として生れ、其生涯の過半は佛蘭西の巴里で暮らした、死んだのは一八八三年巴里の寓居に於てである。其著作には前述のもの、ほか『貴族の家』『其前夜』『煙』『處女地』『春の潮』『父と子』『ルウジン』等の長篇小説及若干の短篇小説がある。

○ツァー (Zar) 帝政時代の露西亞皇帝の別名。我國の聖上陛下と言ふが如く、獨逸のカイゼルと言ふが如く一種の親しみと尊敬と有つた稱號である。併し露國帝政廢止と共に、事實上に於ては今は存在しない。ザーとも發音して居る。

○通性 多數の事物と通つて相共通して居る性質と言ふ。

○ツエツペリン Zeppelin 飛行機の型のうちでも非常に攻撃力と破壊力に富んだもので、獨逸の伯爵ツエツペリンの發明に掛るので此名がある。歐洲大戰中英京倫敦の上空に現はれ、艦に爆彈を投下して市民を戰慄せしめたのは此飛行機である。

○帝國主義 Imperialism

消極的には領土保存を、積極的には領土侵略を兵力に依つてなさんとする主義である。此主義が戦前獨逸の如く、帝政露西亞の如く、我日本の如く、君主政體の國に多く、且つ帝國本位、國家本位の主義なるが故に、帝國の名を冠したものである。帝國主義の實力を養成せんが爲には其國は勢ひ軍國主義たらざるを得ないのである。一面國家主義と略同じであるが如く見ゆれども國家主義よりも、より多く對外的の意味を含有するものである。

○帝王主權説

一國の帝王は主權の執行者ではなく、主權を執行するための機關、國家組織のための傀儡なりとなす説。即ち帝王を功利的に解釋した功利的政治學説であつて、我國では美濃部博士が専ら唱へる所である。

○デカタニズム Deukanism

譯して頹廢主義と言ふ。現實生活の平凡と無味に飽き、普通尋常の享樂手段では満足する事が出来ず、異常奇怪なる享樂や刺戟を求めんとする主義である。これは十九世紀末葉佛蘭西を中心として起つた詩壇の傾向であつて、其最も尤なるはシャル・ボードレルである。「罪惡の聖書」とまで言はれる詩集『惡の華』一卷に依つて、彼は遺憾なく其醜陋慘鼻を極めたデカダン振りを發揮した。其中に彼は死骸の美を唄ひ、アルコールとニコチンの美を唄ひ、あらゆる醜惡汚穢なるものを讚美した。其爲には罪惡的なもの、不道德なものをも憚りなく唄つた。「惡の華」が遂にあの藝術に對しては極端にまで自由だと言はれる、佛蘭西の官憲に依つてさへも發賣禁止されたと言ふ一事に徴しても、いかにそれが極端であつたかを知る事が出来やう。彼の感化に依つて、ヴェルレーン、ランボウ等が現はれ、ヴェルレーンは終日終夜カフェーに沈淪するやうなデカダン生活を營み、ランボーは音階に色彩を感じるやうな官能の交錯を其詩作に示した。併し乍ら頹廢主義者の元祖と言ふべきは、米國のアラン・ポーであつて、彼は其詩及短篇小説に死や殺人や、妖魔や、あらゆる惡を描出し、奇怪な幻像を描き出したのである。要する

にデカダン派の特徴は其末梢神經的たる事、官能靡爛的である事、惡魔的である事であつて、世紀末的厭世思想及物質過重文明が其病的心理の原因となつて居る。世にデカダンを目して放蕩三昧酒色三昧の如く思ふものがあるが、本來のデカダニズムは上記の如くより高き美、より深刻なる美を求めんとする主張に基いて發生したものである。

○鐵血政策

強硬的態度の施政振りを言ふ。クーデター(其項参照)に似たるものであるが、クーデターの如き慘虐を敢てせんとするものではない。強力な意思を以つて、躊躇逡巡を事とせず、妥協苟合を排し、斷々乎として自己の經綸を遂行せんとする颯爽たる男性的態度の政策である。鐵血宰相の名ある獨逸のビスマルクが此鐵血政策の代表的人物であつて、植民大臣より擧げられて、「今の時、此國步艱難に處するの道は、一に鐵と血とを以つて事に當るの覺悟あるのみ。」と宣した所より、爾來ビスマルク的強硬政策を名附くるに鐵血の文字を以てするに至つた。我國の大震當時の山本權兵衛の政策振りなどは、稍此鐵血政策の概があつた。

○徹底自然主義

佛蘭西に起つた自然主義は、獨逸に入るや、絶對に純客觀的、極端に觀照的態度を旨とする徹底自然主義となつた。謂はゞ徹底自然主義の科學的態度を極端にまで發揮したものである。又作品には極端に醜惡な現實や、罪惡的な暗黒面を徹底的に描かんとするものも、又此派の特色である。斯る特色を最も著しく發揮したものは、戯曲家ハウプトマンであつて、彼の處女作「日之出前」は其代表作と目され、作中に描かれて居るのは姦淫、酒毒等の殘忍慘鼻なる社會的罪惡面であつて、ハウプトマンは斯る戰慄すべき事象を外科醫の如き容捨なき態度で描寫したのであつた。ハウプトマンの前驅をなせる徹底的自然主義者として、アルノオ・ホルツ及シュラアフも亦有名である。

○デモクラシー Democracy

譯して民主主義、民本主義と言ふ。希臘語のデモ(人民の意)クラテオ(支配の意)の兩語が併合して出來た言葉である。最初此言葉は政治上の意味に限られて居たもので(民主主義)は、人民自らが主權を司り、政治を施行せよと言ふ意であつて、政治學上に言ふ人

民主権説がそれである。故に民主主義を實際化せしめたものは立憲政治であり、更に共和政治でなければならぬ。リンコルンが聲明せる如く「人民の爲の人民の政治」でなければならぬ。君主專制政體の「依らしむべし、知らしむべからず」の政治は斷じて民主主義でない。又社會主義はやゝともすれば民主主義と混同されるが、多くの社會主義が労働者の專制を要求する點に於て、又民主主義が産業制度との變革を問題とせざる主義なる點に於て、兩者は全然相違して居る。併しながら社會主義の温和なるもの、假令はベルンシュタインの修正派社會主義(其項参照)の如きは、餘程民主主義に接近して居るものと見做して好い。然るに同じく民主主義を冠する社會民主主義(其項参照)は反つて民主主義とは相反し、階級争闘を目的とする過激社會主義である。併し最近ではベルンシュタインも社會民主黨の黨員となつて居ると言ふ事である。(民本主義)は民主主義が政治主權の掌握の是非に其焦點を置いて居るのに對し、政治主權の運用、つまり施政方針に焦點を置いて居るのである。其施政制度に於て人民多數の福利を主眼とする政治が即ち民本主義であつて、上に薄く下に厚しと言ふが如きは其標語の一つでなければならぬ。

言ひ換へれば小數特權階級の利益を犠牲に供しても多數民衆の利益を計る政治である。故に民本主義は假令其主權制度が立憲政治であらうと、共和政體であらうと、其行ふ所が專制的、壓制的であつたならば、民本主義とは言へない。其反對に君主專制政體でも寡頭政治でも其施政振りが民衆本位であれば、民本主義と言ひ得るのである。以上の如く政治的専門の主義たるデモクラシーは今や一般社會的に用ひらるゝに至り、(一般的にデモクラシー)と言へば、精神的には特權階級者と雖も妄に尊大鷹柄ならず又下賤階級と雖も妄に侮辱に甘んぜざる四民平等の精神を言ひ、物質的には富者は妄に專有を事とせず、慈善公共を念とし、無産者をして出来るだけ社會的恩恵に浴せしめんとする施設をなす事を言ふのである。社會奉仕の觀念、共存共榮の觀念、自由平等の觀念の如きは總て謂ふ所のデモクラシーの根本條件でなければならぬ。(デモクラシーの代表人物)としては、米國のリンコルン及ウヰルソンの兩人が最も卓越する。元來米國は共和政治の元祖であるだけ、建國以來の國民的モットーはデモクラシーであつて、デモクラシーは米國の特色である。デモクラシーなる語は大戦後に於て俄に流行するに至つたのであ

るが、其原因はウヰルソンにあると言はなければならぬ。ヴェルサイユ會議に彼が提出したところのウヰルソン十四ヶ條の如きは歴々たるデモクラシー精神に裏附けられて居たのであつた。實に彼ウヰルソンは現代のデモクラシーの大賣捌元であつて、其デモクラシーを國際間(即ち國際的デモクラシー)にすら及ばさんとしたのであつた。又彼の「共和國」『政治學』の著者たるブラトーンの如きは往昔に於けるデモクラシー提唱の第一人者であつたと言はなければならぬであらう。

○テロリズム Terrorism

テロは恐怖と言ふ事、でそれにイズムを附けて恐怖主義と言ふ事になる。露西亞の特有物であつて、無政府主義、虛無主義の副産物であると言ふ事が出来る。即ち無政府主義者、虛無黨員等が、單に過激と言ふ以上に、惡鬼のやうな凄慘行爲や、戰慄的な暴行を敢てする其行爲に對して名附けられたものであつて、獨り露西亞のそれのみならず獨逸のオルガンザン・ツエー(或はオルグツシユ)や米國のK・K・Kの如き秘密結社にして凄慘な行爲をなすものは、一面テロリズムの名に於て呼ばれるのである。暗殺、虐殺、

爆彈投下、私刑等は彼等恐怖主義者の常套手段であつて、吸血鬼の如き觀を抱かしめる露西亞ではアレキサンドル二世を首め此テロリズムの犠牲となつて斃れた君主高官が尠くない。(虛無主義、オルグツシユ、ク・クラツクス・クランの項参照)

○天賦人權説

人間は生れながらにして、何ものにも犯されざる自然本來の權利がある。人爲的法律の如きは畢意第二義的のものであつて、其天賦の人權こそ最も價値あり尊敬すべき權利である。故に人爲的法律を以つて人間天賦の權利を壓迫し、束縛する事は許すべからざる説であると言ふ自然法學説(其項参照)より出で來つた説で、佛のルッソー、英のロツクが其首唱者である。聽て此思想は佛蘭西大革命を勃發せしむる動機となり、我國自由民權説の出所となつたのである。

○天才主義

ゴリッキイの代表戯曲「どん底」に於てあの神秘的な巡禮のルカが「此世は天才のためには作られて居るのだ。」と言ふ一句があるが、これこそは聽て天才主義の眞精神を穿

つた一語であつて、天才或は英雄を以つて至上のものとし、世の凡俗の如きは此天才或は英雄が其事業を遂行するための傀儡に過ぎない。衆愚凡俗は天才の事業の助けとなつてこそ、人間としての意義があるのであつて、其餘には何等の目的も意義もあるべきでないと言ふ主張に基くのである。「一將功成なつて萬骨枯る」と言ふ東洋の諺なども、天才主義の一面を語つたものである。されば天才主義者が英雄崇拜に趨るは當然であつて天才主義の第一人者とも言ふべきニイチエの如きはナポレオンの熱烈なる讚美者であつたのである。さうしてニイチエの説く超人は此天才を意味し、彼の哲學は此超人たらんとする爲の不道德や利己的行爲をも是認して居るのである。(個人主義の項参照) 尙天才主義者として擧ぐべきは前記のゴリッキイ、『英雄及英雄崇拜』の著者カライル、『サアニン』の著者アルチバアセフ(サアニズムの項参照)等である。尙又ルツソ一の如きは別の意味に於て、教育上の天才主義者である。

○天才教育

天才教育の何物たるかを知らんとするには先づルツソ一の名著「エミール」(其項に詳述)

に就いてよく知らなければならぬ。何故なれば、それは天才教育の代表的主張であつて、今日漸く旺ならんとする此主張は總てルツソ一の「エミール」の思想から出發し、且つそれに根底を置くものと見做して好いからである。コメニウス、ベスタロツチ、フローベル等亦天才教育主義的思想を把持し、ルツソ一の主唱を其儘實行せる「汎愛院」の設立者であるバゼダウの如きも天才教育主義者の一人と見るべきである。併しながら上記主唱者の説は、總體に教育上の自然主義と言はれるものであつて、天才と言ふ觀念に瞭然たる意識を持たず、兒童の自然的傾向を助長せしむると言ふ事を強調したのであつた(併し其根本に於ては同一である) 然るに近世に於て勃興した天才主義は國家主義教育、劃一主義教育の反動として生起したものであつて、兒童の個性の愛撫誘發に重きを置く教育である。甲の兒童は數學、理科等の科學的素質に乏しく、圖畫、作文等の藝術的素質に富むとする。乙の兒童は其反對であるとする。其場合甲をして専ら其藝術的天性を發揮せしめ、乙をして専ら科學的天性を發揮せしむる教育法は是天才教育である。又此處に百人の兒童あり、其内八十人は劣等兒であり、二十人は優等兒であるとする。其場合、

優劣共に同一教課を課す事は、優秀兒に不要の教授をなす事になり、又劣等兒をして優秀兒に追従せしむるの苦痛を感せしむるものである。其場合斷然優劣の兩兒童を區別し各自の能力を思ふ存分發揮せしむるものは天才教育である。斯る主張を實行せんがためには、パークスト女史のダルトン案の如き放任主義、又最近一部に行はるゝ藝術教育の如きものゝ實現を観るに至るのである。

○傳統主義

Traditionalism

其固有の歴史、文化、特色を保存發揮せんとするものが、國家的に言つた傳統主義であつて、之は全く國粹主義と變らない。併し現代傳統主義の名に依つて標榜して立つものは、佛蘭西文藝界の傳統主義であつて、特に傳統主義と言ふのは是の事である。其代表者はモウリス・バレスであつて、佛蘭西の國土と歴史とを尊重し、佛蘭西國民の誇りを特に高調せんとするものであり、事實バレスは作品の上にそれを示して居る。是は佛蘭西が獨逸に壓迫され侵略されて傷けられた國民的自負心のはけ口の現はれと見るべきであつて、歐洲大戰前、大戰の豫感として現はれたものである。又宗教上では傳説、習慣

を特に重んずる主義を言ふ事になつて居る。

○天變地異説

ギユヴェイエーの唱へた生物進化の一説にして此天地には開闢以來十四五回の大變動があり、其度毎に變動以前の生物は死滅し、新なる生物が神に依つて創造されるに至つたのである。それが證據に今日山上から魚や貝の化石が發掘されるのは、其山は大變動に依つて海が變化した結果である——と言ふのが其説の主要であるが、進化論の發表された今日の科學眼から見れば、愚にもつかぬ妄説に過ぎない。併し其當時は一般的に信ぜられたものである。(非天變地異説の項参照)

○田園都市運動

Movement of garden city

本世紀初頭以來英國を中心に行はれつゝある都市施設の運動である。田園乃至農村の新鮮な而も純真な氣分や情趣を、精神的にも施設上にも採入れて、惶忙繁華な都會を田園化せしめ、以つて都會人の末梢神經的、頽廢的思想や感情を緩和せしめんとするものである。

○テニソン(人名)

英國浪漫派の詩人として、世界的に聲名を馳せた作家である、我國でも女學生間などに旺に愛誦される。併し彼は一般的人氣の旺なだけ、幾分通俗的な點があるとされて居る。一八〇九年ケンブリッジ大學に學び、十九歳にして初めて『チンバック』の詩を作り、漸次幾多の名篇を世に出した。彼は存生中に於ても其名聲は實に華かなものであつて、夙に高等法院の賞牌を得て、後欽定詩宗たるの榮譽を贏ち得て、宮廷にも出入する身となつた。諸作中詩作としては『イン・メモリアム』が最も名高く、劇詩としては『イノック・アーデン』が最も優れて居る。彼が歿したのは一八九二年である。

○ドイツケンス(人名)

十九世紀英吉利の小説壇を代表する大家である。一八一二年に生れ、少年、青年時代を通じて非常な貧窮生活に苦しみ、具さに世路の艱難を嘗め、且つ下層社會の暗黒面に身自ら直面した。後新聞社の主筆となつて、其作品を順次世に問ふに至つて、彼は自分の過去の經驗に基いて、下層社會の悲惨や、社會の慘狀を寫し、時人のハートに強い感

激を與へた。其筆の如きも頗る寫實の妙を極め、英國寫實派の大宗とせられて居る。併しながら彼の作は多分の教訓的、道徳的の傾向を帯びて居るため、純藝術としては認知されないものである。其作品の重なるものは『ピク井ツク・ベエバズ』『クリスマス・カロール』『デザイト・コツバアフィールド』等である。一八七〇年に死去した。

○デカルト(人名)

『我思ふが故に我在り』の名句の哲學者として名高いルネー・デカルトは哲學史を飾る有数の人物である。彼は一五九六年佛蘭西トゥレーヌに生れ、年少の頃スコラ哲學と物理學を修め、中途軍隊生活に入り、後年再び學究生活に入つた。一六三七年哲學論集を出したのを振出しに、漸次彼は哲學者として社會的地位を築くに至り、瑞典女皇に招かれて其宮廷の人となるまでの榮譽を贏ち得たのである。彼は一六五〇年に死没してゐる彼の哲學は初め物一切を疑ふ極端な懷疑論であつたが、後に至り疑ふ事は思ふ故であり思ふ事は思ふ者あるが故である。然らば尠くとも我の存在は疑ふべからざるものなりと言ふ結論に對し、聽て其れはあの有名な我思ふ故に我在り。』の名言の出づる所以とな

つた。さうして彼は其我の實在に根據を置き、神や宇宙の認識の可能を主張した。我中心説である彼の哲學は勢ひ非常に主觀的なものとならざるを得なかつたのである。ペーコンが經驗派の祖であるのに對し、彼が合理派の祖として著名なる所以である。

○デ・ヴァレラ(八名)

デ・ヴァレラは露西亞のレーニン、支那の孫逸仙、印度のガンヂーに相當する愛蘭の熱血革命兒である。彼は一八八二年愛蘭の首都ダブリンに生れ、ダブリン大學の數學教授の位置にあつた人物であつたが、一九一六年愛蘭獨立運動に参加し、同年四月のダブリン暴動に際し、彼の豪膽と機略とは忽ち愛蘭民の景仰する所となり、一躍シン・フェン黨(其項參照)の指揮權を握るに至つた。而して能く同黨を指揮して、力戰奮闘の結果、遂に愛蘭民の所期通り愛蘭をして英國の自治領たらしむるに至らしめたのである。併しながら彼は革命家の總てがさうであるやうに、餘りに高遠なる理想に生き過ぎ、權を得て蜀を望む例の如く、彼は自治に満足する事が出來ず、完全に愛蘭をして獨立國たらしめんと欲し、既に自治に満足せる愛蘭人全般から離れて、孤立的に其理想實現のために

闘つて居るのである。それがため自ら愛蘭共和國大統領と誇稱しつゝあるデ・ヴァレラは事實に於ては、現在可なりの苦境にあるのである。

○デエメル(八名)

リヒアルト・デエメルは獨逸最近の第一流の文士であつて、詩、短編小説、戯曲等の各種の作があるが、就中詩人として其名を唄はれて居り、其詩のうちでも『二人』が殊に代表的の聲價を持つて居る。彼の思想は大體に於て、象徵主義、新浪漫主義的である作家となる前までは保險組合の書記を勤めて居た事があり、物故したのはつい近頃の事である。

○デーヌ(八名)

佛蘭西第一流の文學史家兼批評家。客觀批評の如きは彼に依つて創始せられた。一八二八年に生れ、ネバル及牛津大學の教授たりし事がある。晩年にはアカデミーの一員となつた。

○デュー井(八名)

(テ)

ジョン・デュー井ーは現代米國に於て、ゼームスの後を受けてブラグマチズム祖述の大立物である。一八五九年米國に生れ、現にコロンビア大學教授である。

○定命論、定道論 決定論の別名、意思決定論に説く。

○帝王主權説 君主主權説に同し。其項と見よ。

○帝王神權説 一國統治の主權は神意によつて生れたるが故に、人民に對しては絶対權を有すとなす説。

○締盟國 Treaty power 互に條約と取交した當事國。

○デイメンション Dimension 面積、容積。

○デアテルミー Diathermy 獨逸語で透熱と譯する。高壓電氣を利用して、醫學上の治療となす法。

○デイヴェルティスマーン Divertissement 佛蘭西語。慰安、偷安、幕間餘興、歌曲と舞曲の間に演ずる間劇。

○デイクトグラフ Dictograph 會社内、工場内の間に使ふ簡易電話。自動交換が出来、且つお話中がないのが其特色である。

○デイスユリユージョン Diffusion 幻滅(其項参照)

○ディナー Dinner 晝飯、(米國)夕飯、(英國)、正餐、主餐、御馳走——つまり三食中最も馳走の多い食事と言ふ。

○低徊趣味 餘裕のある趣味と言ふ事。小説家故夏目漱石が、せつば詰つた文藝を自稱した自然主義に對して、自

己の遊戯的な好事家的態度を名附けて斯く言つたもの。

○定款 社團法人の組織及其業務執行の根本となる規則と言ふ。

○定期 取引所用語。豫め賣買値段を取極めて置いて、一定の時日に品物を受渡する定期取引を略して言つたものである。

○抵抗療法 醫師、藥餌に據らず、運動、粗服、按摩、水浴等の反動的な遺口に依つて病氣を治療せんとする近來一部に主唱さるゝ治療法の一つである。

○低氣壓 温度の増加、或は水蒸氣の多量のため、大氣の壓力が低くなる現象が理學的に言ふ低氣壓であつて、風雨の來らんとする前に起るものである。是より轉じて、一般に事件の経過、穩かならず、何事か大事の起らんとする險惡なる徴候を低氣壓襲來など、言ふのである。

○帝都訪問飛行 埼玉縣所澤の飛行場から、飛行機で東京の上空に飛んで來る飛行。又大阪、神戸等からの遠地から帝都まで飛ぶ飛行とも言つて居る。歐米では世界一週飛行など、言ふ素張らしい飛行が既に實行されて居るのに、我國では帝都訪問飛行などが珍とされて居るから心細い。

○ていのろじー さいのろどーに對して案出された英語擬ひの和英混合の新熟語だ。亭主に惚い妻君の事。

○デウス Deus 葡語にて神、上帝の意。信長時代以降基督教はホルトガル人に依つて傳來し、基督教の用語は孰れも葡語を其儘用ひたるもの多く、デウスも其一つであるが、徳川時代に長崎、天草地方のキリシタンは専ら是と口

にした。

○デーリー・ニュース(デーリー・メール) Dailynews (Daily mail) 日刊新聞、日刊報知。英米には是と新聞名とした新聞がある。

○テーブルスピーチ Table-speech 卓上演説、五分間演説。

○テーマ Thema 題語である。小説の主題、音楽の樂想等物の根本要旨と言ふ。近頃我國の文壇でテーマ小説なるものが勢力を得て居るが、それは菊池寛氏が主唱するところのものであつて、小説は唯漫然と事物と描寫して居るだけではいけない。一の力點、或は要點に目標を置いて執筆せなければならぬ云ふ主張に基くものである。

○デー Day 日、晝、時代。我國にて能く何々デーと言ふのがある。假令ば無酒デー、安全デーなど、言ふ類であるが、それは何々の日と言ふ事で、無酒デーならば特に其日に限つて、禁酒を格守する事を一般的に施行せんとするもので、一種の行事的のものである。

○テープ Tape 布或は紙の細長い連續狀の巻物。紙巻テープ、電信テープ等は其一種である。

○デカグラム Decagramme 一グラムの十倍。我二匁六厘六分に相當する。(佛語)

○デカメートル Decametre 一米の十倍。我約五間三尺。(佛語)

○デカリットル Decalitre 一リットルの十倍。我約五升五合四勺(佛語)

○テキスト Text 註釋附の文章に對して其本文と言ふ。又聖書より引用せる説教の本文の事とも言ふ。

○テキストブック Text-book 教科書、教本。

○適者生存 生物學に於て、自然淘汰の結果に依り、生存に適せざるものは滅亡し、適當したものは生き残る事實と言ふのであつて、其理法を發見提唱したのはダーウィンであり、ダーウィン説と哲學的に祖述し、其語 (Survival of the fittest) を初めて用ゐたのはスヘンサーである。復ダーウィン自身も「進化論」の重版にスヘンサーの言を借用して、名題の復題とした。社會に於ける優勝劣敗の理法は即ち適者生存である。

○デキストリン Dextrin 糊精——水に容易に溶ける褐色の化合物。

○敵本主義 「敵は本能寺にあり」の光秀の信長弑逆の事實より、眞の目的は彼方にありながら、此方にあるやうに見せつける主義を名附けて敵本主義と言ふ。

○テクニクス Technics Technie (技藝論) の復數であるが、其意味は専門語、術語の意。

○デコラティブ・アート Decorative art 裝飾美術。

○デコルテー Decollete (佛語) 襟を割つて肩と胸とを露はした服装となす事。歐洲社交界の一風習。

○デコレーション Decoration 裝飾、裝飾物。

○デコレーション・デイ Decoration day 米國に於ける南北戦争戦死者弔魂祭。毎年五月三十日に營み、當日は墓前と供花と以つて飾る。

○デザート Dessert 口直し、食後の水菓子。洋食々事の後に大抵出される事になつて居る。

○デザートコース Desert-course 洋食々事或は宴会に於て、茶菓を喫する時間。其時には客の代表者は饗應者に對して一場の挨拶を試むべき事になつて居る。

○デザイア Desire 慾望、願望。

○デザイン Design 圖案、意匠、設計圖、素描。

○デシメートル Decimetre 一米の十分の一。其他總てデシと上に冠した度量衡の名目は其主名目の十分の一に當るデシグラム、デシアール、デシリットル皆然り。

○テスト Test 試み、試験。

○デゼネレーション Degeneration 悪化、退化、衰退、墮落。又醫學上で變性、變質の意に用ゐる。

○デヂケート Dedicate 献上する、奉獻する。自著に記して自己の親愛者、崇拜者に贈呈の意を現はす場合に使ふ例へば「此書と我尊敬する坪内先生に献ぐ」などと巻頭に記す行爲がそれである。

○哲學復古 Philosophical reversion 科學萬能、自然主義全盛の十九世紀に於ては哲學は科學に壓倒されて居たが二十世紀になつて新理想主義が芽生へ、哲學それ自體に於て大に振作するに至り、哲學の時代と現出せんとする傾向を呈するに至つた。是哲學復古である。

○鐵器時代 Iron age 原始時代は石器、青銅器の使用時代であつたが、機械工業を中心とする現代の社會は、其機械と首め、多くの日用品は重に鐵器で作られて居る。故に現代を名附けて鐵器時代と言ふのである。

○哲人主義 政治、法律、道德、科學、藝術等の人事百般は哲人の優れた頭腦に依つて創造さるべきものであり、哲人は凡俗の多岐多端なる欲求と醇化統一して社會の文化を樹立すべきであると言ふ哲人至上主義と言ふ。我國では田中王堂氏が特に是を強調して居る。

○鐵道電化 從來の鐵道は専ら蒸汽力ばかりであつたが、電氣の發達に伴ひ、段々電氣鐵道が擴張されて行き、今は大阪東京間の遠距離にすら電氣鐵道を布設せんとする計畫さへある。斯く鐵道が蒸汽のみによらず、漸次電力化して行く現象が即ち鐵道電化である。

○鐵道砲 新しく製造さるゝに至つた巨大な攻城砲であつて、其餘りに巨大な爲、普通の砲車では運搬出來ず、鐵道の軌道に滑らして運搬する所から此名がある。

○デッド・マスク Dead mask 死者の面影を永久に遺さんとする意思より、棺に納める前に、其死人の顔面に石膏或は粘土を押當て、當人の面を刻銘せるものが即ちそれである。我國でも追々流行するやうになつて、近年物故した夏目漱石や有島武郎などは、遺骸からデッド・マスクを取つた、又近年犯罪捜査の爲に被害者の死面を作つて參考に供すると言ふ。

○デツプス・ボム Depth-bomb 深海爆彈、水底爆彈と譯する。潜航艇などを爆破するために用ふる爆彈である。

○デテイル Detail 巨細な部分。些末な部分。

○デッキ Deck 正確にはデッキと發音すべきである。甲板の事。

○デフサン Desin 英語のデザイン(其項参照)に相當する佛語であるが、我國では普通洋書の素描、骨畫きの事に限つて用ゐる。

○テナメント・ハウス Tenament-house テナメント・ハウスとも發音する。共同家屋。一建物内に幾組もの家族が分割住居する組織のもの。西洋の労働者や月給取は大抵是に住つて居る。アパートメント・ハウスと言ふのは同一組織のものではあるが、より生活程度の高いもの、ために設立されたものである。

○テニスコート Tennis-court 庭球場。

○デパートメント・ストア Department store デパートメントは部分と言ふ事、ストアは商店と云ふ事で兩語を合はして我國では大雜貨店、百貨店と譯して居る。内容的に説明すれば諸種類の商品、つまり各部門の商品と一商店内に販賣する組織の營業と言ふのであつて、元來米國に於て發達したものであるが、我國でも現時では非常な隆盛を呈し、三越、白木屋、大丸、高島屋、松阪屋、十合等の百貨店は小賣店中の權威となつて居る。併し我國の多くは其前身が呉服屋である關係から、多くは呉服物が其重要商品となつて居るやうであるが、最近では食料品まで出して、益々雑多な商品と包含せしめやうとして居る。デパートメント・ストアの元祖米國で、一番權威あり、且つ繁昌して居るのはワリーナーの經營に掛る百貨店である。尙此語を略してデパートメントと言ひ、更に略してデパートとも言つて居る。

○デビュー Debut 初舞臺、初登場、乗出し。誰々は何々の處女作とデビューとして華々して文壇に打つて出たなど言ふのがそれである。(佛語)

○デゴ 米國第一流の人氣活動俳優ロスコー・アーバックルがでぶくりに肥つて居る所から、彼に附せられた綽名である。

○デマゴク Demagogue 奸雄、民間政治家、煽動政治家。我國では板垣退助、犬養木堂、尾崎行雄などは一面其風がある。併しデマゴクは多く惡意の意味に使はれる。

○デモクラット Democrat 民主主義者、民主主義論者。民本的行為に生きる人物。米國民主黨員。

○デモクラティック Democratic 民主的、民本的。

○デモンストレーション Demonstration 表明、指示、論證。普通多く示威運動の意味に用ゐられる。

○テラ・コッタ Terra-cotta 建築に用ゐる、裝飾用の赤土焼の陶器。(伊語)

○デューティー Duty 義務、任務。

○デリカシー Delicacy デリケートの名詞。繊細、虚弱、優軟。

○デリケート Delicate デリケートと形容化せるもの。繊細なる、虚弱なる、優軟なる。

○天動説 地球中心説に同く、其項と見よ。

○天啓 Divine revelation 人間の理智、理性に依らずして他より神秘的な暗示を受ける事と言ふ。女傑ジーン・メークが祖國の難と見て起てる如き、其他天才が驚異すべき偉業を遂行するは、此天啓に依る場合があるさせられて

居る。啓示も略同義。

○天然生活 Natural life 原始的な野生的な生活と營む事と言ふ。虚禮虚飾に満ちた物質的の生活の反動として起つたもの。森林生活(其項と見よ)など其一種である。

○傳奇小説 Romance ロウインスの譯語。傳奇的な事柄と題材とした小説。超自然的な怪奇神秘的な題材を取扱つたもので、荒唐無稽な感ある小説である。オリヴァー・トウヰストの「ロビンソン漂流奇譚。」曲亨馬琴の「八犬傳」の如きが即ちそれで、浪漫主義文藝でも低級なるものには多い。

○テンデンスー Tendency 性向、性癖、傾向、風潮、趨勢。

○テンパー Temper 機嫌、氣質、氣象。

○テンペラ Tempera 卵黄、膠水に繪の具と混じて描いたテンペラ畫の事、重に芝居の書割などに用ゐる。

○テンペラメント Temperament 素質、資質。又ピアノの調子を整へる事。

○テンポ Tempo 音楽用語。拍子、速度。(伊語)

○電子説 エレクトロンに同じ、其項と見よ。

○點字 盲人に讀書と興ふるため、凸起せる記號に依つて文字の用をなましむるものが點字である。盲人はそれと指頭で觸るゝ事に依つて、判讀するものである。又點字新聞と言ふのは、此點字のみよりなる盲人用の新聞と言ひ我國では大毎社から發行せるものが一種あるばかりである。

○天主教 Roman Catholic church カトリック教の項と見よ。

○展望車 列車沿道の風景の眺望と樂しむため、列車最後部に附けた三方硝子張りの車體と言ふ。

○電話便 東京大阪間に施行されて居る電話に依る郵便通知。認められたる文言と送話し、指定者へ配達する方法である。速達郵便の一種。

○傳家の寶刀 家重代に傳はる銘刀は其斬味頗る明快能く骨髓に徹する。故に妄に是を用ふる時は、徒に人を殺傷する。眞に是を用ふるは、鈍刀の到底及ばざる時にすべきである。是と同一く最後の妙策は忽ち其効果と奏すべきも、眞に危急の場合でなければ徒に是を用ふべきものではない。其例として名高いのは大正六年寺内内閣當時農相仲小路廉氏の制定した暴利取締令であつて、次の山本農相は是を稱して、「我に傳家の寶刀あり、されど是容易に抜くべきにあらず。」傲語した。それより一般の流行語として傳家の寶刀は暴利取締令の別名の如き觀を呈した。

○獨逸賠償金問題

無い袖は振れぬと言ふ、なかに振れぬ事はないと言ふ。——こんな煮わ切らない事を愚圖々々繰返して居るのが獨逸賠償金問題と言ふ厄介な代物である。初めは獨逸對聯合國の係争だったが、それがしまひには聯合國同志の内輪喧嘩のやうになつてしまつた。其喧嘩の種の賠償金は幾ら程あるかと言ふのに、最初聯合國が獨逸に課した總額は壹千參百貳拾億金貨馬克であつたが、決定された第一年こそ獨逸も敗戦國の悲しさ、其年額を支拂つたが、早第二年目には支拂不能に陥つてしまつた。そこでむかつ腹を立てた佛蘭西が白耳義を誘ひ込んで、獨逸最大の工業地帯ルールを占領してしまつた。穩かでないのは英國で、外相カーゾンに據つて、總額四分の一たる參百億馬克に大負けに負ける事を提議したもの、それから後も相變らず摺つた揉んだで、やれブラッセル會議だのやれロンドン會議だの、やれドーゾ案だのと騒ぎ立て、居る。併し大體最近の聯合各國の意嚮ではドーゾ案(其項参照)を根據として、獨逸の可能範圍内で支拂はしむる事になつ

て居る状態である。併し此世界的悶着はいつ落着する事であらう。

○同類意識 Theory of consciousness of kind

米國の社會學者ギチングスが其著「社會化論」其他に於て主唱した彼の社會學說の中心をなす説。社會は物心兩様の存在であつて、社會學は物質的に解釋すると共に、一面心理的にも解釋するの必要がある。物的方面の定義はスペンサー等に依つて既に試みられて居るが、社會の心理的定義はまだ充分なりと言ふ事は出来ぬ。社會組織、或は社會化状態の構成を心理的に言ふ時は、人間の同類意識を根本と見做すべく、此意識あるため人間は他種類より人類を區別し、同類としての親愛の情と結合の利益を感じ、此處に人類の社會化が行はれる。さうして人間には人間同志他より認められ、他を認めんとする本能を先天的に有するものである。——是所説の概要である。

○東洋モンロー主義

米國のモンロー主義を東洋に移して、日本が東洋に於て暗黙に呼號する所の主張である。即ち東洋は東洋の東洋にして、歐米諸國が是に對して侵略的意圖をはさむ事は斷じ

て黙視し得ずとなすのがそれであつて、日露戦争の如きは正しく此主義のために戦はれたものである。そして事實日露戦後東洋モンロー主義は東亞に於ける暗黙の勢力となり爾來歐米諸國は日本に憚かつて、新に東洋に向つて領土侵略を敢てせんとするものになつた。

○ドーズ案

歐洲大戰に依る獨逸の賠償金(其項参照)支拂に就いて、英佛間に兎角意見の相違ある所より、公平妥當なる對策を講ずるため、米國を筆頭に英、佛、伊、白の五箇國は、大正十三年一月から四月に掛けて賠償第一委員會なるものを開催した。其委員長は米國代表チャールズ・ジ・ドーズであつた、其爲此調査會を一名ドーズ委員會とも言ひ、同會の研究調査になる報告書及建議案が即ちドーズ案と呼ばれる所のものである。それに依れば、賠償は獨逸を破産せしめない程度に於て償還せしめ、歐洲經濟界の安定を期すべしと言ふのが主旨であつて、聯合國間では可なり好評噴々たるものあり、大正十三年八月倫敦で開催された倫敦會議は其實行方法を議すべく開かれたものである。

○同盟罷業

Strike

英語のストライキを和譯したるものにして、又同盟罷工とも言ふ。(略解)同盟罷業とは(一)賃銀問題、(二)労働時間問題、(三)労働權利問題(修正派の第一人者ベルンシュタインに據る)の三つのうちの孰れかの原因に依り、労働者が雇傭者即ち資本家に對して、結束して休業する事に依つて、其改善を要求する運動若しくは行爲を言ふのである。又サンデカリスト(其項参照)の場合に於ては、同盟休業する事に依つて、社會組織全體を轉覆し、労働者全體が有利なる位置を獲得せんとする運動若しくは行爲を言ふ事になる。後者の場合の同盟罷業は總同盟罷業と言ふ。(サンデカリズムと總同盟罷業)社會主義及労働運動同盟罷業に最も重きを置き具體的思想の許に是を代表するのは、佛國のサンデカリズムである。又米國のIWWも同様に同盟罷業に全目的を集中して居る。さうしてサンデカリズム及IWWが提唱し實行せんとする同盟罷業は、同盟罷業中最も大規模なる總同盟罷業であつて、是は全國の各種の産業の労働者が結束して、直接國家の産業組織に根本的動搖を與へんとする企てである。(其他の種類)總同盟罷業以外の同盟罷業に亞いで大規

模なるは(一)團體的同盟罷業であつて、是は一都市一地方の各種産業の労働者が團結して同盟罷業をなす場合を言ふのである。下つて(二)單一同盟罷業は一會社、一工場内に限つて行はるゝものである。尙又内容或は手段の上から言ふと(三)一産業或は一會社の労働者の同盟罷業に對して、他の産業、又は一會社の労働者が自己には直接其理由なくして、單に前者を成功せしめんがためにする同情罷業、(四)單一同盟罷工の場合に於て労働者が區分的に罷業する交替罷業、(五)雇主に無通告で突然罷業したり、又復業したりする事を繰返す焦燥罷業、(六)數箇或はそれ以上の同一業の會社の労働者が申合はせて順々に罷業し、就業者が順々に其罷業者に生活費を提供する巡回罷業、(七)仕事場を去る事なく働く手だけを休める拱手罷工等がある。其他に徐工罷業と言ふのがあるが、是は怠業(サボタージュ)(其項に詳説)の事であつて、同盟罷業其他と種類を異にするものである。又原因的に區別すれば、前記ベルンシュタインの言へる如き三箇の場合があるが、一般同盟罷業の場合は大抵賃銀値上の要求であり、次いで時間短縮の要求であり、更に近頃に至つては労働者の思想的進歩の結果として、労働権利の獲得運動も漸く現はれるやうにな

つた。工場委員制度などは、労働権利問題の結果として生れたものと見做すべきである(實例)一般同盟罷業として歴史的に最も古きは一三二九年ブレラウの帶皮製造職人の同盟罷業であつて罷業の元祖と言ふべきであらふ。次いで起りしは一三八七年ロンドンの靴製造職人の同盟罷業である。巡回罷業の例としては唯一九〇七年の巴里の寶石職工のそれがあるぐらゐである。又總同盟罷業としては、約十年前の伊太利全労働者の工場占領と、嘗ての英國三角同盟(其項参照)の同盟罷業等が有名である。其他一般の同盟罷業は世界各國隨時隨所に勃發し、一々記憶する違がない程である。(批判)労働運動勃興初期に於ては、同盟罷業は危險思想視されたが、今日では社會の理解も進み、それが理由あり根據あり、其行動が合理的であれば、世人はそれを是認するに躊躇しないが、其行爲が交通機關等の如き公共機關である場合は、世人の猛烈に指彈する事、大正十三年の大阪市電の罷業の如きである。又安部磯雄氏の如く、同盟罷業は労働者が當然の武器を用ふるものであるが、サボタージュは陰險卑屈の行爲であると排する論者もある。

○動機論 Motivism

英語で訓してモーチヴィズムと言ふ。倫理學上目的さへ善なれば、其手段を問はないと言ふ思想であつて、其稍穩和なるものとしては、目的、手段共に善なるべきを豫想されたるものに於ては、其結果の如何は敢て問はないと言ふ説をなすものがある。總ての善中、善意は其最なるものなりと斷じたカントの説の如きは、動機説の著しきものとすべしである。

○同性神教

Homoioteleism

印度吠陀ベユクの宗教を學說的に命名せる稱呼。交替神教(其項参照)が外面的より吠陀教と名附けられたるに對して、是は内面的に解釋を下して、吠陀の至上神が時々交替することも各神同様の尊崇を受くる所以のものは、神名は異ると雖も、其性質の根本に於ては相同じいがためであると言ふ點より名附けられたのである。

○トーリー黨

Tory party

英國往古に於ける一大政黨で、今日の保守黨の前身であつて、往時の政權はホイッグ黨と、トーリー黨とが交互に掌握して居たのである。其政策は常に守舊的であつて、勤

王主義であつた。一六八六年の革命に際し、反革命を主張しジョージ三世の王權を擁護したるが如き、一八三二年選舉權擴張に反對したるが如き、皆それを證するものであると言はなければならぬ。

○統一黨

Unionists party

自由黨と相對して、英國の二大政黨。穩健忠實を黨是とする其保守的精神は我政友本黨の如き面影のあるものである。近年ではボナーロー及ポールドウ井ンが暫らく内閣を組織したのみで、萎微して振はず、自由、労働黨に壓倒せられて居るの觀がある。黨内の首腦人物は前記二氏を首め、バルフォア、カーゾン、バーグンヘッド等である。

○統一労働學校

勞農露西亞の普通教育を施行する全國の學校を統一労働學校と言ふ。我小中學を合併せる如き組織の全國の子弟を總て平等自由に入學せしめ毫も差別的の點なく、其教育方針は露農政體に適合せる生産者を養成するにある。謂はゞボルシユヴァイキの卵の養成所である。

○獨斷論 Dogmatism

英語でドグマチズムと言ふ。物の是非善惡を究めず即ち物の根本理由を尋ねずに、獨りよがりな結論を下す議論は總て獨斷であるが、哲學或は倫理上で言ふ獨斷論は恒に懷疑論と相對し、同一説が長く續いた後には、得て獨斷論に陥るものである。殊に近世に於ける主理論の如き末年のヴォルフに至つて、論理は形式的に整頓せられたけれども、肝心の根本の認識を等閑に附し、甚だしく獨斷論に傾き、遂にヒュームの懷疑論の勃興を促し、カントの批判哲學を導くに至つた。又中世のスコラ哲學(其項參照)の如きは敎父哲學を其儘踏襲して、獨斷論に陥つた。要するに獨斷論は其思想の位置の安全なるに慣れた結果に起り、既に其時は弊害時代に入れるものである。

○督軍

現在支那では各省の長官として、巡閱使なるものがあり、是に各々行政及兵馬の權を握らして居るが、其巡閱使の統率する軍隊が督軍である。支那の如き無秩序の國では督軍設置の必要は無理からぬ事であるが、今日ではそれが支那禍亂の大原因となつて居る。

○土地國有論 Land nationalism

土地國有論は一見社會主義者、共產主義者の議論の如き觀あるも、事實は反つて資本主義的思想家の側に多く、獨逸の社會主義團體たる社會民主黨の如きは、反つて是に對する反對論を唱へて居るぐらゐである。多く其提唱者はゴッセン、スタム、ワラツス、スベンサー、リカード、ミル等の如き主として英國の資本主義的學者である。殊に其内の代表者はリカード、ミルにして、彼等兩人の所説を綜合すれば、土地は最も有力な生産要素であつて、且つ最も著しき獨占財であるが、人口の増殖、生産の進歩と共に其地代が昂騰せざるを得ない。地代昂騰に従ひ、何等生産勞力や事業費を提供しない地主をして不勞所得を得せしめ、純資本家及労働者は所得が漸次减小するに至るであらう。故に、一國の經濟状態を安固ならしむる爲には、國家が全部國土を直接所有とすべきである。——と云ふのが其大要である。又一般的社會主義も生産の共有に次いで土地共有を重視して居るのは事實であつて、現に露西亞の過激派の如きは、革命と共に土地共有を斷行し、低廉なる賃銀を以つて國民に貸與するの制度を實行して居る。又國有論の變則

なるものとしては、獨逸に於ける如く市街宅地のみの國有を主唱するもの、及び各人の一代限りで私有權を國家に返上すべしと説く一代私有論などがある。

○土地單稅論 Single tax theory

土地國有論を餘りに考へ過ぎた結果起つた議論で、一見土地國有論より大に進化せる如き觀あるも其理論は可成り詭辨的であつて、容易に實現され得べくも思はれない。故に今日でも經濟史上歴史的一所説として記録さるゝに止まつて居る。其主唱者は米國のヘンリー・ジョージである。概要に曰く、土地國有(其項參照)は勿論理想なるも、斯くの如き大變革は容易に成し得べき事ではなく、其實現の可能性あるはより讓步せる土地單稅法でなければならぬ。其方法は一切の租稅を全廢し、代ふるに地租のみを以つて充當する事である。斯する時は、勢ひ地租は非常な高率なものとならなければならぬが、國家は敢て介意するなく、最も高率即ち地代と同額だけの地租を課すべきであつて、其時は實質に於ては地代全部が國有化せると等しく殆んど土地國有と同様の實績を擧げ得る。さうして國家が地代以上の地租を賦課するやうな事をしなければ地主は土地改善を

怠るやうな事はあるまいと言ふのである。

○ドラゴ主義 Dorago doctrine

ウエスネラ其他の南米共和國が歐洲諸國から借款をなし、其償還を怠る事が屢々あるため、債權國が其履行を強請するの結果兵力に訴へた事實より、一九〇七年第二回萬國平和會議に於てアルゼンチン共和國代表者ドラゴが、其兵力制限を提案して滿場の賛成を得た所より、一般に債務督促に兵力或は暴力を用ひざる事をドラゴ主義と言ふのである。

○トラスト Trust

合同組織、或は合同經營と譯すべきもの。現代商工界の一大現象であつて、マルクスの資本集中説の最も好適例をなすものであり、彼等マルキシストをして言はしむれば、トラストはブルジョアがブルジョア自身の利益を講じつゝ、而もブルジョアが自身倒壊へ導く手段であると言ふのである。(其理由は資本集中説の項參照)此トラストと言ふのは數箇或はそれ以上の商工家が合同或は併合する事に依つて、一身同體の組織經營をなし、

以つて個々分立して競争するの不利益を避け、且つ又大資本の效果に依つて大なる利益を收めんとするものである。其方法には(一)、數個の會社の株主が其所有株券全部を業務擔當員に委託して一切其經營をなさしむるもの、(二)、一大會社が數個の小會社の資産權利を買收し、其支拂を株券に依つてなすもの、(三)、數個の會社が自發的に資産權利一切を合同して、新に一大會社を組織するもの等の種類がある。初め此トラストは一八七〇年米國に初まつたものであるが、今は世界各國に於て益々増加の傾向を示して居る。ロンドン・タイムズ社が英國諸新聞を買收して經營せる如き、我國の松竹が日本の諸劇場を買收して經營せるが如きは其實例の一である。

○トラピスト Trappists

我國北海道の函館の一角にトラピスト寺院なるものがあつて、其奇異な生活は我國人に謎の如き感銘を興へ、詩人三木羅風氏の如きは同寺院に修業しつゝあつて、一般に興味と共に疑問を昂めて居る。(起源)基督舊教よりシトー派なるものが派生し、更にシトー派よりトラピストなるものが生ずるに至つたのであるが、其創始せられたるは十

二世紀佛蘭西の貴族ベルシユ伯ロトルに依つてあつて、先づラ・トラツプと言ふ僧院を建立したのであつた。(トラピストなる名稱は是より初まる。其後十七世紀フランセーに依つて一大改革が遂げられ、間もなく佛蘭西革命に依つて殆んど解散の憂目に遭つたが、今日では再び勢力を恢復し、歐米全土に其分院が設立された。我國函館に設立されたるは明治二十九年である。(教義教則)現在トラピストの奉ずる教義はランセーの制定したるものに基いて居り、其特色は(一)、絶對無言を嚴守、意志表示は相圖に依つてなす事。但し外部交渉の役にある院長のみは、簡單に話す事を許される。(二)、午前二時起床、午後七時(冬期)或は午後八時(夏期)就寢。(三)、寢臺は棺桶を用ひ、毎日夕食後少し宛自己の墓を掘る事。(四)、一日の生活は祈禱、精神修養、勞働に費す事。(五)、衣服は寛かな灰色の服で、黒色の帽子を被つて居る事。——以上に依つても解る如く彼等は極端な厭世主義に基いて、斯くの如き宗教生活を送るものである。尙トラピストは多く尼僧である。

○ドレッドノート Dreadnaught

『惧るゝものなし』の意であつて、弩級艦の事を言ふ。日露戦争に刺戟せられた英國が

新に建造した新戦艦をドレッドノートと名附けたるに因由し、それより列強競つて同様大戦艦を建造するに至つたが、是等ド號に準ずる大戦艦を總て弩級艦と總稱するに至つたのである。其標準は排水量一萬七千噸、装甲十一吋、重砲十二吋十門、水雷發射艦五機關二萬八千馬力、速力二十一哩である。

○トルストイ(人名)

何んと言つても近代思想界並に藝術界の最大の巨人はレオ・ニコライウイチ・トルストイでなければならぬ。正に彼は思想界の巨人の名を許される第一人者である。(彼の思想、獨逸及藝術に就いては禁慾主義、無抵抗主義、人道主義、第三帝國等の各項に就いて詳説す)彼は一八二八年ヤスナヤ・ポリヤナの莊園に伯爵の子として生れた。一時大學に這入つた事もあるが、途中で退學した。一旦歸郷して農業にいそしまんとしたが、失敗に終りベテルスブルグに出でた。彼のベテルスブルグの生活は全く放恣を極めたもので、酒と女と賭博に爛れる限り爛れた。其頽廢生活の痛苦に耐へられなくなつた彼は、其痛苦から脱する爲に軍人生活に投じ高加索に赴いた。其内露土戦争が初まると、彼も出征軍に加はつて、

セバストポリーに闘つた。聽て軍隊生活を脱し一八五七年と翌年にかけて二度歐洲諸國を漫遊し、終つて郷里に歸り、それから長い彼のヤスナヤ・ポリヤナの生活が続く。近代文學の最深刻作『アンナ・カレンナ』及『戦争と平和』や其他多くの作品は其處で執筆された。又彼の幼少年及青年時代は『幼年、少年、青年』、高加索生活は『コサツク』、露土戦争時代は『セバストポリー』のそれ々の小説に示されて居る。其他彼の著述は一として世界的傑作たらざるものはないが、其内前記の他、主なるものを掲げると、

小説 || クロイツェル・ソナタ、復活、結婚の幸福、三つの死、

脚 本 || 闇の力、

評 論 || 藝術とは何んぞや、モウバツサン論、我宗教、人生論、

懺悔録 || 我懺悔、

トルストイの生涯は絶わざる靈肉の葛藤であつたが、其結果は一九一〇年到々あのやうな(第三帝國参照)悲惨な死を遂げるに至つたのである。

○トロツキー(人名)

勞農露西亞の人傑を擧ぐる時は、誰しも一にレーニンを推し、二にトロツキイを推す。彼トロツキイはレーニンと併稱さるゝ革命露西亞の殊勳者であり、權力者であり、代表者である。トロツキイは彼が世を忍んだ假の名が其儘通名になつたもの、其本名はレオン・ブラウン・スタインと言ひ、黒海に近いケルレ洲に於て猶太系の家に生れた。ツネルニゴフの中學、ベトログラードの大學に學んだが、ごちらも業を卒へなかつた。學生時代から政治運動に加はり、日露戦争當時モスクワ暴動の際政府弾劾の演説をして、無期徒刑を宣せられて西伯利亞へ流された。在獄中トロツキイなる獄吏と容貌が酷似して居るのを幸ひ、うまくトロツキイに化け込んで破獄を遂げて維納に逃れた。それより「ナロード」の通信員となり、更にメンシエヴィキ(其項參照)の領袖となり、其頃よりレーニンと絶えず行動を共にするに至つた。其後瑞西スウェーデン、スウェーデン、米國等を放浪し、米國より歸國した時は、當時露西亞はケレンスキイ内閣の新政が布かれて居たのである。彼はレーニンの過激派に加はり、よくレーニンを扶けてあの大偉業を遂げたのであつた。トロツキイの才幹は軍務的方面にあつて、赤衛軍を率いて武力的に革命を成就せしめたの

は全く彼の賜である。今日の地位も革命軍務會議々長であつて、行政方面には何等の位置は占めて居ないが、レーニン在世中とはもとより、没後の今日に於ては彼の勢力は各委員長を凌駕するものがある。

○ドストエフスキ(人名)

彼フョードル・ミハイロヴィツチ、ドストエフスキ(人名)は其靈的魅力に於てはトルストイ以上なりと言ふものもあり、其崇拜者はトルストイ崇拜者に劣らず多數である。さうして彼の影響は全世界の文學に非常に濃厚に働いて居る。彼は一八二一年露西亞の舊都モスコ(モスクワ)に生れた。青年に及んで彼はベテルブルグの陸軍工科學校を卒業して少尉となつたが、翌年職を辭して爾來文學生活に没頭した。其處女作にして同時に近代文學の傑作の一たる「貧しき人々」を發表したのは、彼の二十四歳の時であつて、發表と共に當時の大家ベリンスキイの讚嘆する所となり、一躍大家の列に伍した。第二作「双兒」の不評判に續いて、彼は陰謀企圖者の一人として、他の革命黨員と共に捕縛され、急轉して俄かに災厄の人となつた。一八四九年正に死刑に處せられんとした時、皇帝の特赦に

依つて西伯利亞に流刑される事になつた。其四ヶ年の西伯利亞の囚人生活は名編「死人の家」を生ましめた。刑を終へて故國に歸つた彼は新聞經營の困難と闘ひつゝ、「罪と罰」「白痴」「カラマゾフの兄弟」の大作、傑作を公にした。彼の生涯は不斷貧苦との闘であつたが、其晩年には地位も財産も漸く安堵を得るに至つたが、幾何もなく一八八一年六十歳を以つて逝いた。彼の諸作を通じて横流する思想は、吾人の肺腑を貫く靈の偉力と人間性の偉力であつて、ドストエフスキーは淫賣婦や殺人者に對してすら美しい靈性の輝きを認め、總ての人間に對して博大なる愛を注がずには止まなかつたのである。

○ドア Door 戸、扉。

○ドイツ西南學派 西南獨逸派に同し。

○ドイツ經濟學派 歴史經濟學派の項に詳説。

○トイレット・ルーム Toilet room 化粧室、高等便所。

○統覺 英語の Apperception の譯語。感覺の能動的作用。解り易く言へば他に働きかける感覺的作用。

○投下彈 航空機から下界に投下して、建造物其他を破壊する爆彈にして彈丸、燒夷彈、爆彈、鋼箭の三種がある。

○淘宮術 十二支九星に依つて人々の性格は相違するをなし、其十二支九星を研究し、以つて其人の運命と幸福に

導かんとする卜術の一種。

○動物劇 動物の世界と人間の社會の如く描き、役者が悉く動物に扮する戯曲或は演劇である。ロスタンの戯曲に此種のものがあつて、近代劇のうちでも傑作の一つとせられて居る。

○同仁教會 ユニヴァーサリストに同し。

○トワリニツテイ Trinity 三位一體。(其項に詳説。)

○トウルース Truth 眞理。

○トウワイライト Twilight 曙及黄昏の薄明り。

○トウ・ダンス Toe-dance 爪尖踊り我國では女優故高木徳子などが是を得意として上演して居た。餘り上品な踊りではない。

○ドキュメント Document 書類、證書。

○ドクター Doctor ドクトルとも言ふ。普通醫者の事、其譯語を國手と綴つて居る。其他博士、學者。

○獨立労働黨 Independents labour party 英國労働黨中の社會主義派。一八九三年に組織され、労働制限、自然所得税、國際軍備撤廢を綱領として居る。

○議會省察 議會に於て法律案を審議する手續(讀會)を省略する事。我議會の讀會は三次開催を原則とす。

○ドクトル・オウ・フィロソフイ Doctor of philosophy 哲學博士。歐米の博士號であつて我國にはない。

- ドクトル・オブ・アーツ Doctor of arts 米國醫學博士の稱。其略號をD・Aと言ふ。
- ドグマ Dogma 教理。獨斷。それに dogma を附けたドグマチストは教理を宣ぶる人、獨斷家の事。dogma を附けたドグマチズムは教理づくめの主義、獨斷論の事。dogma を附けて形容詞化する時は教理本位な、獨斷的なと言ふ事になる。
- 毒瓦斯 砒化水素の一種で、一度呼吸すれば人として絶息せしむる有毒瓦斯であつて、歐洲大戰中獨軍が旺に是を用ゐて奇効を奏した。其比重は空氣よりも重いため、是を發射する時は地面の直上を這ひながら敵陣地へ流入して行くのである。
- 毒瓦斯彈 前記毒瓦斯を装置した砲彈。同く獨軍の用ゐた惡辣武器。
- 毒瓦斯除マスク 毒瓦斯の襲來に對して、其毒瓦斯を吸收蓄積する装置とした器で、口鼻につけるものである。多く果物の果實の核としかけてある。歐洲大戰中聯合軍の工夫したもの。
- 獨創 Originality の譯語。毫も他の感化影響と蒙らず、自己の精神的努力に依つて新しい事と案出する事。殊に藝術上に於ては模倣が非常に卑しめられると共に、獨創が非常に尙ばれる。
- 特別會計 Special finance 政府會計に於て、通常會計よりも獨立分離して收支を計上する會計。專賣局其他政府の實業的施設の收支に屬する會計、各種官公立學校に屬する會計、臺灣其他特殊行政地に屬する會計、貨幣整理其他各種の基金に屬する會計等がそれである。

- 特別税 Special tax 府縣市町村其他の公共團體が獨立に税目を設けて賦課する租税。其他特別の支途に充つる爲に徵收する租税は總て特別税である。
- 特別任用 Special appointment 文官任用令に依らずして任用する特殊の官職。内閣書記官長、法制局長官、全權公使、秘書官等がそれである。
- 獨身税 人口減少に憐む佛蘭西が殊に大戰に依る人口激減に恐慌を來し、干渉的に人口増殖を計らんとした結果三十歳以上の獨身者に對して課するに到つた新税。女に持てない男なごうつかり佛蘭西に住めない。
- 解合 取引所用語。賣方買方雙方が協議の結果決定せる値段に依つて喰合せとなし、これを轉買、買戻しの形式として契約を解除する事。
- 突然變異説 偶然變異説に同く。
- ドック Dock 其譯語を船渠と綴る。船舶の修理建造となす所である。
- 凸版 印刷すべき部分が凸起して居る繪畫などの印刷版。
- トピック Topic 題目、論題。
- ドメステイック・ヘルパー Domestic helper 家事手傳人。即ち下女の事と米國あたりでは、此頃は下女なんて失禮な事は言はない。民衆思想變遷と下女拂底の結果は、おさんごんも仲々高等的になつたものである。ハウスホルド・アシスタントと言ふも同く。

- ドラマ Drama 戯曲。其形容詞たるドラマティックは劇的な、お芝居がかりなと言ふ事。
- トランク Trunk 旅行鞆。
- トランプ Trump 西洋骨牌。一組五十二枚、クラブ、ハート、スペード、ダイヤ、(黒赤の二種)の四葉種に別れ、其遊戯方法は數十種ある。
- ドライ Dry 無味乾燥な。
- トラジエデイ Tragedy 悲劇。悲惨事。
- ドリーマー Dreamer 空想家、夢想家。
- トルソ Torso 胸像。
- トレード・マーク Trade mark 商標。
- トレード・ユニオン Trade union 労働組合、其項参照。職工組合、産業組合。
- ドローイング・ワーク Drawn work 麻布地、絹布地に施した縫ひ刺し細工。
- ドロロソ Doloroso 伊太利語で、音楽用語。悲哀的な、哀愁的な——及其曲。
- トロール船 Trawler 漁獲専門の發動機船。其特徴は海底の魚族を捕ふるため、打たせ網を引きながら航行する事、全體が魚類の貯蔵倉となつて居る事。約十日間の航行に耐ふる事が出来、遠洋漁業に便なる事等である。

【ナ之部】

○内地延長主義

總督政治に依らずして、臺灣、朝鮮其他の植民地を内地と同じく中央政府の直接施政區域となすべしと言ふ主義である。勿論それは國政の理想であるが未開半開或は歸順日尙淺き新領土を取締るためには、内地から號令して居るやうな事では手緩き感があり、勢ひ總督政治の要が生じてゐる理である。

○南北統一問題

南北統一問題は現下支那の最大の惱みである。實現せらるべくして容易に實現せられない難問題である。何しろ支那の南方と北方とは言語、風習、思想等が甚しく相違し、同一國民でありながら、他民族の如き觀を呈して居るのであるから、其調和せざるも無理からぬ點があるのである。南方と言ふのは廣東を中心とした支那南部の事であり、北方と言ふのは北京を中心とした支那北部の事であつて、南方の首腦人物は孫逸仙であり北方は常に主權を握つて今日に至つて居る。南北の政治的抗争は清朝時代から行はれて